



RAYSYNC サーバー 管理マニュアル

Shenzhen Yunyu Technology Company Limited

ドキュメント情報

プロジェクト	Raysync 転送		
作者	Guocheng He	バージョン	V1.5
タイトル	サーバー管理マニュアル	発売日	2020/10/15
Pass by	組織	承認	製品部

バージョン履歴

バージョン	変更説明	作者	変更日
1.0	ソフトウェアに従って、ユーザーマニュアルの初版を完成させてください	Xinlei Wang	2019/4/28
1.1	ユーザーグループの設定を増やします	Xinlei Wang	2019/5/26
1.2	Alibaba クラウド OSS オブジェクトストレージ設定を追加します	Xinlei Wang	2019/7/26
1.3	インストール作業が最適化された後、インストール操作、容量統計、Amazon S3 ストレージの設定を更新します。	Ruyun Lou	2020/4/29
1.4	転送プロトコル設定の更新、メール通知、メール認証、外部 Http(s) 認証の追加、LDAP ドメインのユーザーアカウントへのアカウント情報のインポート、そしてユーザーのパス設定の禁止します。	Guocheng He	2020/8/3
1.5	ポイントツーポイント転送の追加、ポイントツーポイントログ、IP ホワイトリスト、通知の送信、Auth A/C の設定	Guocheng He	2020/10/15

内容

1 はじめに.....	5
2 サーバー管理マニュアル.....	5
2.1 Windows サーバーの導入.....	5
2.1.1 インストール用の zip ファイルの取得.....	5
2.1.2 解凍.....	5
2.1.3 起動する.....	7
2.1.4 サービス停止.....	7
2.1.5 Raysync サービスの稼働状況を見る.....	7
2.1.6 ポートマッピング.....	8
2.2 Linux サーバーの導入.....	8
2.2.1 ソフトウェアパッケージを入手.....	8
2.2.2 解凍.....	8
2.2.3 インストールの初期化.....	10
2.2.4 起動する.....	10
2.2.5 サービス停止.....	10
.....	10
2.2.6 Raysync サービスの稼働状況を見る.....	10
2.2.7 ポートマッピング.....	11
2.3 管理者操作マニュアル.....	11
2.3.1 管理者コンソールにログイン.....	11
2.3.2 サーバーの状態表示.....	13
2.3.2.1 ディスク容量.....	13
2.3.2.2 動作状態.....	13
2.3.2.3 ライセンス情報.....	14
2.3.2.4 モニタリング情報.....	14
2.3.2.5 オンラインユーザー数.....	15
2.3.3 サーバーの再起動.....	15
2.3.4 サーバーの停止.....	16
2.3.5 サーバーの起動.....	16
2.3.6 管理者コンソールのログアウト.....	17
2.4 サーバー有効化.....	17
2.4.1 オンライン有効化.....	17

2.4.2	オフライン有効化(windows)	19
2.5	サーバー情報の編集	22
2.5.1	サーバーアドレス	23
2.5.2	UDP 加速ポート	23
2.5.3	UDP メッセージサイズ	24
2.5.4	圧縮を有効化	24
2.6	転送情報	25
2.6.1	ライブ転送	25
2.6.2	転送ログ	25
2.6.3	ポイントツーポイント転送	27
2.6.4	ポイントツーポイントログ	28
2.7	リンク管理	30
2.7.1	アップロード招待	30
2.7.1.1	リンクの詳細を見る	30
2.7.1.2	リンクをコピー	30
2.7.1.3	リンクをキャンセル	30
2.7.1.4	リンクを削除	31
2.7.1.5	検索	31
2.7.2	ダウンロードの共有	32
2.7.2.1	リンクの詳細を見る	32
2.7.2.2	リンクをコピー	32
2.7.2.3	リンクを無効にする	32
2.7.2.4	リンクを削除	33
2.7.2.5	検索	33
2.7.3	メールアドレスの設定	33
2.8	ユーザー管理	34
2.8.1	ユーザー一覧	34
2.8.1.1	ユーザーの追加	34
2.8.1.2	ユーザーの編集	36
2.8.1.3	ユーザーのロック	37
2.8.1.4	ユーザーのロックを解除する	38
2.8.1.5	検索	38
2.8.1.6	LDAL/AD ドメインアカウントのインポート	39
2.8.1.7	ユーザーアカウントの削除	39
2.8.1.8	ユーザーのオンライン状態の確認	40
2.8.1.9	コンフィグ通知メール	40
2.8.2	ユーザーの容量占有率統計	42

2.8.3 ユーザー操作記録.....	43
2.8.4 ユーザーグループ.....	43
2.8.4.1 ユーザーグループの作成.....	43
2.8.4.2 ユーザーグループの編集.....	44
2.8.4.3 ユーザーグループのユーザーを表示する.....	45
2.8.4.4 ユーザーグループにユーザーを追加する.....	46
2.8.4.5 ユーザーグループのユーザーを削除する.....	47
2.8.4.6 ユーザーグループの削除.....	47
2.8.4.7 検索.....	48
2.8.4.8 ユーザーグループ容量の占有率統計.....	48
2.8.5 第三者認証.....	48
2.8.5.1 LDAP/AD 設定.....	48
2.8.5.2 メール認証.....	50
2.8.5.3 Unix システム認証.....	51
2.8.5.4 外部 http 認証.....	53
2.8.6 容量統計.....	54
2.8.7 Auth A/C 設定.....	55
2.8.8 通知を送信.....	56
2.8.8.1 通知の追加.....	56
2.8.8.2 検索通知.....	58
2.8.8.3 通知の削除.....	59
2.8.8.4 通知の受信するアカウントを表示.....	59
2.9 ストレージ設定.....	60
2.9.1 ローカルストレージ.....	60
2.9.2 Alibaba クラウド OSS.....	61
2.9.3 Amazon S3.....	61
2.9.4 S3 インターフェース対応ストレージ.....	62
2.9.5 Azure Blob.....	62
2.10 詳細設定.....	63
2.10.1.1 TLS 証明書.....	63
2.10.1.2 TLS 証明書.....	63
2.10.1.3 TLS 証明書情報の表示.....	64
2.10.1.4 TLS 証明書の再アップロード.....	64
2.10.2 クライアント TLS.....	65
2.10.3 MySQL 設定.....	67
2.10.4 転送プロトコル.....	67

2.10.5 イベント通知.....	69
2.10.6 その他の設定.....	71
2.10.6.1 速度制限.....	71
2.10.6.2 ログファイルの保存場所.....	71
2.10.6.3 ログファイル保存期間.....	71
2.10.6.4 ファイルを閉じる.....	72
2.10.6.5 ファイルの同期.....	72
2.10.6.6 アカウントのロック.....	74
2.10.6.7 弱いパスワード設定.....	74
2.10.6.8 システム転送ホワイトリスト.....	74
2.10.6.9 複数の IP アドレスに対応.....	75
2.10.6.10 許可されたプロセス数.....	75
2.10.6.11 ユーザーによるパスワードの変更を許可する.....	76
2.11 管理者情報を変更する.....	76
2.12 個性的設定.....	77
2.12.1 アイコン、ロゴ、背景画像など.....	77
2.12.2 ウェブページのキーワードをカスタマイズ.....	79
3. よくある質問.....	80

1 はじめに

深セン市雲語科技有限公司（以下、雲語科技）は、2010年に中国深センに本社と北京、上海、成都に支社をそれぞれ設立しており、現在ビジネスは全世界をカバーしています。雲語科技は、ビッグデータ転送の高速化とネットワーク最適化サービスに焦点を当てており、ビッグデータ時代のデータ同期や情報のインタラクティブをより効率的にするために、様々な組織をサポートしています。

技術的なアドバンテージ

Raysync 転送エンジンは、データ転送業界をリードするの技術で顧客の越境転送、長距離転送、大容量ファイル転送などの問題点を完璧に解決します。また、帯域幅効率を最大限にし、作業効率を向上させることで、顧客から満足度の高いコメントを得ています。

サービスチーム：

Raysync 転送エンジンと従来のネットワークリソースを組み合わせる他、業界において経験豊富な技術とサービスチームを擁しており、お客様に高速、安定、安全なネットワークサービスを提供しています。企業のネットワークへの投資を大幅に節約し、効率性を向上させ、ネットワークの利用をより手軽にしています。

2 サーバー管理マニュアル

2.1 Windows サーバーの導入

RaySync windows サーバーは、windows server 2008、windows server 2012、windows server 2016、windows 7、windows 8、windows 10 プラットフォームの導入をサポートしています。

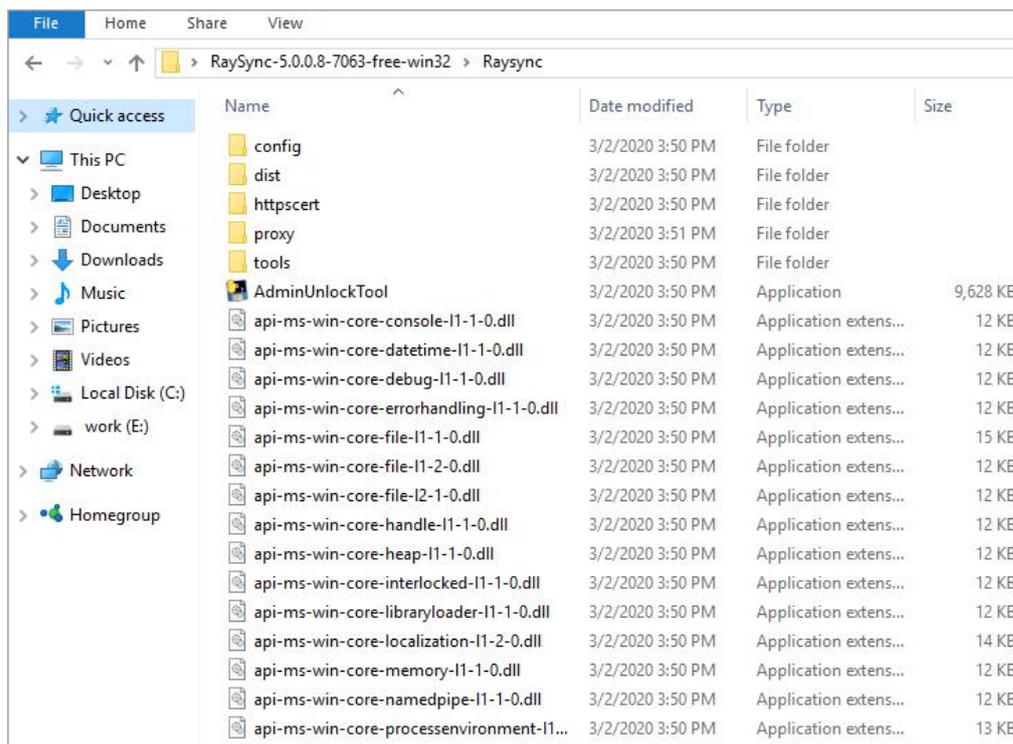
2.1.1 インストール用の zip ファイルの取得

<https://www.raysync.io/pricing/>にアクセスして、最新の zip ファイルをダウンロードしてください。

プロ版または企業版をご購入された場合は、販売員から関連するインストールパッケージを入手してください。

2.1.2 解凍

インストールディレクトリ（D:\Program Files\Raysync）に解凍すると、次のファイルが表示されます：



Name	Date modified	Type	Size
config	3/2/2020 3:50 PM	File folder	
dist	3/2/2020 3:50 PM	File folder	
httpscert	3/2/2020 3:50 PM	File folder	
proxy	3/2/2020 3:51 PM	File folder	
tools	3/2/2020 3:50 PM	File folder	
AdminUnlockTool	3/2/2020 3:50 PM	Application	9,628 KB
api-ms-win-core-console-l1-1-0.dll	3/2/2020 3:50 PM	Application extens...	12 KB
api-ms-win-core-datetime-l1-1-0.dll	3/2/2020 3:50 PM	Application extens...	12 KB
api-ms-win-core-debug-l1-1-0.dll	3/2/2020 3:50 PM	Application extens...	12 KB
api-ms-win-core-errorhandling-l1-1-0.dll	3/2/2020 3:50 PM	Application extens...	12 KB
api-ms-win-core-file-l1-1-0.dll	3/2/2020 3:50 PM	Application extens...	15 KB
api-ms-win-core-file-l1-2-0.dll	3/2/2020 3:50 PM	Application extens...	12 KB
api-ms-win-core-file-l2-1-0.dll	3/2/2020 3:50 PM	Application extens...	12 KB
api-ms-win-core-handle-l1-1-0.dll	3/2/2020 3:50 PM	Application extens...	12 KB
api-ms-win-core-heap-l1-1-0.dll	3/2/2020 3:50 PM	Application extens...	12 KB
api-ms-win-core-interlocked-l1-1-0.dll	3/2/2020 3:50 PM	Application extens...	12 KB
api-ms-win-core-libraryloader-l1-1-0.dll	3/2/2020 3:50 PM	Application extens...	12 KB
api-ms-win-core-localization-l1-2-0.dll	3/2/2020 3:50 PM	Application extens...	14 KB
api-ms-win-core-memory-l1-1-0.dll	3/2/2020 3:50 PM	Application extens...	12 KB
api-ms-win-core-namedpipe-l1-1-0.dll	3/2/2020 3:50 PM	Application extens...	12 KB
api-ms-win-core-processenvironment-l1...	3/2/2020 3:50 PM	Application extens...	13 KB

ファイルリストの説明：

ファイル名	説明
設定	Raysync 転送サービス設定のファイル
分配	RaySync ウェブサービス
httpscert	Https 証明書
ログ	Raysync 転送サービスのログファイル（起動後に作成）
プロキシ	Raysync 転送加速サービス
ツール	オフライン有効化コードのツール
ライセンス	有効化コード
ユーザー	Raysync ユーザーストレージ
raysync-webmon.exe	デーモン処理
AdminUnlockTool.exe	Raysync バックグラウンド管理者パスワードロック解除サービス
raysync-web.exe	ファイル転送サービス
rayfile-s.exe	レイファイル転送サービス
start.bat	RaySync 転送サービスの開始
stop.bat	RaySync 転送サービスの停止
status.bat	Raysync サービスの稼働状況を見る
AdminInitPwd	管理者デフォルトの初期パスワードファイル(サーバー起動後に生成)
serviceStart.exe	自動開始サービス
serviceDel.exe	自動開始サービスをオフにする

ファイル名	説明
raysync-update.exe	Raysync アップデートサービス
version.txt	バージョン確認

2.1.3 起動する

start.bat をダブルクリックして Raysync 転送サービスを開始します。起動が成功してから、任意のキーを押してウィンドウを閉じます。

```

C:\Windows\System32\cmd.exe
raysync-webmon added to the firewall.
raysync-web added to the firewall.
rayfile-s added to the firewall.
raysync-s added to the firewall.
raysync-mon added to the firewall.
raysync-update added to the firewall.
raysync-webmon is starting.

```

2.1.4 サービス停止

stop.bat をダブルクリックして Raysync 転送サービスを停止します。停止が成功してから、任意のキーを押してウィンドウを閉じます。

```

C:\Windows\System32\cmd.exe
F:\RAYSYN 1\503~1.8\RAYSYN 1.8-7\Raysync\raysync-webmon.exe"
raysync-webmon delete to the firewall.
F:\RAYSYN 1\503~1.8\RAYSYN 1.8-7\Raysync\raysync-web.exe"
raysync-web delete to the firewall.
F:\RAYSYN 1\503~1.8\RAYSYN 1.8-7\Raysync\rayfile-s.exe"
rayfile-s delete to the firewall.
raysync-mon delete to the firewall.
raysync-s delete to the firewall.
raysync-update delete to the firewall.
raysync-webmon is stopping.
raysync-mon is stopping.
raysync-web is stopping.
raysync-web is stopping.
raysync-update is stopping.
raysync-webmon is not running...
raysync-web is not running..
rayfile-s is not running..
raysync-update is not running...

```

2.1.5 Raysync サービスの稼働状況を見る

Status.bat をダブルクリックすると、Raysync 転送サービスの稼働状況が表示されます。確認したら、任意のキーを押してウィンドウを閉じます。

```
C:\Windows\system32\cmd.exe
raysync-webmon is already running...
raysync-web is already running...
rayfile-s is already running...
raysync-update is already running...
```

2.1.6 ポートマッピング

サーバー上では、NAT ゲートウェイに展開され、かつイントラネット IP しかない場合は、ルーターの NAT に以下の 5 つのポートをマッピングする必要があります：

TCP:8090

TCP:9090

TCP:2442

TCP:2443

UDP:32001

2.2 Linux サーバーの導入

Raysync linux サーバーの導入は、ubuntu14.0.x、centos6.5 以上のバージョンに対応しています。

2.2.1 ソフトウェアパッケージを入手

<https://www.raysync.io/pricing/> にアクセスして、最新の zip ファイルをダウンロードしてください。

プロ版または企業版をご購入された場合は、販売員から関連するインストールパッケージを入手してください。

2.2.2 解凍

インストールディレクトリーに解凍します。例えば/opt/Raysync のようなインストールディレクトリーに解凍し、その下のディレクトリーで `-zxvf xxxx.tar.gz` を実行してインストールパッケージを開きます：

```
[root@iZwz9ivic58czwgtc75bsZ Raysync]# tar -zxvf RaySync_FTP-3.0.7.3-4987_Free-linux_64.tar.gz
```

以下のファイルが表示されます：

```
[root@localhost RaySync]# ll
total 90016
-rwxr-xr--. 1 root root 20364357 Mar  2 15:50 AdminUnlockTool.bin
drwxr-xr--. 2 root root      40 Mar  2 15:50 config
drwxr-xr--. 4 root root      30 Mar  2 15:50 dist
-rwxr-xr--. 1 root root      17 Mar  2 15:50 encryption.json
drwxr-xr--. 2 root root      69 Mar  2 15:50 httpscert
-rwxr-xr--. 1 root root    9235 Mar  2 15:50 install.sh
-rwxr-xr--. 1 root root 3649897 Mar  2 15:50 ip.ipdb
-rwxr-xr--. 1 root root      22 Apr  8 17:36 license.txt
drwxr-xr--. 3 root root      59 Mar  2 15:50 proxy
-rwxr-xr--. 1 root root 29284072 Mar  2 15:50 rayfile-s
-rwxr-xr--. 1 root root      56 Mar  2 15:50 raysyncA
-rwxr-xr--. 1 root root     207 Mar  2 15:50 RaySyncServer.sh
-rwxr-xr--. 1 root root 5112560 Mar  2 15:50 raysync-update
-rwxr-xr--. 1 root root 26165695 Mar  2 15:50 raysync-web.bin
-rwxr-xr--. 1 root root 7528216 Mar  2 15:50 raysync-webmon
-rwxr-xr--. 1 root root     677 Mar  2 15:50 start.sh
-rwxr-xr--. 1 root root    1625 Mar  2 15:50 status.sh
-rwxr-xr--. 1 root root    3370 Mar  2 15:50 stop.sh
drwxr-xr--. 4 root root      51 Mar  2 15:50 tools
-rwxr-xr--. 1 root root    3306 Mar  2 15:50 uninstall.sh
-rwxr-xr--. 1 root root     519 Mar  2 15:50 update.ini
-rwxr-xr--. 1 root root    2809 Mar  2 15:50 upgrade.sh
-rwxr-xr--. 1 root root       7 Mar  2 15:50 version.txt
```

ファイルリストの説明：

ファイル名	説明
設定	Raysync 転送サービス設定のファイル
分配	RaySync ウェブサービス
httpscert	Https 証明書
ログ	Raysync 転送サービスのログファイル（起動後に作成）
プロキシ	Raysync 転送加速サービス
ライセンス	有効化コード
ユーザー	Raysync ユーザーストレージ
raysync-webmon.exe	デーモン処理
AdminUnlockTool.exe	Raysync バックグラウンド管理者パスワードロック解除サービス
raysync-web.exe	ファイル転送サービス
rayfile-s.exe	レイファイル転送サービス
start.sh	RaySync 転送サービスの開始
stop.sh	RaySync 転送サービスの停止
status.sh	Raysync サービスの稼働状況を見る
インストール	スクリプトをインストールし、起動後に自動的に立ち上がるように設定します
アンインストール	起動後に自動的に起動をキャンセルします

ファイル名	説明
encryption.json	パスワード暗号化を使用して設定を保存します
version.txt	バージョン確認
ツール	オフライン有効化コードのツール
AdminInitPwd	管理者デフォルトの初期パスワードファイル(サーバー起動後に生成)
raysync-update.exe	Raysync アップデートサービス

2.2.3 インストールの初期化

```
# ./install
```

インストールが通常通りに完了したことは、インストールの初期化が完了し、起動後に自動的に立ち上がるよう、設定が成功したことを意味します。

```
root@iZwz9bx129zrquxz2ief8dZ:/home/3.4.2.8/RaySync_3.4.2.8# ./install.sh
Successfully installed.
root@iZwz9bx129zrquxz2ief8dZ:/home/3.4.2.8/RaySync_3.4.2.8# █
```

2.2.4 起動する

./start.sh を実行して、RaySync 転送サービスを開始します

```
[root@localhost RaySync]# ./start.sh
raysync-webmon.sh is running...
raysync-web is running...
raysync-mon is running...
rayfile-s is running...
raysync-update is running...
[root@localhost RaySync]# █
```

2.2.5 サービス停止

./stop.sh を実行して、RaySync 転送サービスを停止します

```
[root@localhost RaySync]# ./stop.sh
Stop raysync-webmon succeeded
Stop RaySync succeeded
```

2.2.6 Raysync サービスの稼働状況を見る

Status.bat をダブルクリックして、Raysync サービスの稼働状況を表示します：

```
[root@localhost RaySync]# ./status.sh
raysync-webmon.sh is running...
raysync-web is running...
raysync-mon is running...
rayfile-s is running...
raysync-update is running...
```

2.2.7 ポートマッピング

サーバー上では、NAT ゲートウェイに展開され、かつイントラネット IP しかない場合は、ルーターの NAT に以下の 5 つのポートをマッピングする必要があります：

サービス説明	プロトカルタイプ	ポート
ユーザー http サービスポート ユーザー https サービスポート	TCP	8090 8091
管理者 http サービスポート 管理者 https サービス・ポート	TCP	9090 9091
暗号化されていないサービスポート 化された転送ポート TLS 暗号	TCP	2442 2443
UDP 加速転送サービスポート	UDP	32001

2.3 管理者操作マニュアル

サーバーが実行されたら、Google Chrome で xx.xx.xx.xx を開きます： IP:9090/admin
例： 172.16.5.77:9090/admin/

2.3.1 管理者コンソールにログイン

初期管理者アカウント：admin

管理者の初期パスワード：

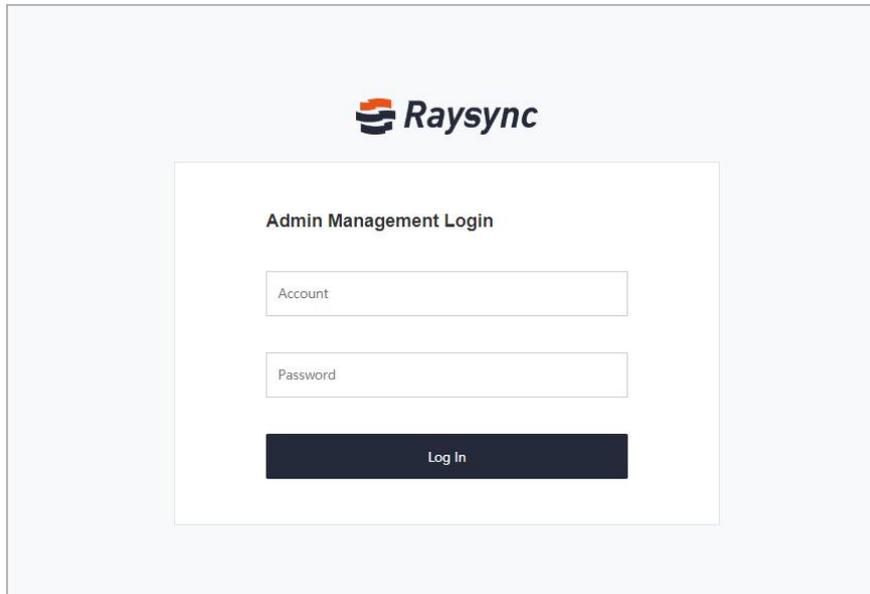
Windows の場合は、AdminInitPwd ファイルを開き、tar.gz ファイル内のパスワードをコピーしてください。

Name	Date modified	Type	Size
config	4/27/2020 11:44 AM	File folder	
dist	4/21/2020 3:14 PM	File folder	
httpscert	4/21/2020 3:14 PM	File folder	
log	4/27/2020 11:36 AM	File folder	
proxy	4/27/2020 11:36 AM	File folder	
tools	4/21/2020 3:14 PM	File folder	
AdminInitPwd	4/27/2020 11:36 AM	File	1 KB
AdminUnlockTool	4/21/2020 3:13 PM	Application	9,628 KB
api-ms-win-core-console-l1-1-0.dll	4/21/2020 3:13 PM	Application extens...	12 KB

Linux の場合、AdminInitPwd を cat してパスワードを表示します。

```
root@iZwz9bx129zrquxz2ief8dZ:/home/3.4.2.8/RaySync_3.4.2.8# cat AdminInitPwd
3u(_w%!c
root@iZwz9bx129zrquxz2ief8dZ:/home/3.4.2.8/RaySync_3.4.2.8# █
```

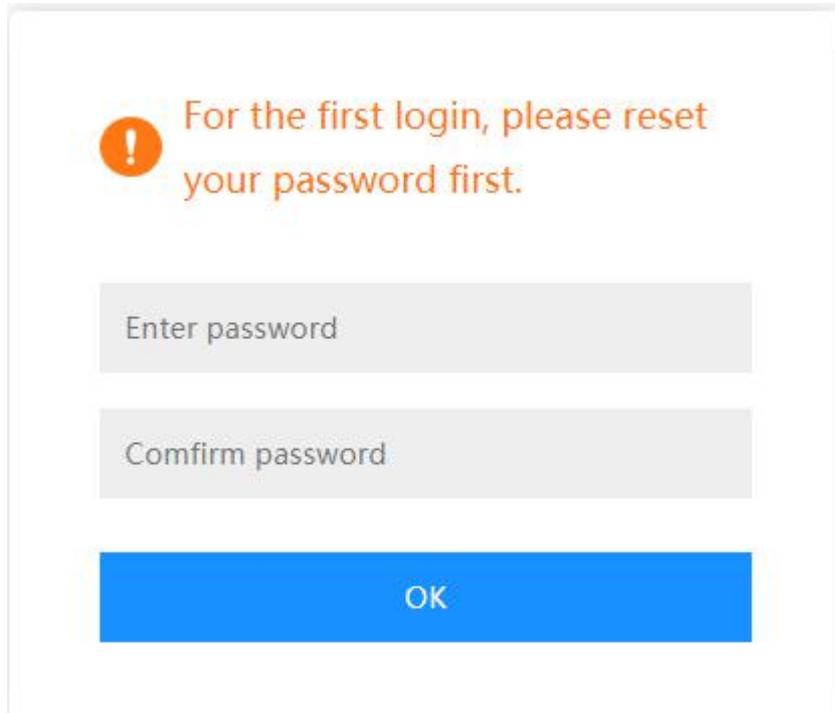
デフォルトのサーバーアカウント/パスワードを入力してログインします。



The image shows the Raysync Admin Management Login interface. At the top center is the Raysync logo. Below it, the text "Admin Management Login" is displayed. There are two input fields: "Account" and "Password". Below these fields is a dark blue button labeled "Log In".

初回ログイン時に、パスワードを変更してください。

新しいパスワードは、スペースを使用できません。大文字、小文字、数字、3つの組み合わせを8~20文字以内に設定する必要があります。パスワードとアカウントは同じにできません。



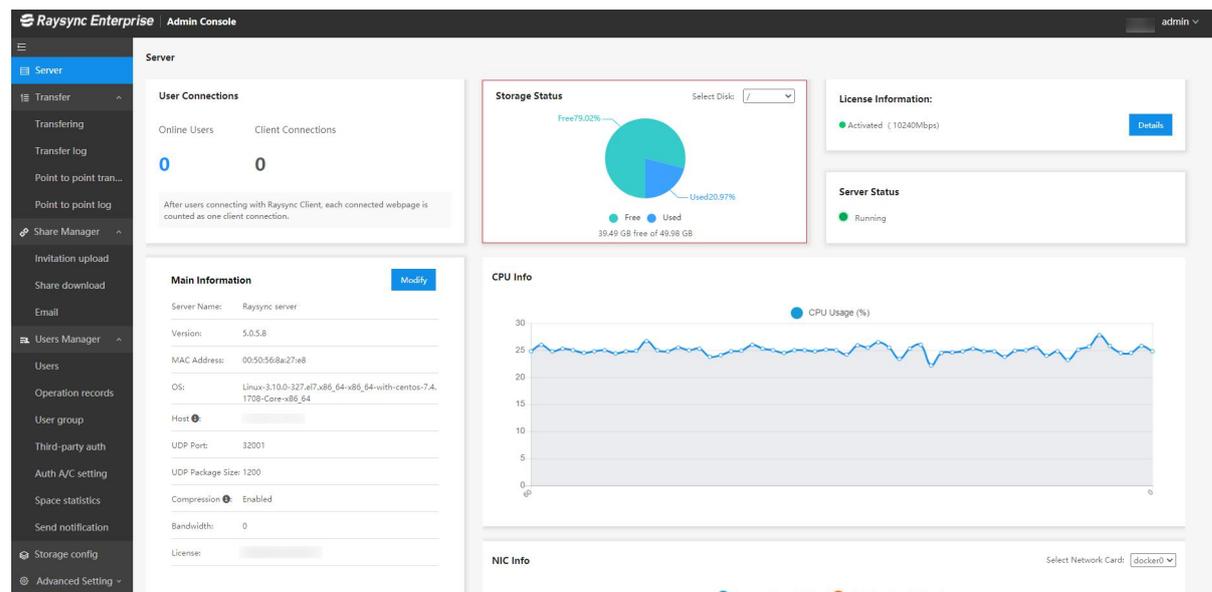
The image shows a password reset confirmation screen. At the top left is an orange warning icon (exclamation mark inside a circle). To its right, the text reads "For the first login, please reset your password first." Below this message are two input fields: "Enter password" and "Comfirm password". At the bottom is a large blue button labeled "OK".

[OK]をクリックしてパスワードをリセットし、新しいパスワードでログインします。

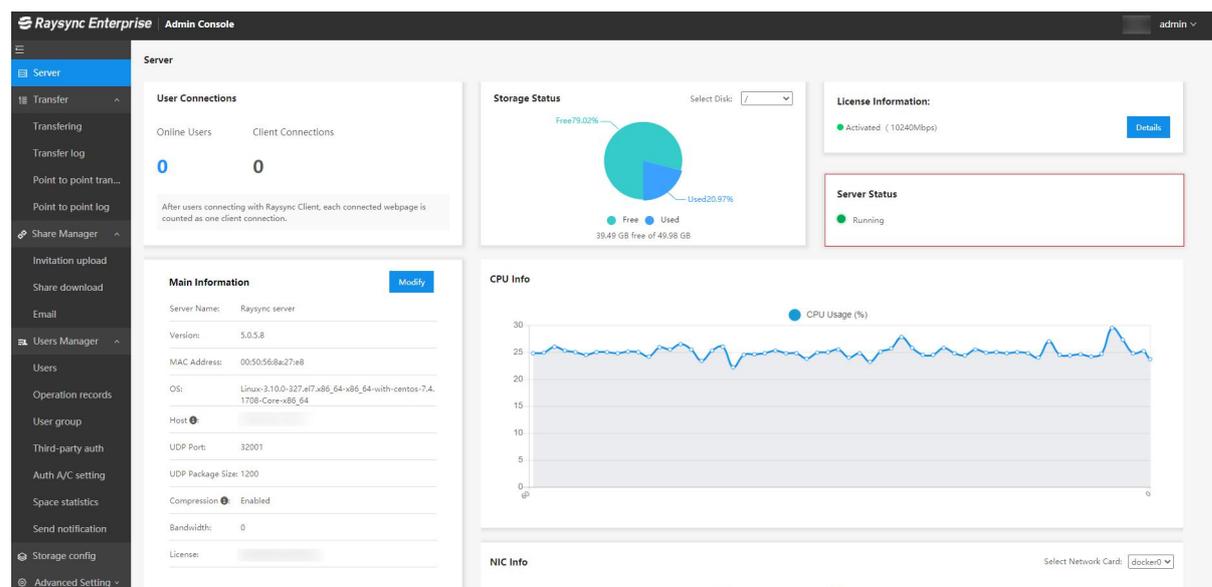
2.3.2 サーバーの状態表示

このインターフェースではサーバー設定情報、Raysync ソフトウェアの状態、オンラインユーザー数、ライセンスの有効化状態、CPU と関連するネットワークカードの監視情報が表示されます。

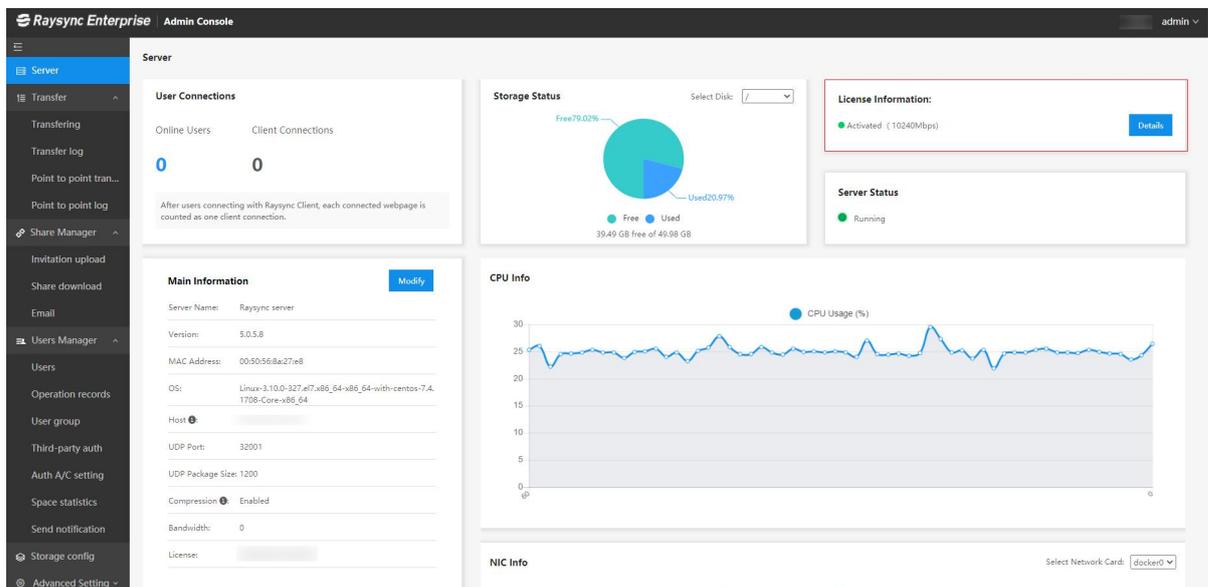
2.3.2.1 ディスク容量



2.3.2.2 動作状態



2.3.2.3 ライセンス情報

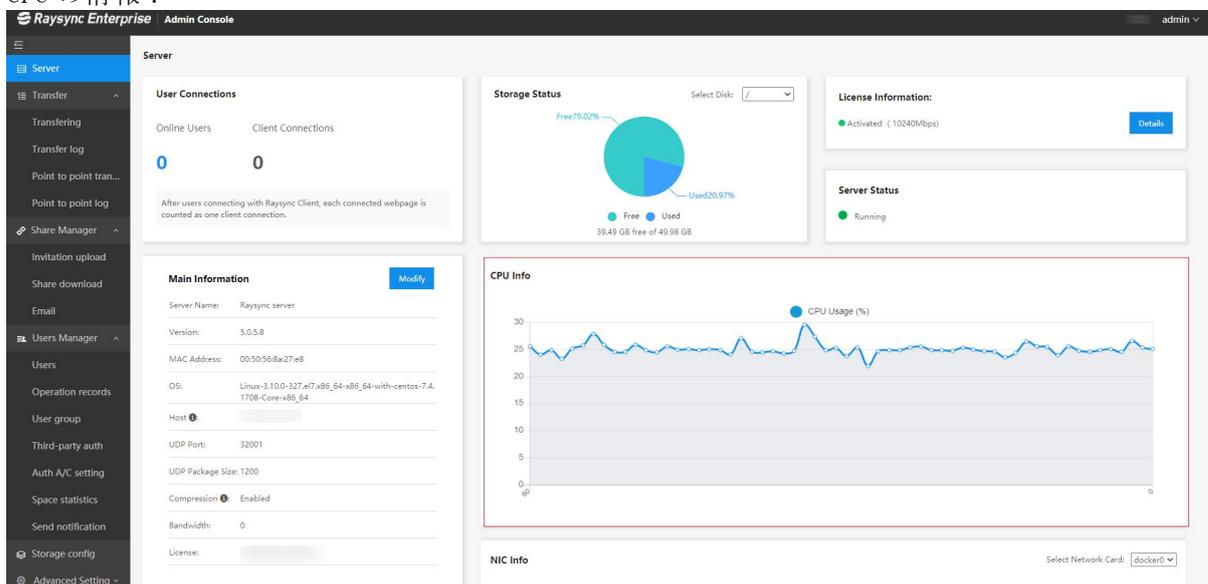


The screenshot displays the 'Server' configuration page in the Raysync Enterprise Admin Console. The interface includes a sidebar menu on the left with options like 'Transfer', 'Share Manager', and 'Users Manager'. The main content area is divided into several sections:

- User Connections:** Shows 0 Online Users and 0 Client Connections. A note states: "After users connecting with Raysync Client, each connected webpage is counted as one client connection."
- Storage Status:** A pie chart shows 79.02% Free (39.49 GB) and 20.97% Used (10.49 GB) of a 49.98 GB disk.
- License Information:** Shows 'Activated (10240Mbps)' with a 'Details' button.
- Server Status:** Shows 'Running' with a green indicator.
- Main Information:** A 'Modify' button is present. Fields include:
 - Server Name: Raysync server
 - Version: 5.0.5.8
 - MAC Address: 00:50:56:8a:27:e8
 - OS: Linux-3.10.0-327.el7.x86_64-x86_64-with-centos-7.4.1708-Core-x86_64
 - Host: [Redacted]
 - UDP Port: 32001
 - UDP Package Size: 1200
 - Compression: Enabled
 - Bandwidth: 0
 - License: [Redacted]
- CPU Info:** A line graph showing CPU Usage (%) fluctuating between approximately 20% and 30%.
- NIC Info:** Shows 'Select Network Card: docker0'.

2.3.2.4 モニタリング情報

CPUの情報:



This screenshot is identical to the one above, but the 'CPU Info' section is highlighted with a red border to indicate the focus of this section. The CPU usage graph shows a peak of approximately 30%.

ネットワークカード情報:

The screenshot displays the server management interface. On the left is a navigation menu with options like 'Share download', 'Email', 'Users Manager', 'Users', 'Operation records', 'User group', 'Third-party auth', 'Auth A/C setting', 'Space statistics', 'Send notification', 'Storage config', 'Advanced Setting', and 'Personalization'. The main content area is divided into three sections:

- Main Information:** A form showing server details such as Name, Version (5.0.5.8), MAC Address, OS, Host, UDP Port, Package Size, Compression status, Bandwidth, and License. It includes 'Shutdown server' and 'Reboot server' buttons.
- CPU Info:** A line graph showing CPU Usage (%) over time, with values fluctuating between approximately 20% and 30%.
- NIC Info:** A line graph showing Incoming and Outgoing Speed (Mbps) over time, with both speeds remaining near 0 Mbps.

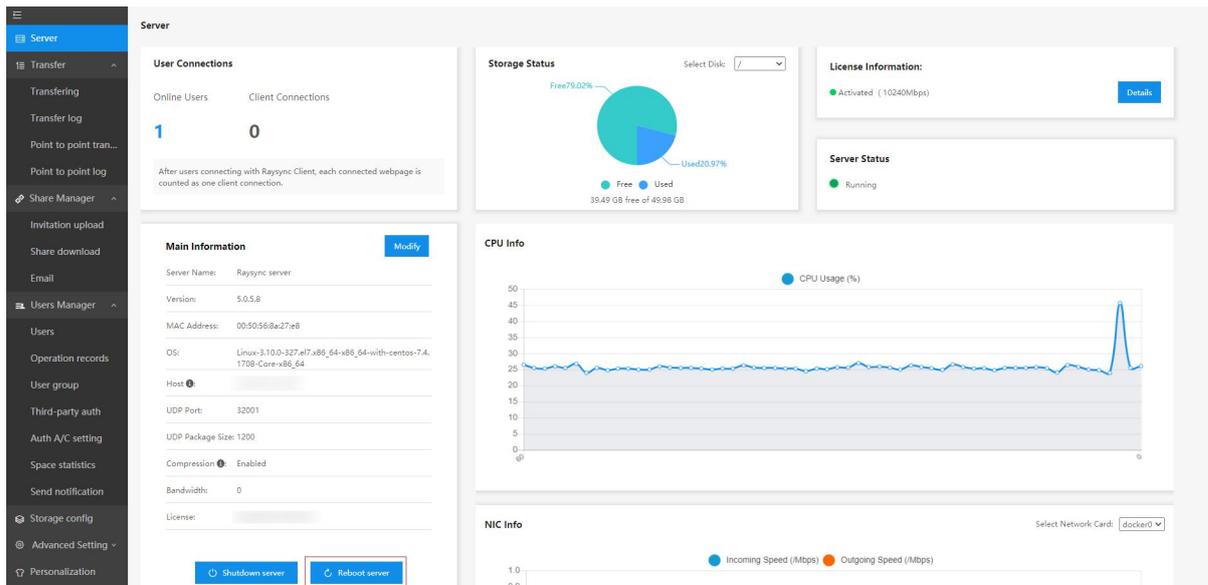
2.3.2.5 オンラインユーザー数

The screenshot shows the 'Admin Console' for 'Raysync Enterprise'. The left sidebar contains navigation options like 'Server', 'Transfer', 'Share Manager', and 'Storage config'. The main dashboard includes several key metrics:

- User Connections:** Shows 0 Online Users and 0 Client Connections. A note states: 'After users connecting with Raysync Client, each connected webpage is counted as one client connection.'
- Storage Status:** A pie chart showing storage usage: Free (79.02%) and Used (20.97%). Below the chart, it indicates '39.49 GB free of 49.98 GB'.
- License Information:** Shows 'Activated (10240Mbps)' with a 'Details' button.
- Server Status:** Shows the server is 'Running'.
- Main Information:** A detailed view of server settings, including Name, Version, MAC Address, OS, Host, UDP Port, Package Size, Compression, Bandwidth, and License.
- CPU Info:** A line graph showing CPU Usage (%) over time, fluctuating between 20% and 30%.
- NIC Info:** A line graph showing network speeds over time.

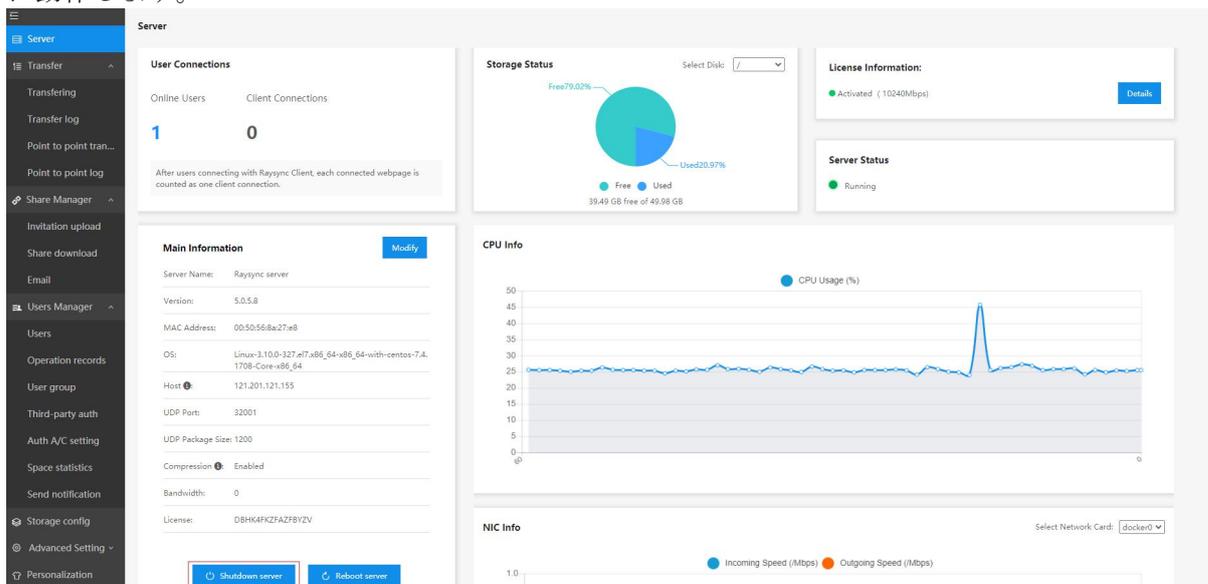
2.3.3 サーバーの再起動

[サーバーを再起動] をクリックすると、サーバーを再起動することができます。



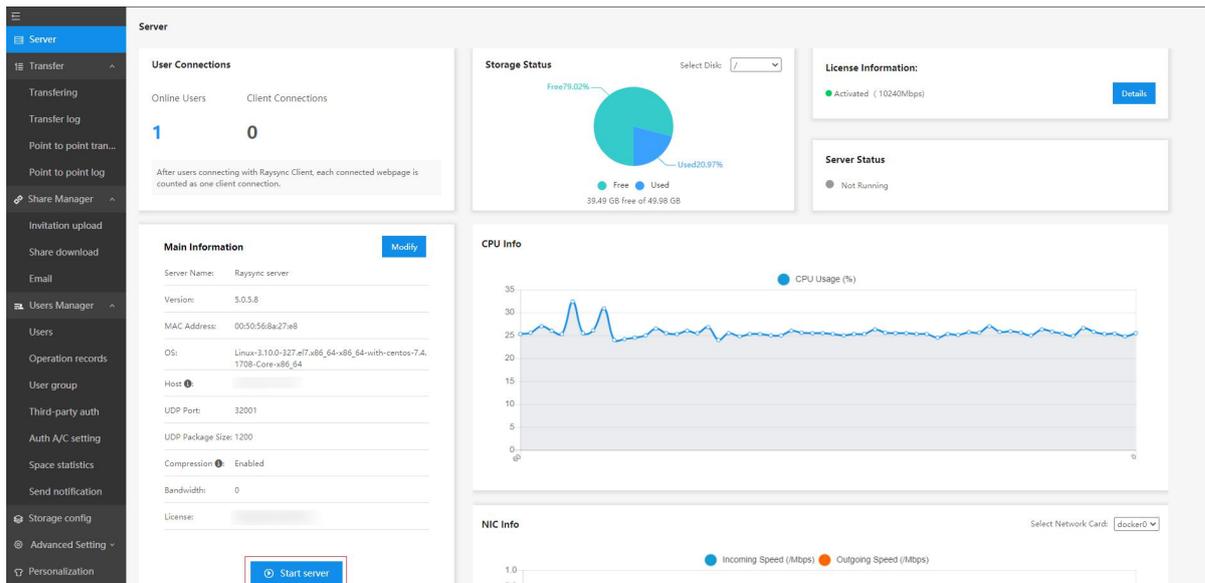
2.3.4 サーバーの停止

[サーバーを停止]をクリックすると、サーバー転送サービスが停止し、Web サービスは通常通りに動作します。



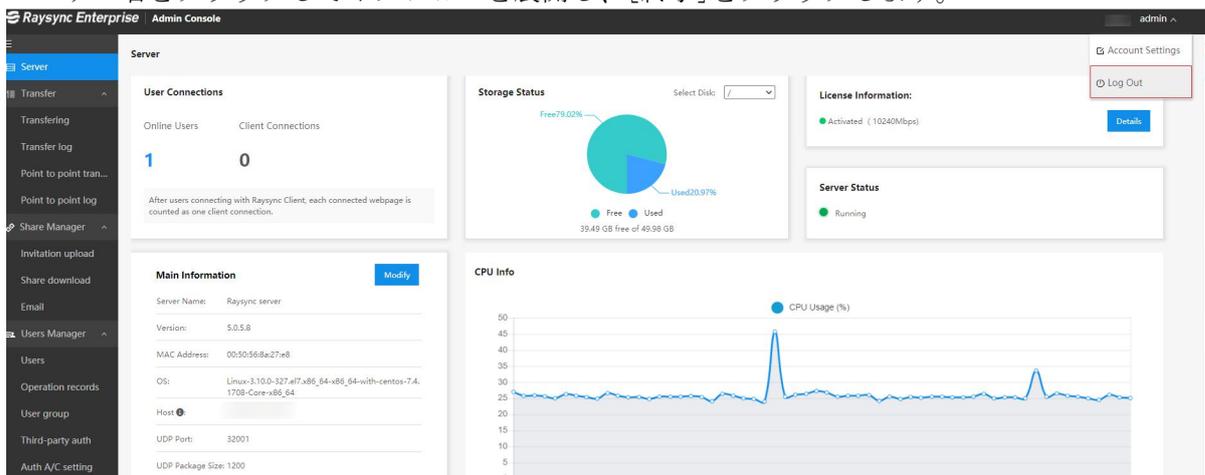
2.3.5 サーバーの起動

サーバーが停止状態の場合は、[サーバーを起動]をクリックしてサーバーを起動します。



2.3.6 管理者コンソールのログアウト

ユーザー名をクリックしてオプションを展開し、[終了]をクリックします。

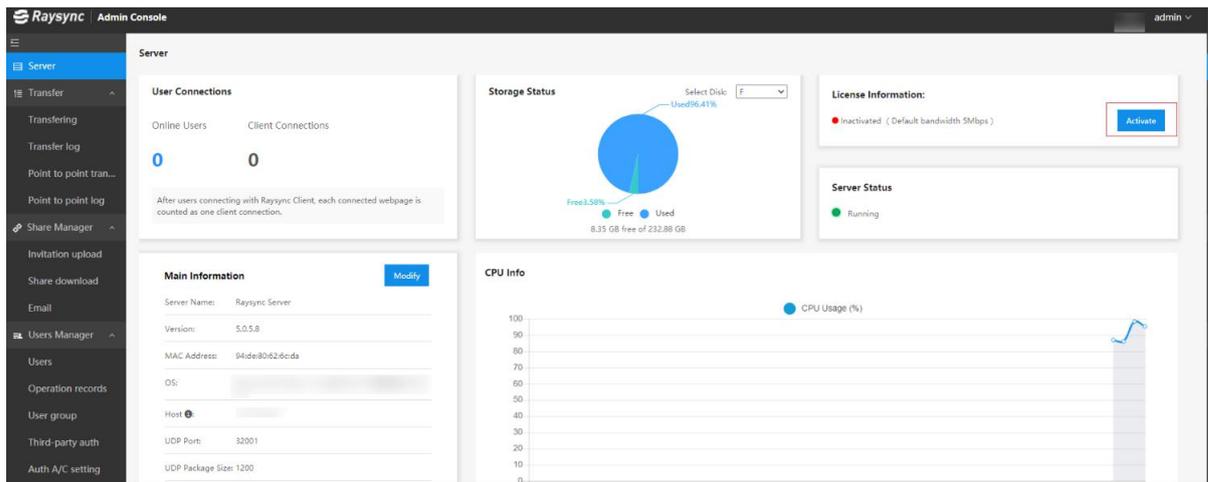


2.4 サーバー有効化

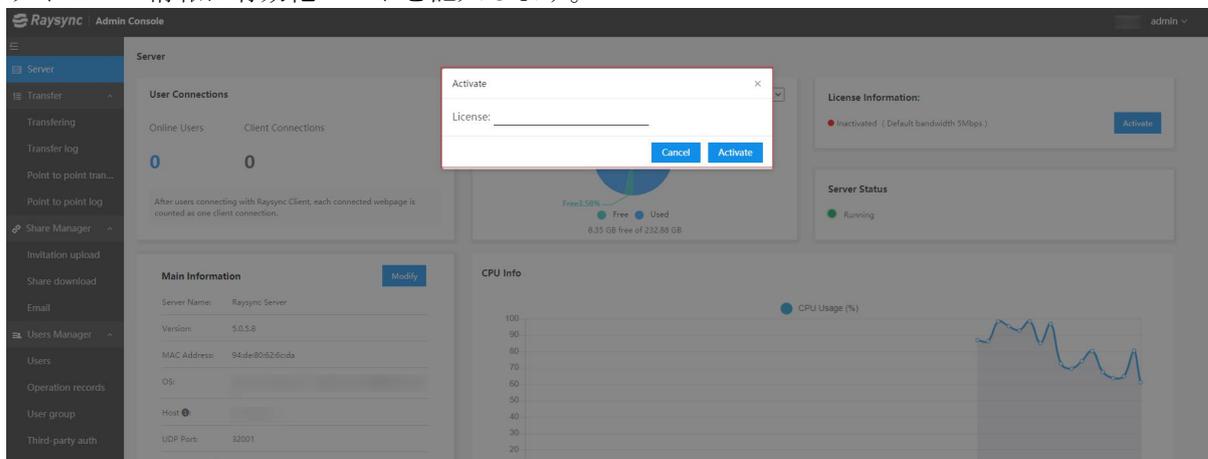
Raysync サーバーのライセンスが有効化された後、最高の速度を手に入れることができます。ライセンスが有効化されていない場合、デフォルトは 5Mbps の帯域幅です。

2.4.1 オンライン有効化

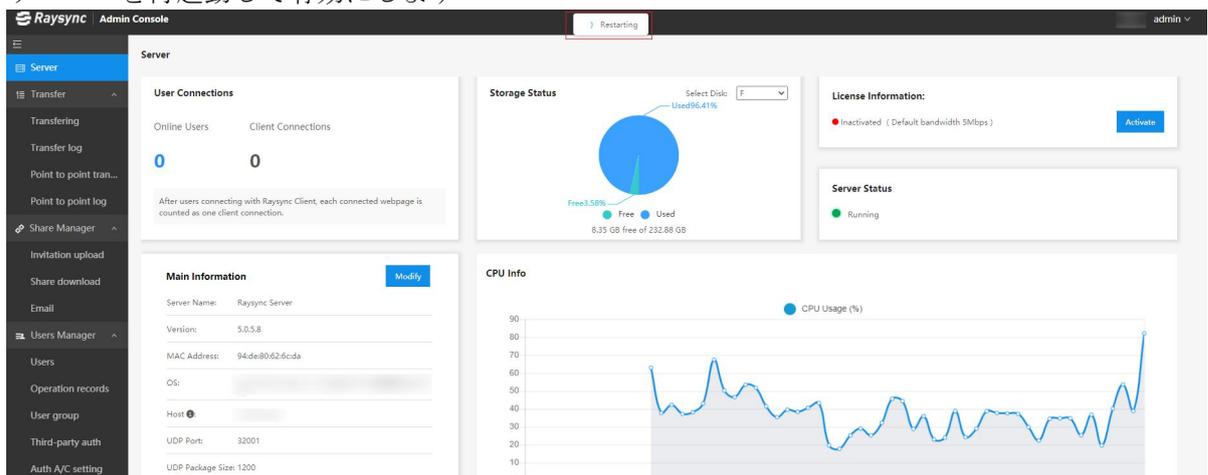
ログイン後、オンラインでの有効化をお勧めします。[有効化]ボタンをクリックします。



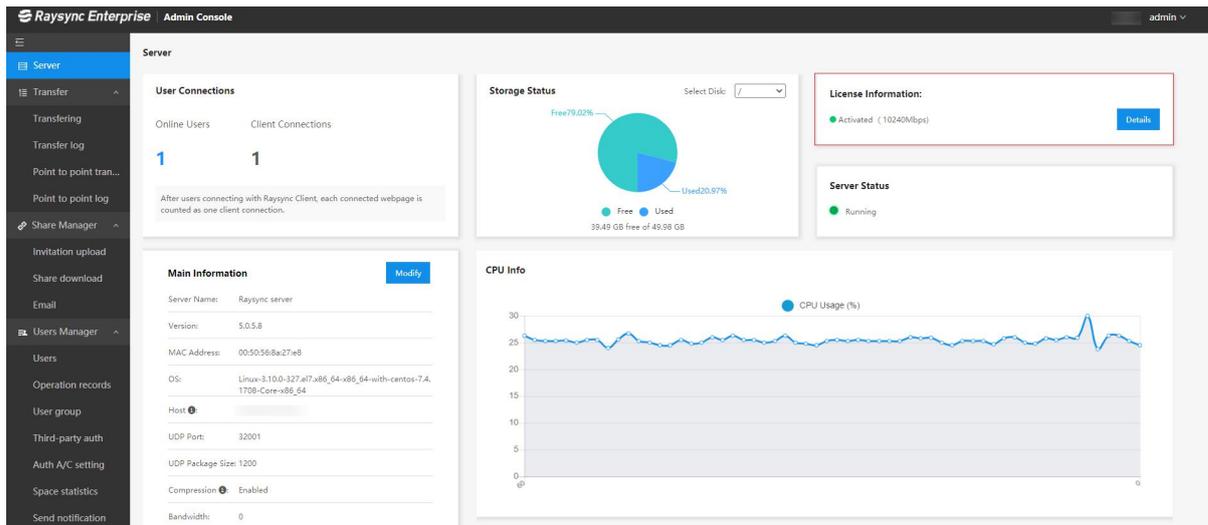
ライセンス情報に有効化コードを記入します。



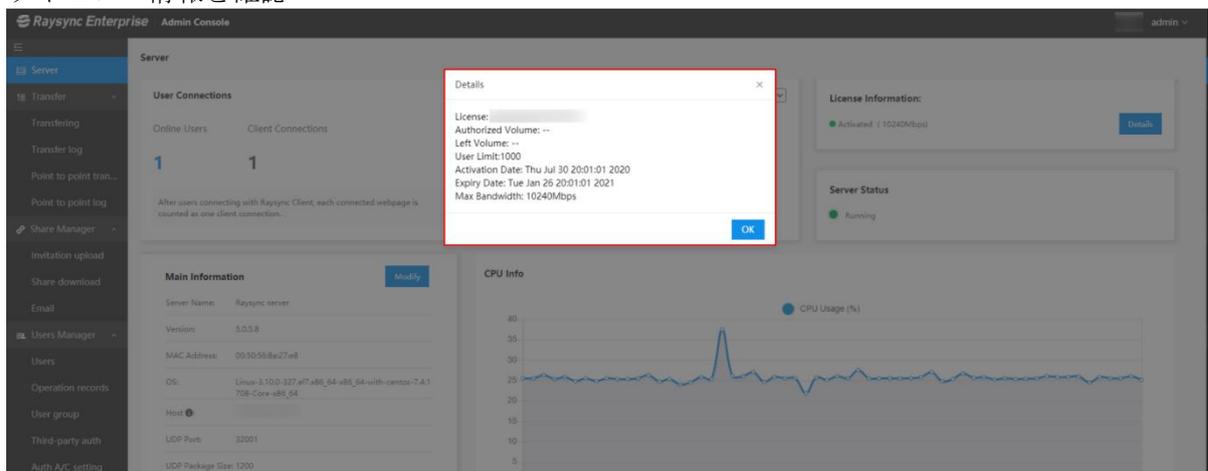
サーバーを再起動して有効にします



有効化成功

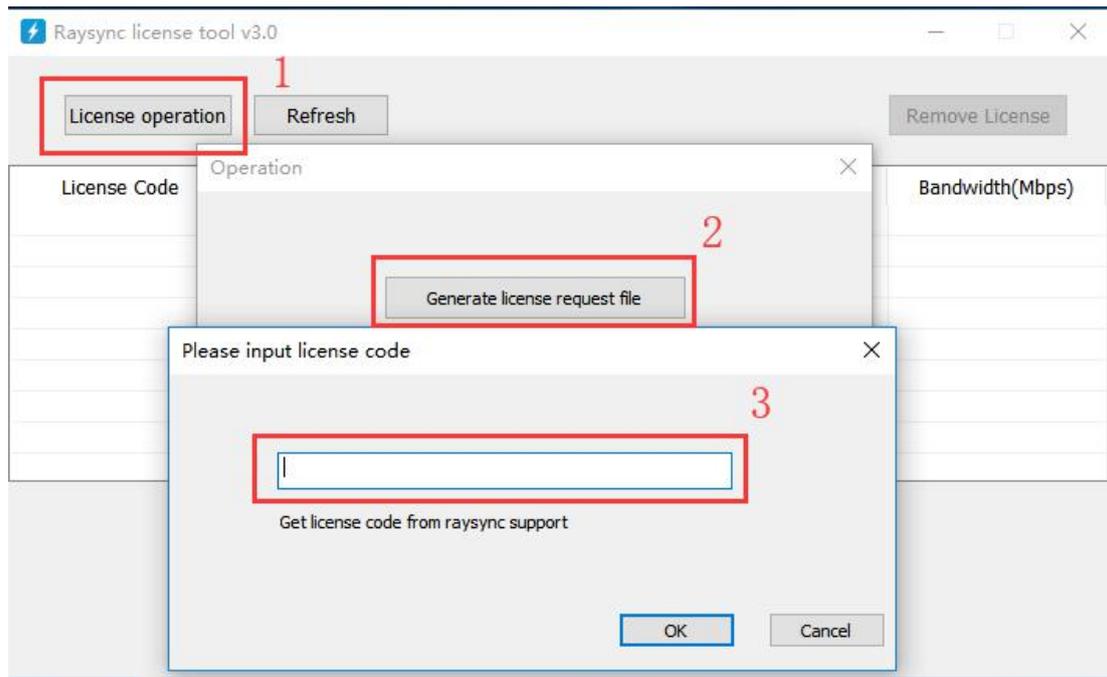


ライセンス情報を確認

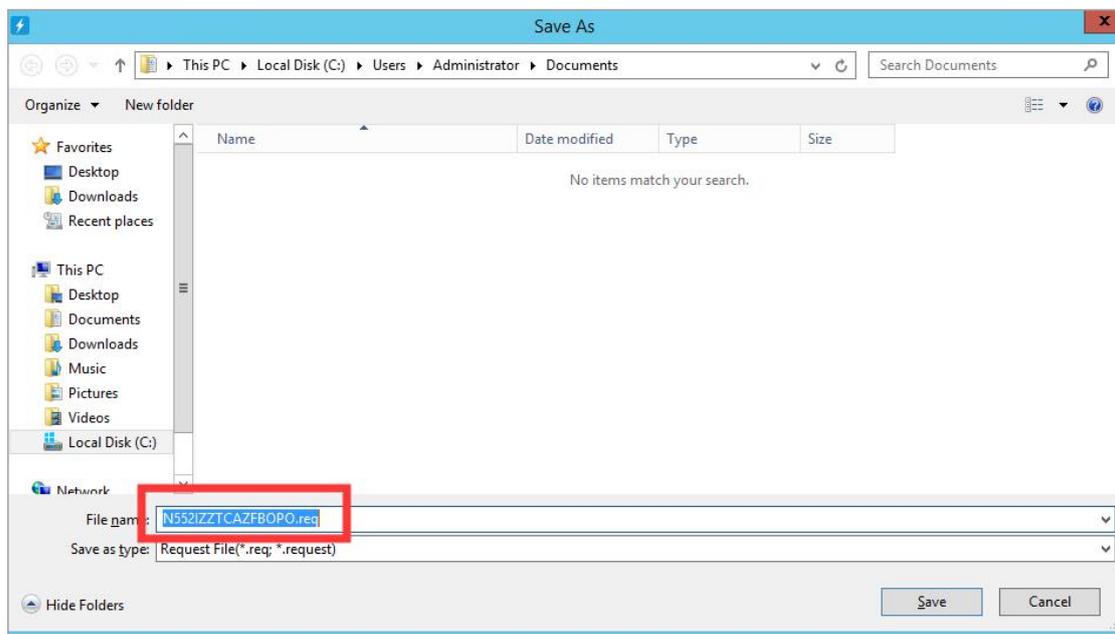


2.4.2 オフライン有効化(windows)

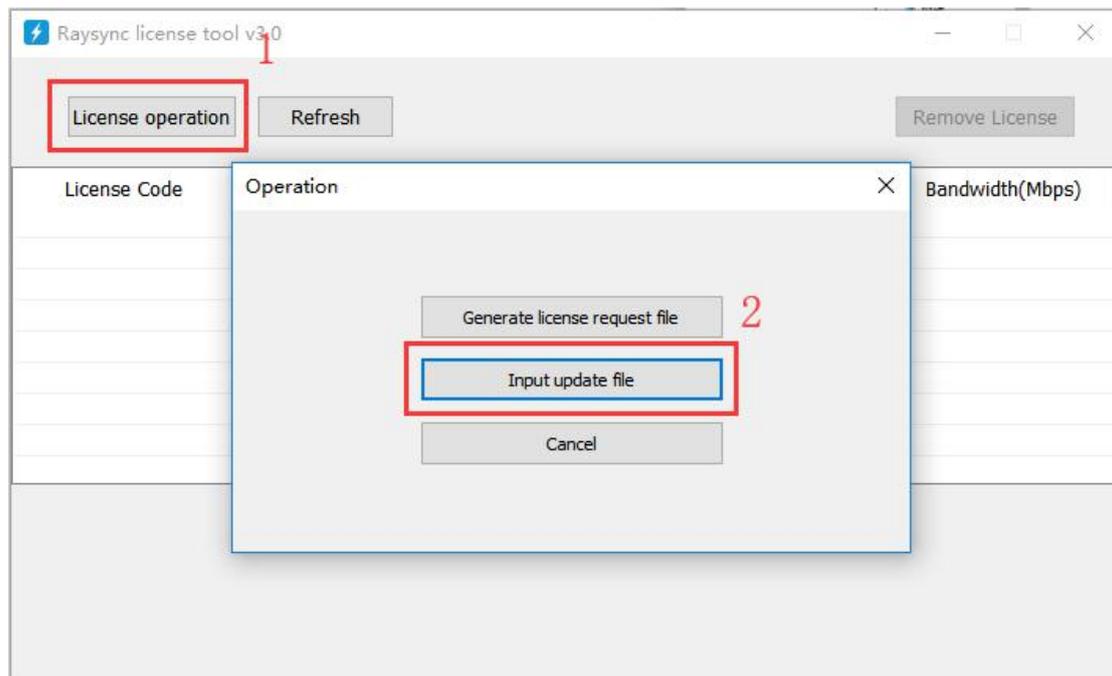
1、[Raysync ライセンス]を起動、①[ライセンス操作]をクリック、②[リクエストファイルの生成]をクリック、③ライセンスを記入します。



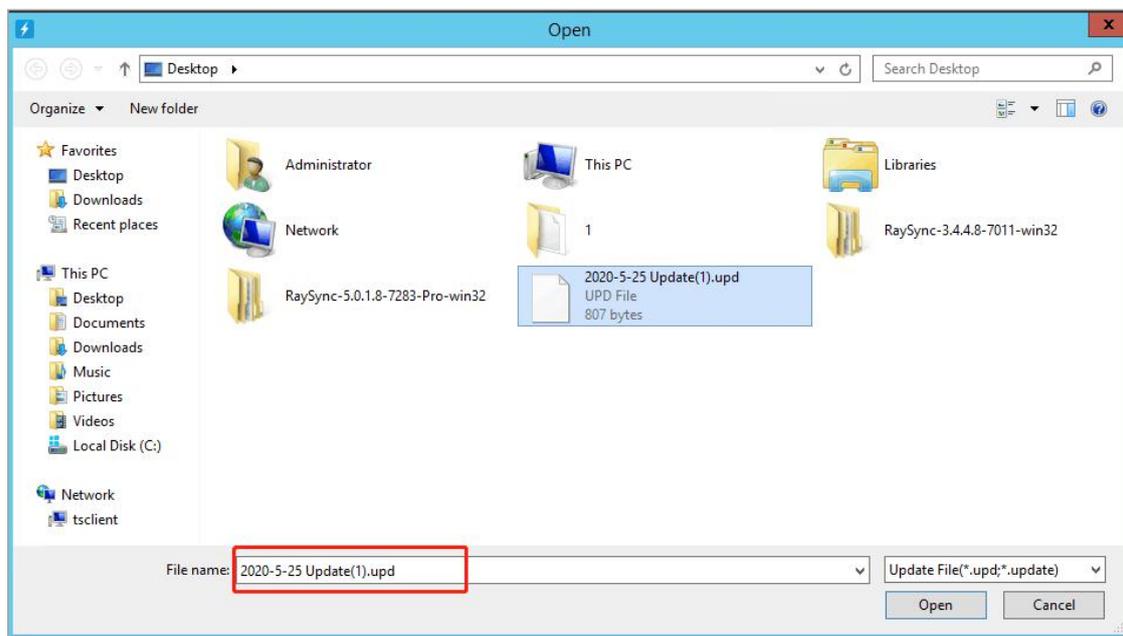
2、[.req]ファイルが生成されます。これはオフラインの有効化認証リクエストファイルであり、Raysync に送信してください。



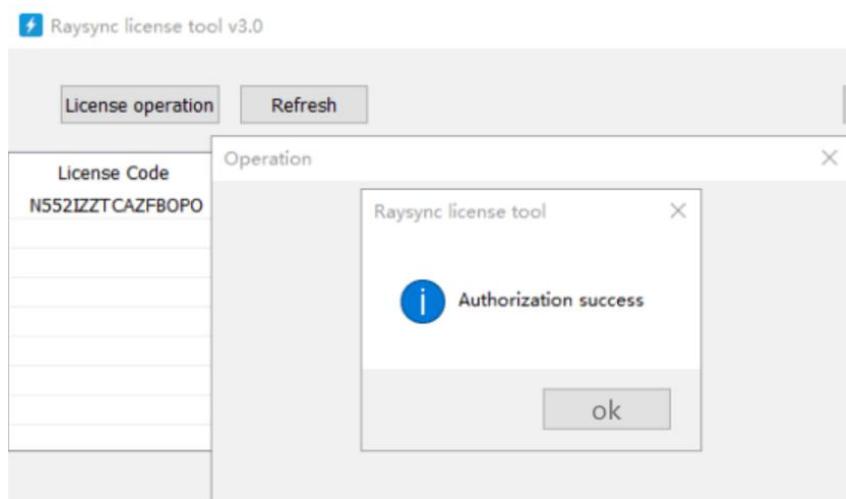
3、そして、Raysyn から[2020-5-25 Update.upd]のようなオフライン有効化認証ファイルが送信されます。それを入力してください。①[ライセンス操作]をクリックし、②[更新ファイルの入力]をクリックしてください。



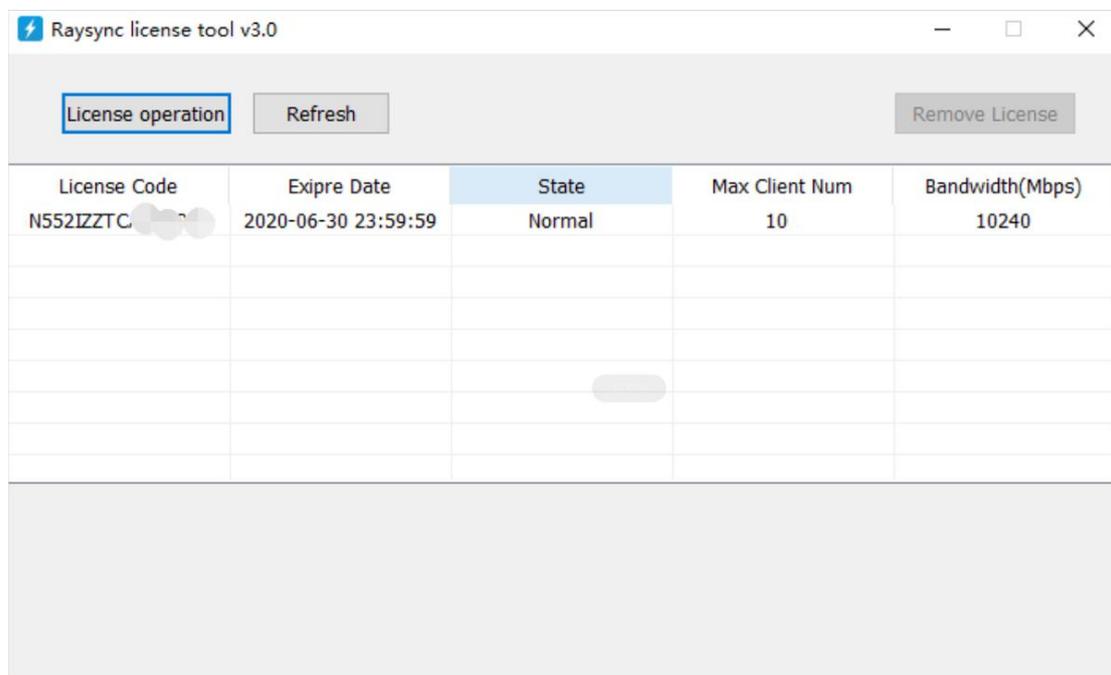
4、Raysync [2020-5-25 Update.upd] からオフラインの認証ファイルを選択してください。



5、[Authorization success]が表示されます。



6、オフライン有効化認証後のインターフェースは以下のように表示します。

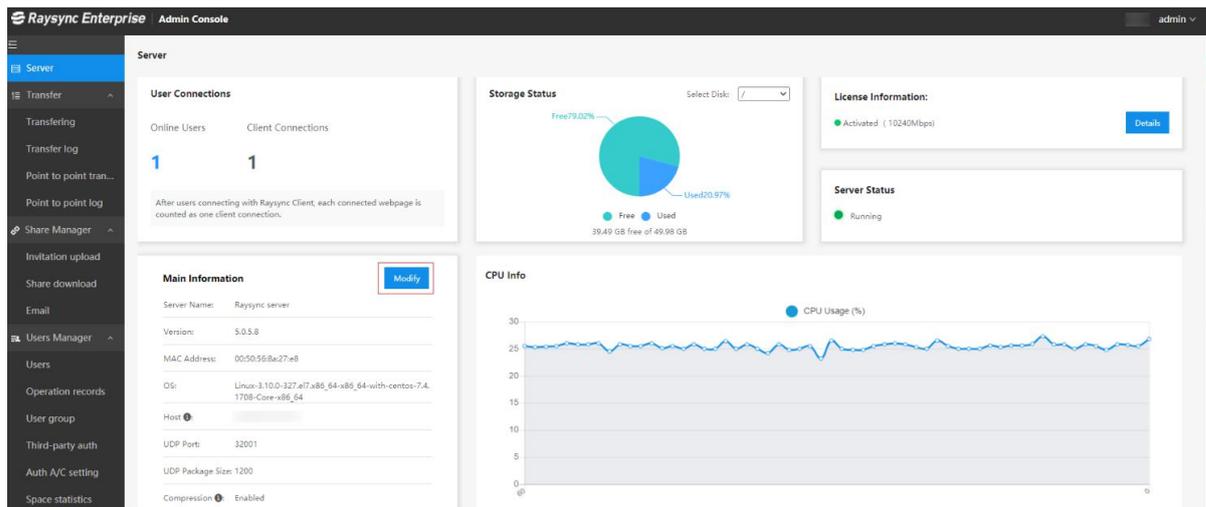


7、ファイル[Raysync (windows)のクイックガイド]の手順に従ってサーバーをデプロイして使用してください。

2.5 サーバー情報の編集

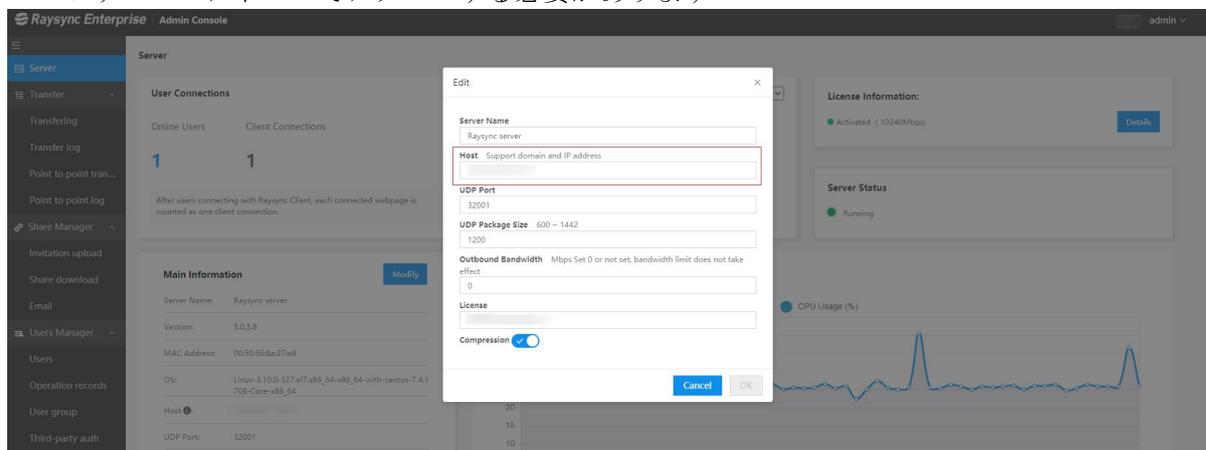
サーバー情報には、サーバーアドレス、UDP 加速ポート、UDP パケットサイズ、デフォルトストレージパス、エグレス帯域幅、転送サービス、圧縮の有効性が含まれます。

サーバー情報の修正ボタンをクリックすることで、サーバー情報を編集することができます。



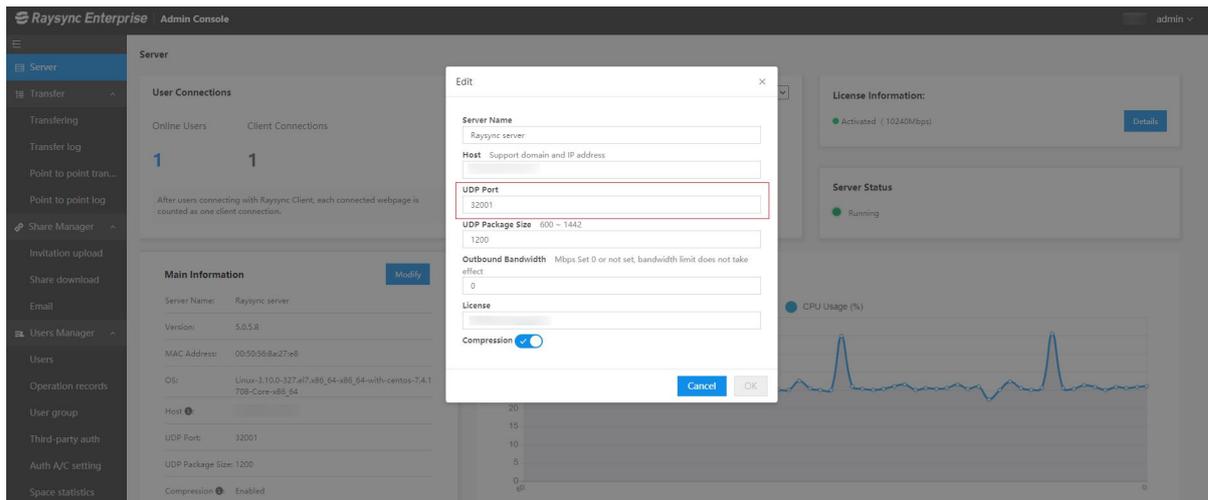
2.5.1 サーバーアドレス

- サーバーアドレスは、IP アドレスまたは関連するドメイン名に変更することができます。
- サーバーにドメイン名でアクセスする必要がある場合は、ドメイン名に変更します。
- 内部ネットアドレスでサーバーにアクセスする必要がある場合は、内部ネットアドレスに変更します
- 外部ネットアドレスでサーバーにアクセスする必要がある場合は、外部ネットアドレスに変更します
- サーバーアドレスが変更された後、フロントエンドとバックグラウンド両方の管理者は、新しいサーバーアドレスでアクセスする必要があります



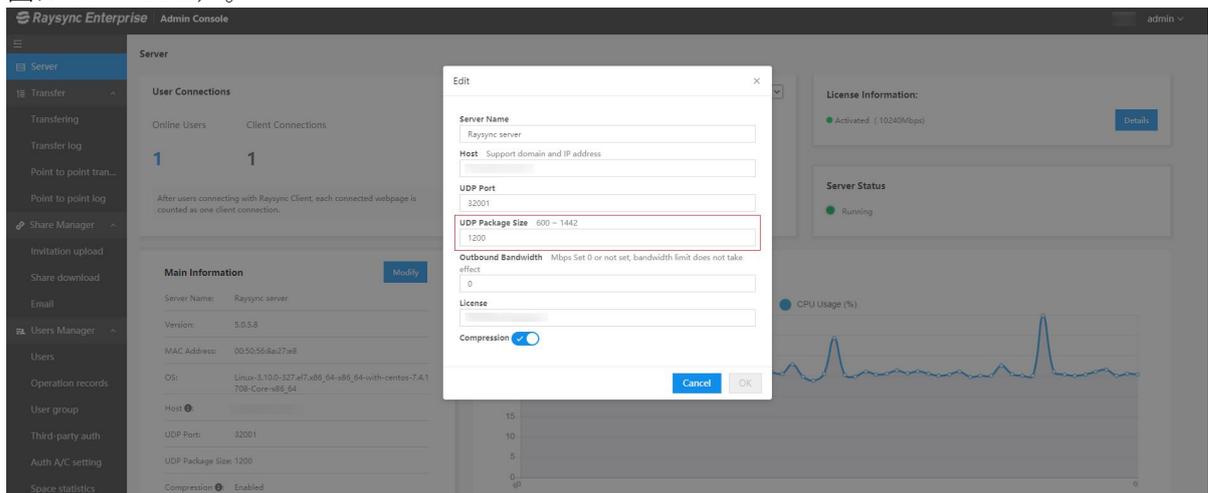
2.5.2 UDP 加速ポート

UDP ポートは、1~65535 の間のポートに変更することができます。デフォルトは 32001 です。サーバーのファイアウォールが既に UDP ポートを所有していることを確認する必要があります。さもなければ、転送が失敗します。変更後、サーバーを再起動する必要があります。



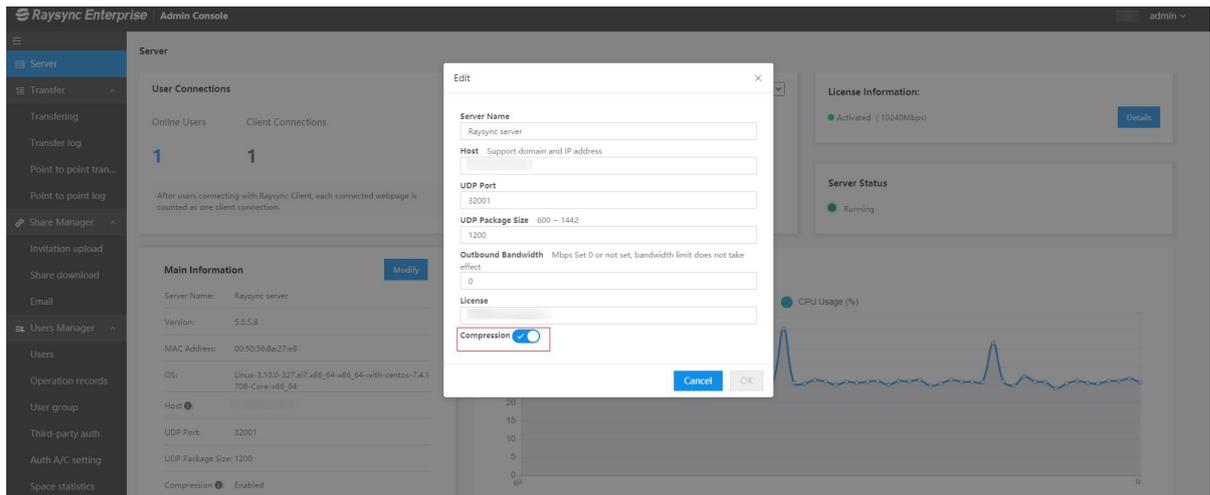
2.5.3 UDP メッセージサイズ

UDP メッセージのサイズは通常、デフォルト値によって設定されます。デフォルトは 1200 です（範囲は 600～1442）。



2.5.4 圧縮を有効化

圧縮を有効にすれば、圧縮可能なファイルを圧縮して転送することで、帯域の使用量を減らし、転送効率を向上させることができます。

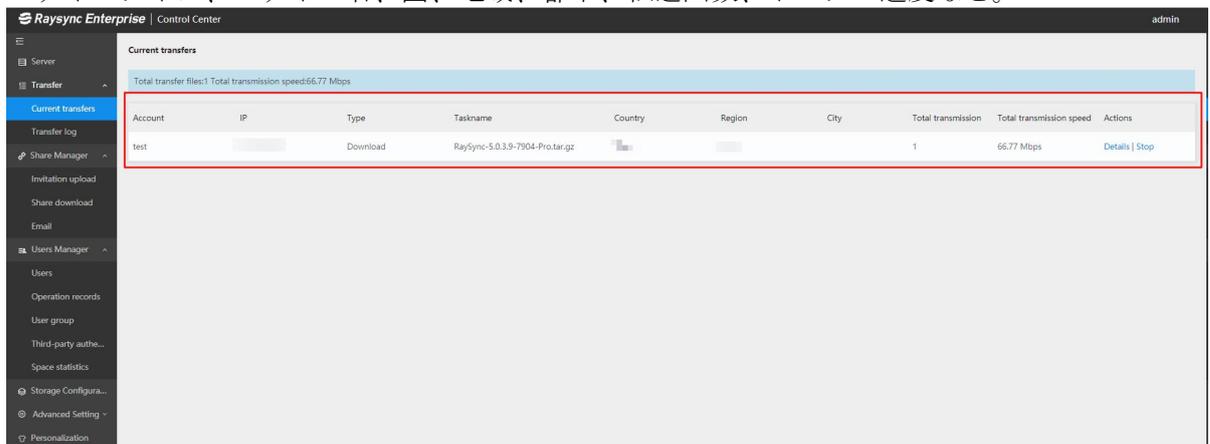


2.6 転送情報

ユーザーが転送している、または転送したファイルの情報は、転送情報から確認することができます。

2.6.1 ライブ転送

転送を入力すると、タスク情報を表示させることができます：ユーザー名、ユーザーソース IP、ファイルタイプ、ファイル名、国、地域、都市、転送回数、トータル速度など。



2.6.2 転送ログ

ユーザーが転送したファイルの情報は、転送ログから確認することができます。

Raysync Enterprise Control Center admin

Transfer log

User: Start time: 2020-06-20 End time: 2020-07-20 Search Download Download All

Users	File	Bytes	Time	Actions
test	test_20200717203400240.log	28.79 MB	2020/07/17 20:34:00	View Download
test	test_20200717220810890.log	295 B	2020/07/17 22:08:10	View Download
test	test_20200719163530730.log	283 B	2020/07/19 16:35:30	View Download
test	test_20200719163552752.log	283 B	2020/07/19 16:35:52	View Download
test	test_20200720045124884.log	335 B	2020/07/20 04:51:24	View Download
test	test_20200720121409449.log	28.79 MB	2020/07/20 12:14:09	View Download
test	test_20200720121418458.log	284 B	2020/07/20 12:14:18	View Download
test	test_20200720202742062.log	159 B	2020/07/20 20:27:42	View Download

Page 1-8/Total 8 1 10/page >

[表示]をクリックすると、オンライン状態でログを確認できます。

Raysync Enterprise Control Center admin

Transfer log

User: Start time: 2020-06-20 End time: 2020-07-20 Search Download Download All

Type	File name	Client ip	Bytes	Start time	End time	Time consuming	Transfer size	Target size	Average speed
Upload	/linux-3.4.113/700Mtest	172.16.4.52	700.00 MB	2020-07-19 20:33:02	2020-07-19 20:36:07	3minutes56seconds	700.00 MB	700.00 MB	30.15 Mbps
Upload	/linux-3.4.113/+5111/glsync-re	172.16.4.52	1.11 KB	2020-07-19 20:33:02	2020-07-19 20:33:02	0seconds	1.11 KB	1.11 KB	68.03 Kbps
Upload	/linux-3.4.113/block/bk-cgro-up-h	172.16.4.52	11.28 KB	2020-07-19 20:33:02	2020-07-19 20:33:02	0seconds	11.28 KB	11.28 KB	851.05 Kbps
Upload	/linux-3.4.113/block/bk-cgro-up-c	172.16.4.52	42.96 KB	2020-07-19 20:33:02	2020-07-19 20:33:02	0seconds	42.96 KB	42.96 KB	1.22 Mbps
Upload	/linux-3.4.113/+5111/Makerfile	172.16.4.52	53.38 KB	2020-07-19 20:33:02	2020-07-19 20:33:02	0seconds	53.38 KB	53.38 KB	417.01 Mbps
Upload	/linux-3.4.113/+5111/mainmakep	172.16.4.52	4.83 KB	2020-07-19 20:33:02	2020-07-19 20:33:02	0seconds	4.83 KB	4.83 KB	37.77 Mbps
Upload	/linux-3.4.113/+5111/ksbuild	172.16.4.52	2.48 KB	2020-07-19 20:33:02	2020-07-19 20:33:02	0seconds	2.48 KB	2.48 KB	19.35 Mbps
Upload	/linux-3.4.113/block/bk-flush	172.16.4.52	13.09 KB	2020-07-19 20:33:02	2020-07-19 20:33:02	0seconds	13.09 KB	13.09 KB	969.40 Kbps
Upload	/linux-3.4.113/+5111/MAINTATHERS	172.16.4.52	286.40 KB	2020-07-19 20:33:02	2020-07-19 20:33:02	0seconds	286.40 KB	286.40 KB	8.71 Mbps

Page 1-8/Total 8 1 10/page >

[ダウンロード]をクリックすると、ログをダウンロードして確認できます。

Raysync Enterprise Control Center admin

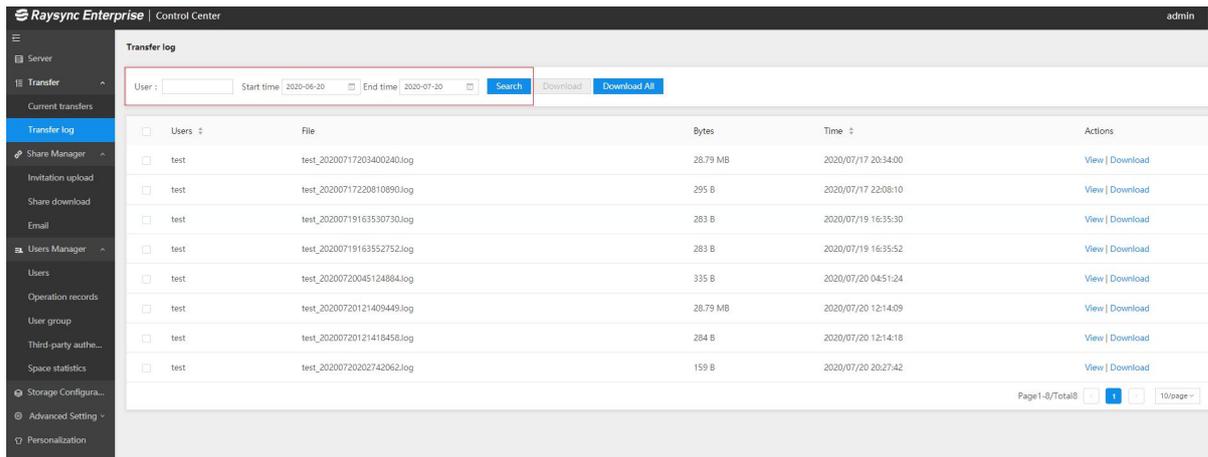
Transfer log

User: Start time: 2020-06-20 End time: 2020-07-20 Search Download Download All

Users	File	Bytes	Time	Actions
test	test_20200717203400240.log	28.79 MB	2020/07/17 20:34:00	View Download
test	test_20200717220810890.log	295 B	2020/07/17 22:08:10	View Download
test	test_20200719163530730.log	283 B	2020/07/19 16:35:30	View Download
test	test_20200719163552752.log	283 B	2020/07/19 16:35:52	View Download
test	test_20200720045124884.log	335 B	2020/07/20 04:51:24	View Download
test	test_20200720121409449.log	28.79 MB	2020/07/20 12:14:09	View Download
test	test_20200720121418458.log	284 B	2020/07/20 12:14:18	View Download
test	test_20200720202742062.log	159 B	2020/07/20 20:27:42	View Download

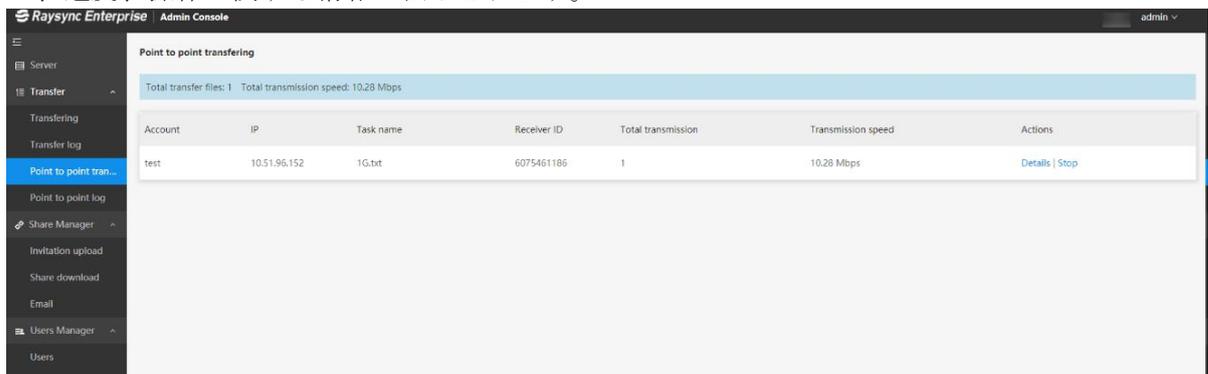
Page 1-8/Total 8 1 10/page >

ユーザー名、ログの開始時刻と終了時刻を検索することができます。

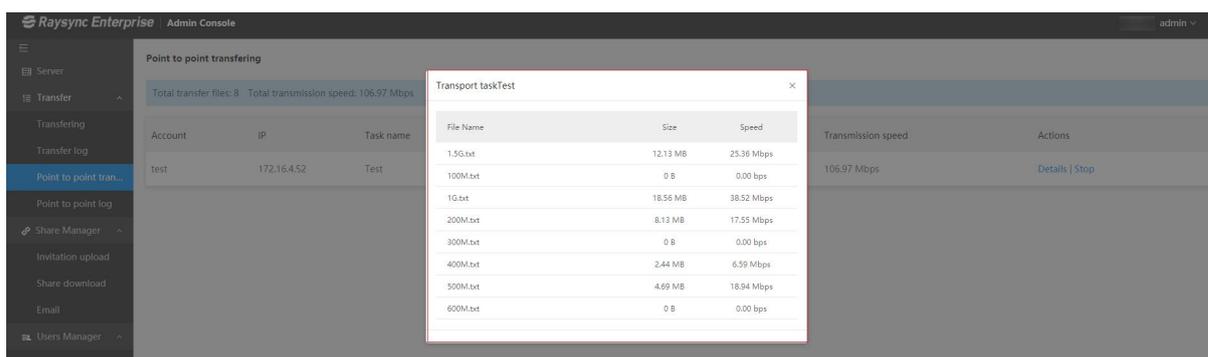


2.6.3 ポイントツーポイント転送

ポイントツーポイント転送を入力すると、アカウント、IP、タスク名、受信者 ID、合計ファイル、速度、操作に関する情報が表示されます。



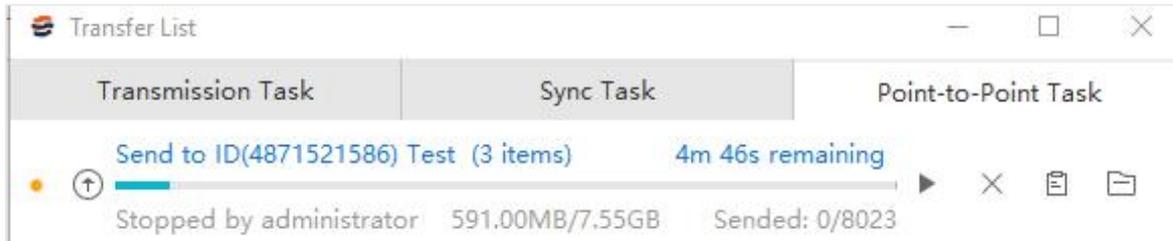
[詳細]ボタンをクリックすると、ポイントツーポイントのタスクファイル名、サイズ、速度を確認できます。



[停止]ボタンをクリックすると、タスクが停止します。

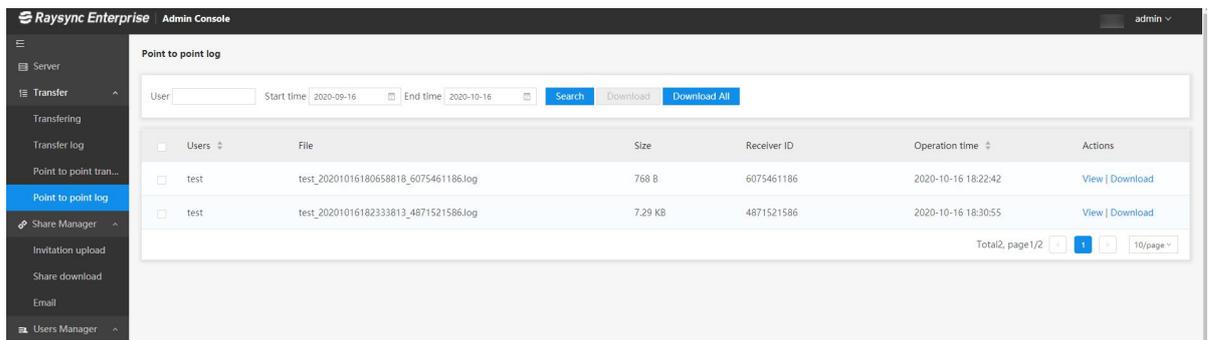


タスクが停止された後、「管理者によって停止されました」と表示されます。

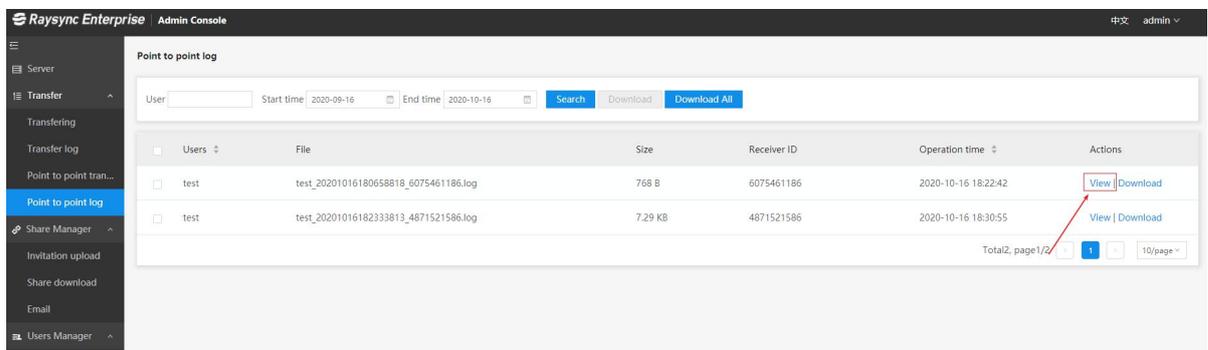


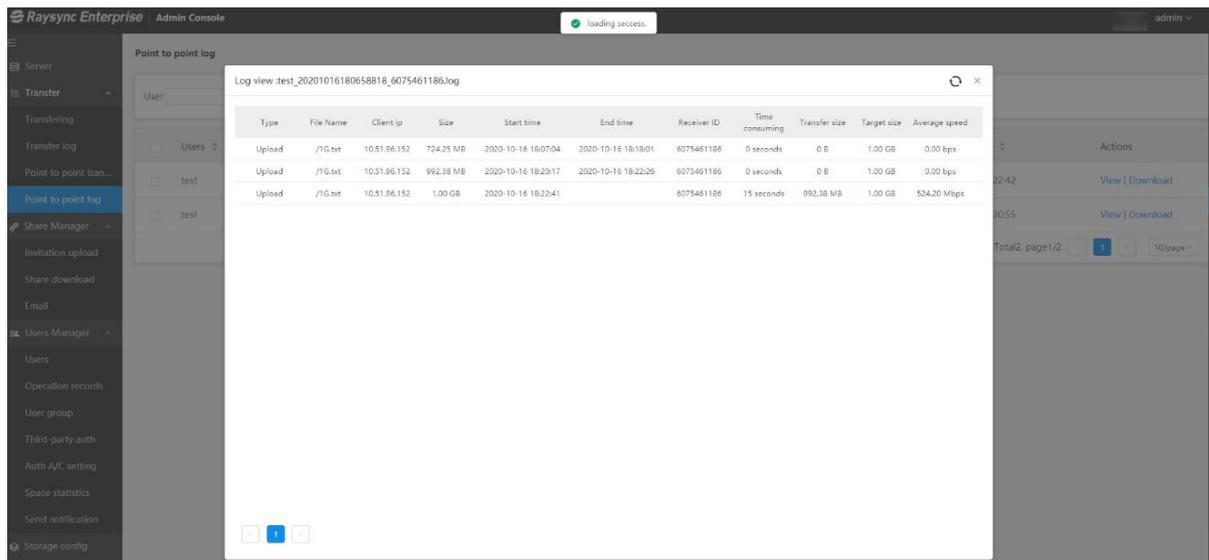
2.6.4 ポイントツーポイントログ

ポイントツーポイントログを入力すると、ユーザーの転送履歴情報を確認できます。

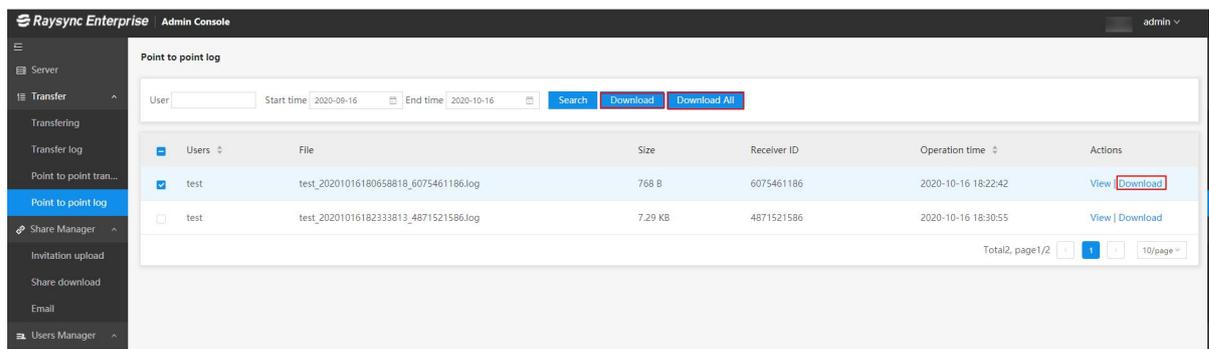


[表示]をクリックすると、オンライン状態でログを確認できます。

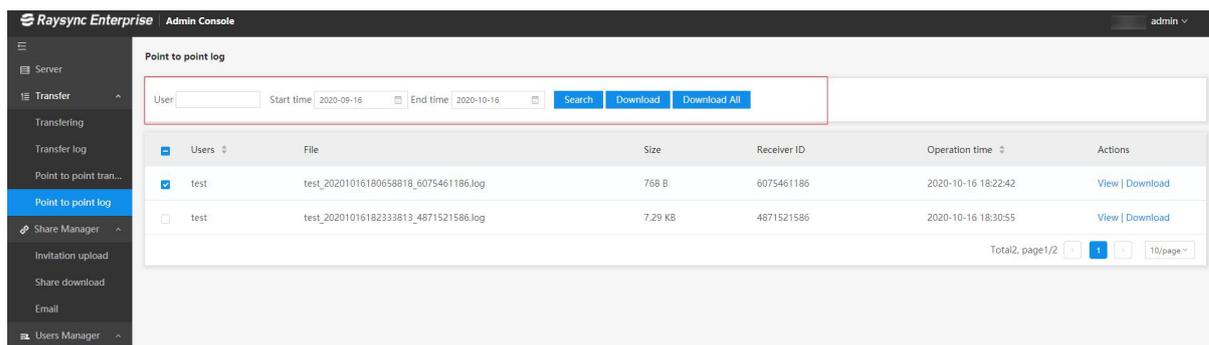




また、[ダウンロード]または[すべてダウンロード]をクリックすると、ログを確認することもできます。



ユーザー名、ログの開始時刻と終了時刻を検索することができます。

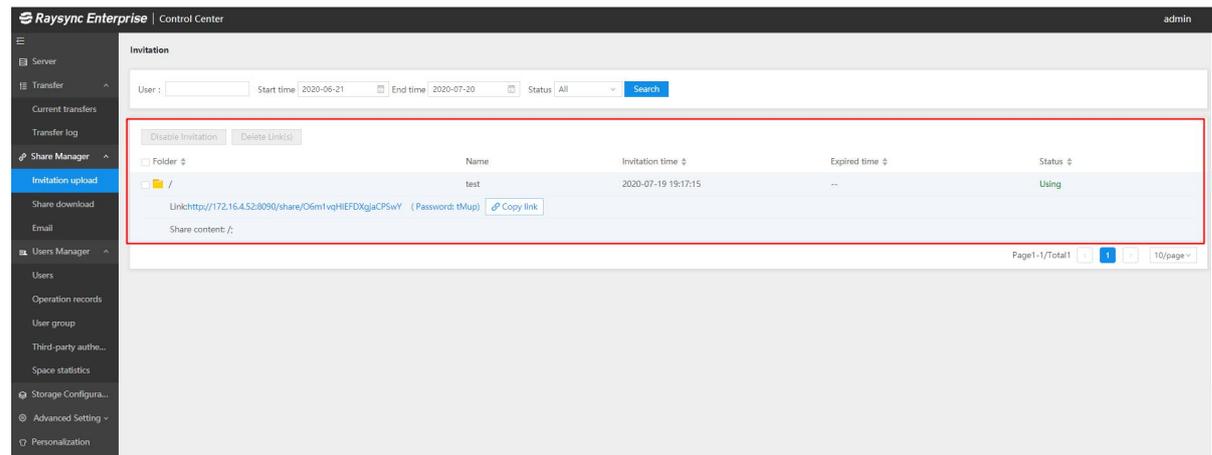


2.7 リンク管理

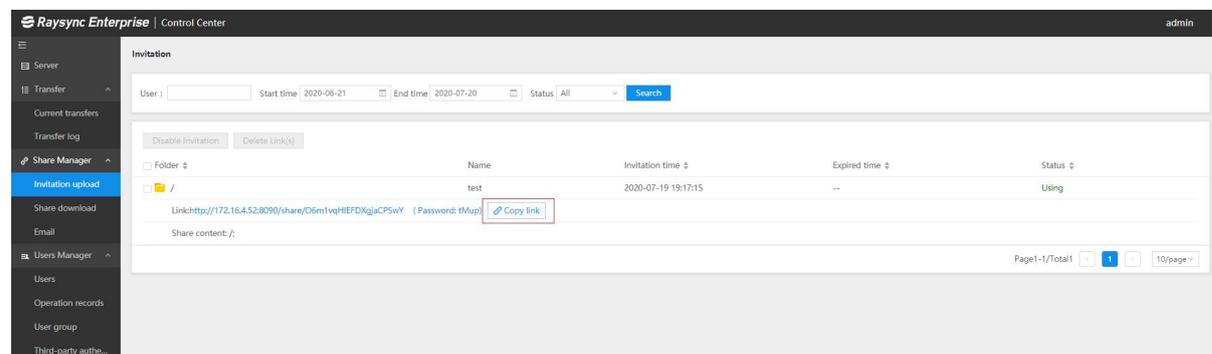
2.7.1 アップロード招待

2.7.1.1 リンクの詳細を見る

フォルダをダブルクリックすると、リンクの詳細が表示されます。

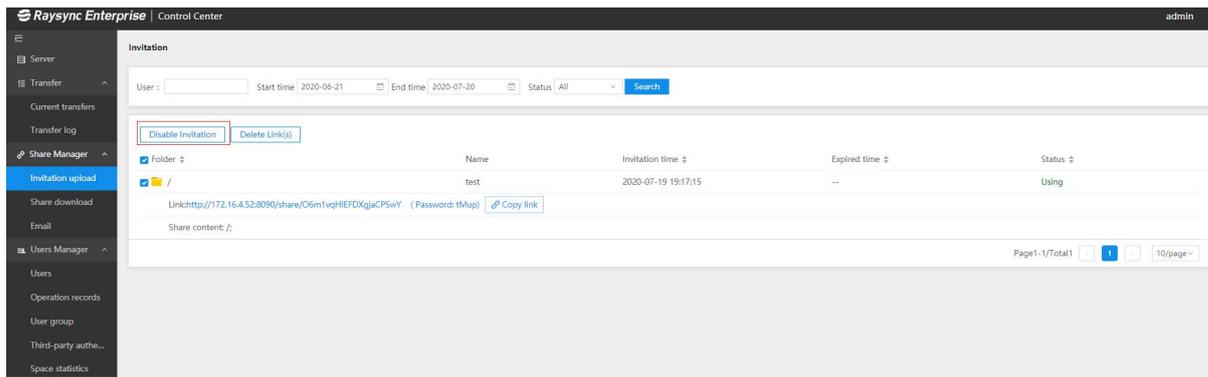


2.7.1.2 リンクをコピー



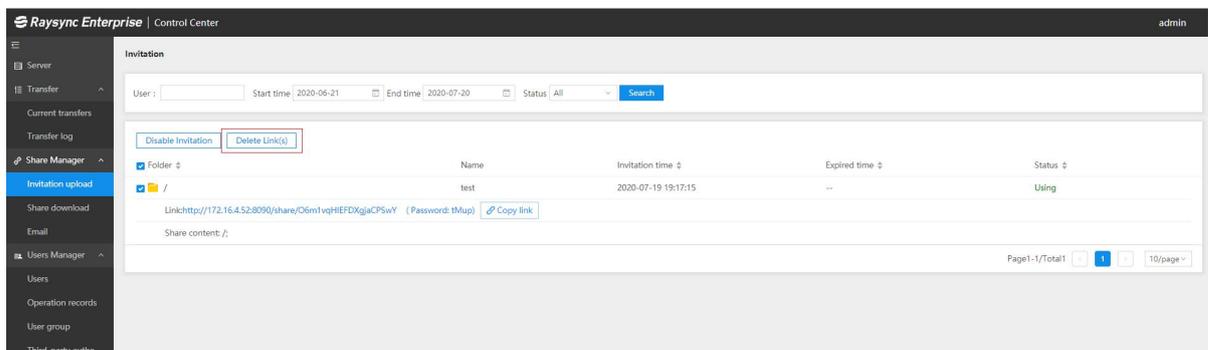
2.7.1.3 リンクをキャンセル

アップロード招待インターフェースに入り、任意の共有リンクを選択し、[招待を無効にする]をクリックします。



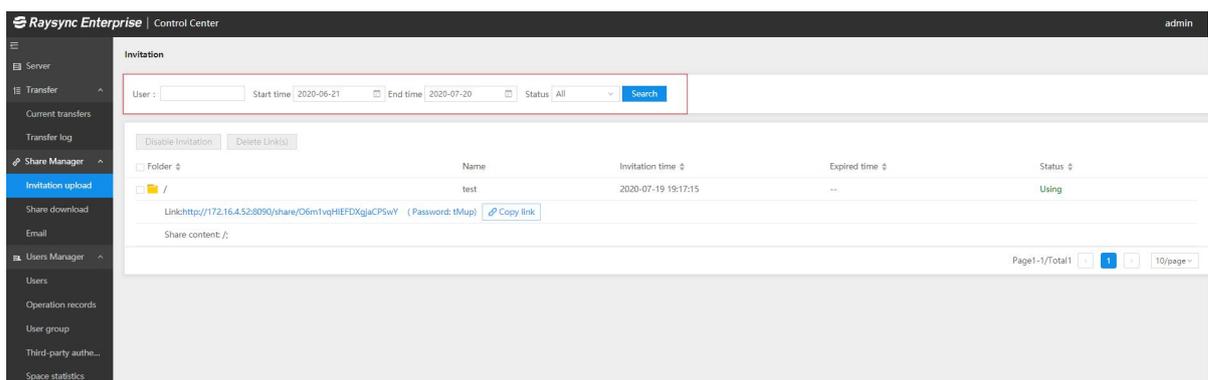
2.7.1.4 リンクを削除

アップロード招待インターフェースに入り、任意の共有リンクを選択し、[招待を削除する]をクリックします。



2.7.1.5 検索

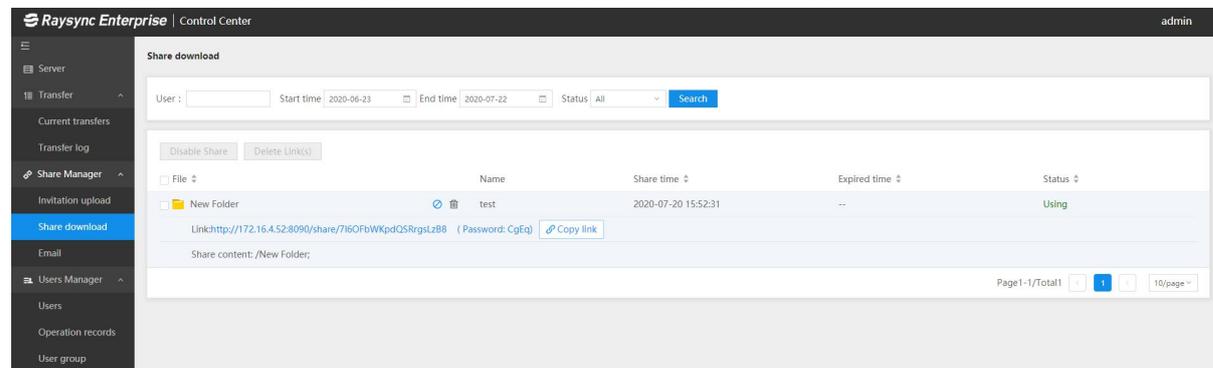
ユーザー、開始時刻、終了時刻、状態での検索に対応しています。



2.7.2 ダウンロードの共有

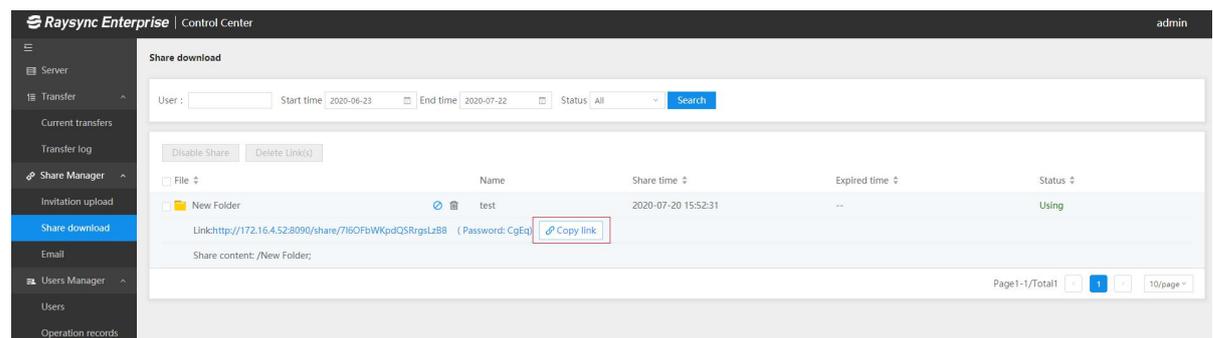
2.7.2.1 リンクの詳細を見る

フォルダをダブルクリックすると、リンクの詳細が表示されます。



The screenshot shows the 'Share download' interface in Raysync Enterprise. The left sidebar contains navigation options like 'Server', 'Transfer', 'Share Manager', and 'Users Manager'. The main area displays a table of shares. One share is selected, showing its details: Name 'test', Share time '2020-07-20 15:52:31', Expired time '--', and Status 'Using'. Below the table, the share content is '/New Folder', and a 'Copy link' button is visible.

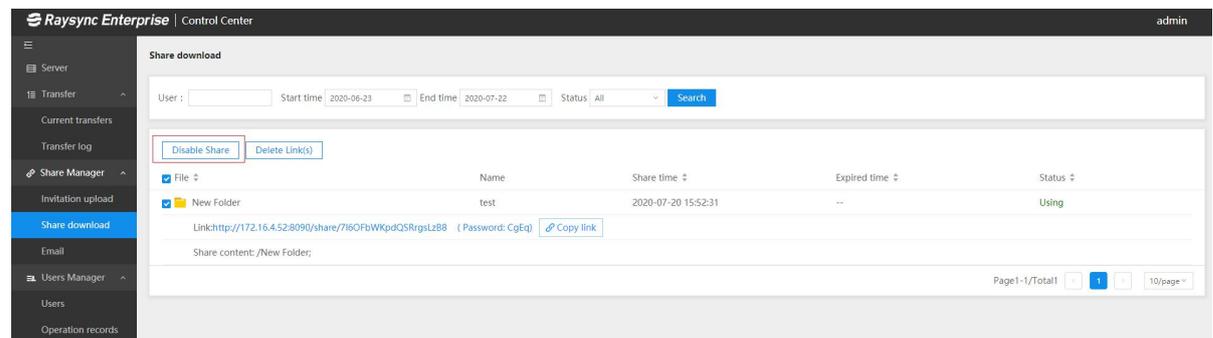
2.7.2.2 リンクをコピー



This screenshot is identical to the previous one, but the 'Copy link' button is highlighted with a red rectangular box to indicate the action to be performed.

2.7.2.3 リンクを無効にする

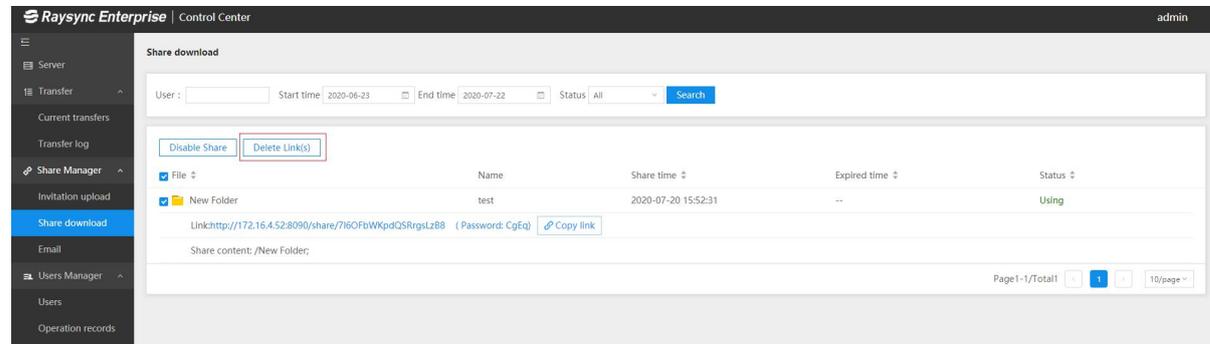
ダウンロードの共有インターフェースに入り、任意の共有リンクを選択し、[共有を無効にする]をクリックします。



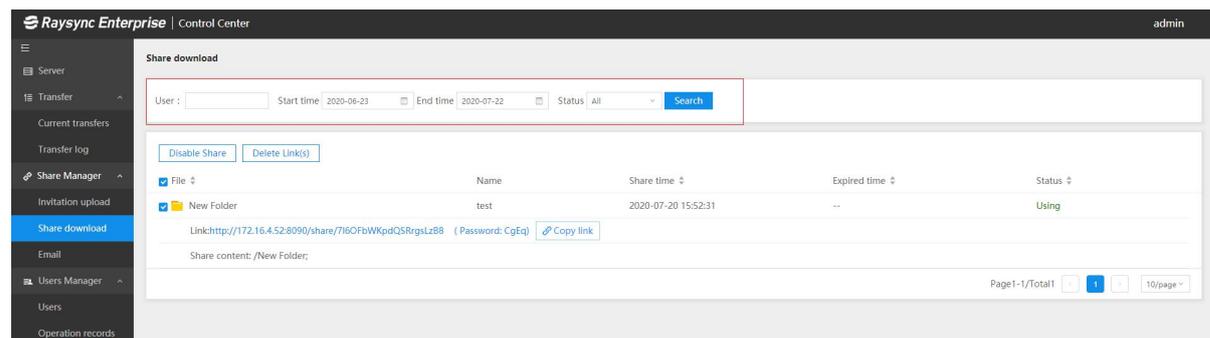
This screenshot shows the 'Share download' interface. The 'Disable Share' button is highlighted with a red rectangular box, indicating the next step in the process.

2.7.2.4 リンクを削除

ダウンロードの共有インターフェースに入り、任意の共有リンクを選択し、[リンクを削除する]をクリックします。

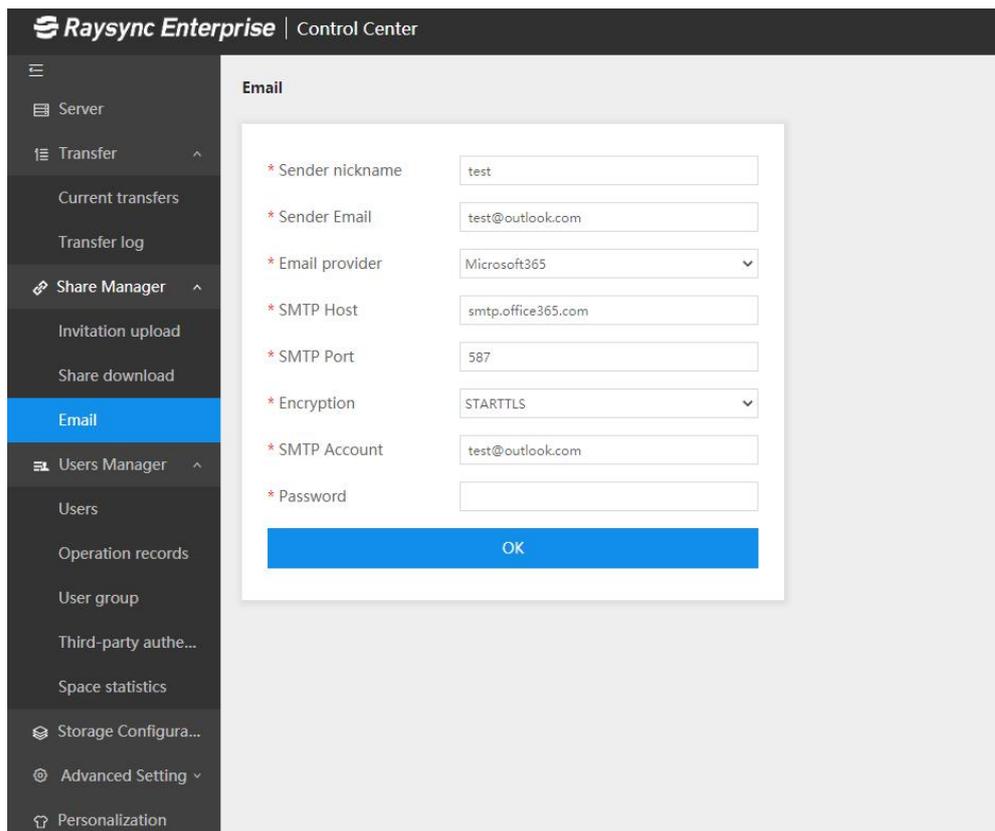


2.7.2.5 検索



2.7.3 メールアドレスの設定

ダウンロード、アップロード招待を共有する場合のメールサーバーの設定（主流のメールアドレスに対応しています）：Gmail、AOL、iCloud、MSN、Microsoft365、Outlook、Hotmail、Live、yahoo、など）

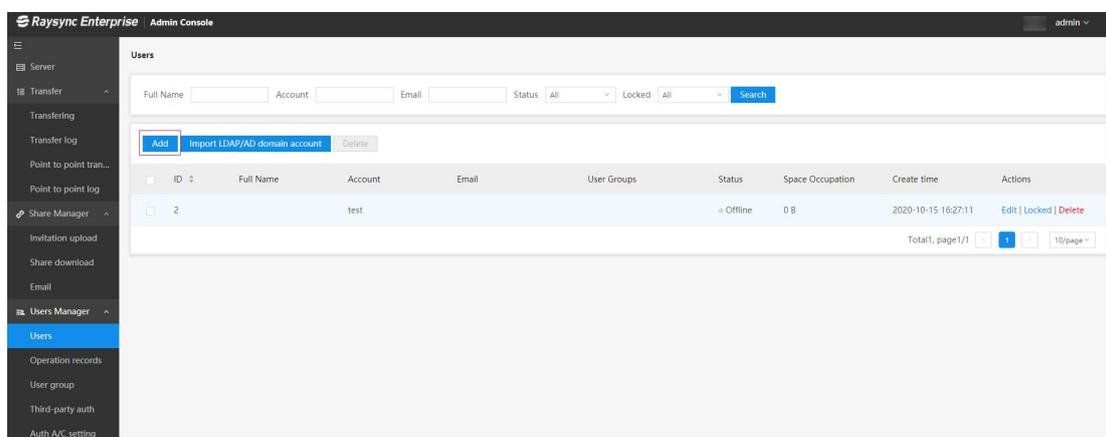


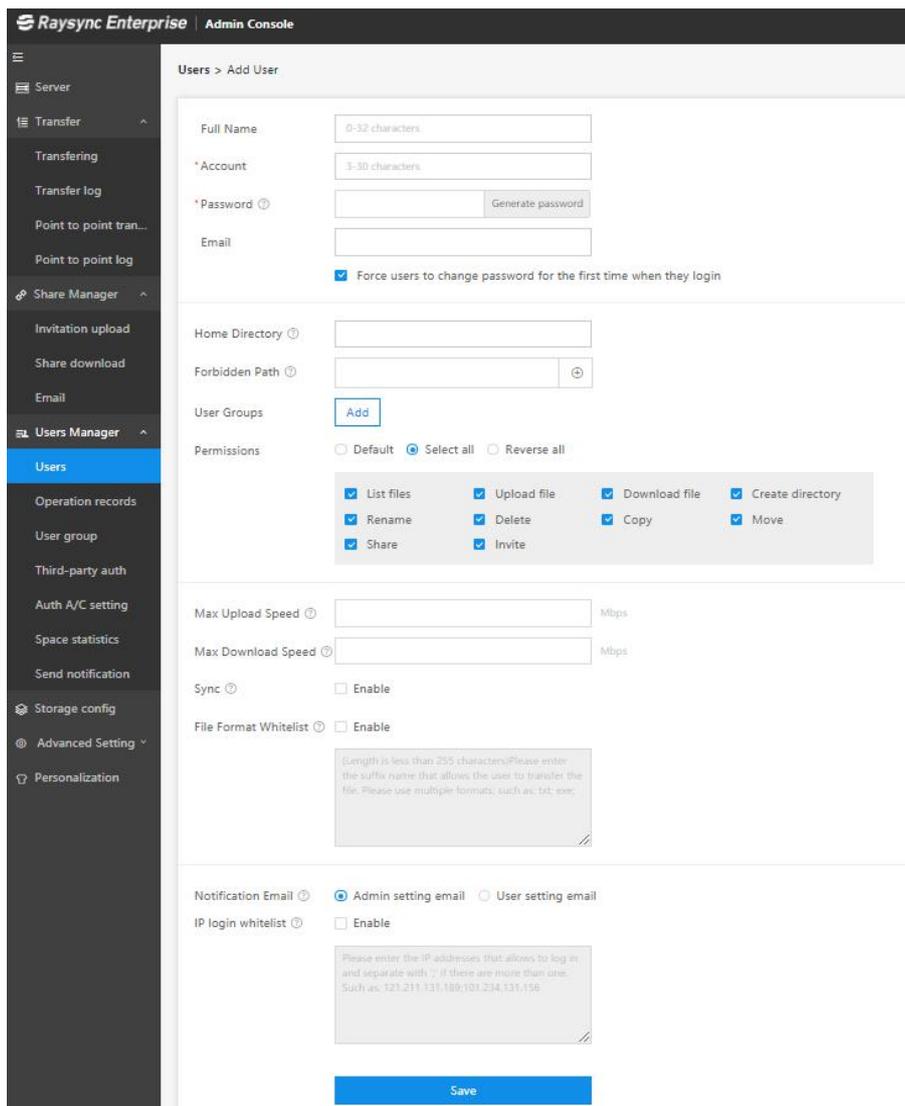
2.8 ユーザー管理

2.8.1 ユーザー一覧

2.8.1.1 ユーザーの追加

[追加]をクリック





情報を入力し、許可を与えます。

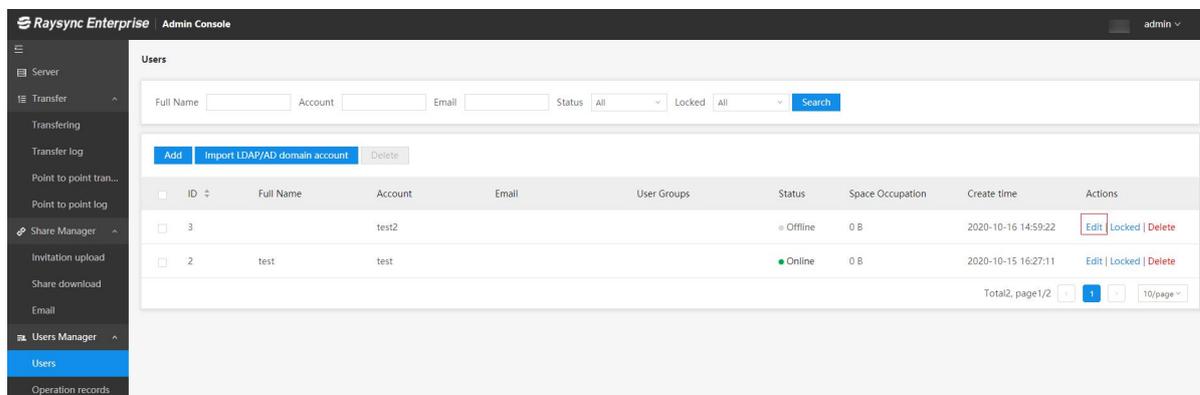
フルネーム	アカウントの本名
アカウント	作成後は変更できません
パスワード	手動または自動生成での編集できます
初回ログイン時に、パスワードを強制的に変更させます	有効化すると、初回ログイン後に初期パスワードを強制的に変更させます
アクセス許可	ファイルリスト、ダウンロード、削除、名前の変更、フォルダの作成、ファイルのアップロード、フォルダの同期
ホームディレクトリ	ホームディレクトリが設定されていない場合、ホームはシステムのデフォルトになります。
速度制限	0 に設定すると無制限になります
ユーザーグループ	1 人のユーザーを複数のユーザーグループに同時に追加することができます

フルネーム	アカウントの本名
転送ホワイトリストのファイル形式を開く	有効化すると、入力ボックスにファイル形式を入力します。複数の形式は「txt; iso; mp4」のように、「;」で区切る必要があります。
禁止パス	禁止するアクセスパスを設定します。ログイン後、このパスのファイル（フォルダ）を表示できません
ディレクトリの同期	有効化すると、ログイン後に同期ディレクトリタスクを作成することができます。
メール	管理者のメール通知メッセージを受信できます。
通知メール	管理者設定メール：管理者メールから共有リンク通知が送信されます ユーザー設定のメール：ユーザーのメールから共有リンク通知が送信されます。ユーザーはウェブ上でメールを設定する必要があります。
IP ログインホワイトリスト	有効化すると、ホワイトリスト内の IP アドレスのみがログインできます。例えば、192.168.0.1 から 192.168.0.100 までの IP は、192.168.0.[1-100]. と記入することができます。

[OK]をクリックして保存します

2.8.1.2 ユーザーの編集

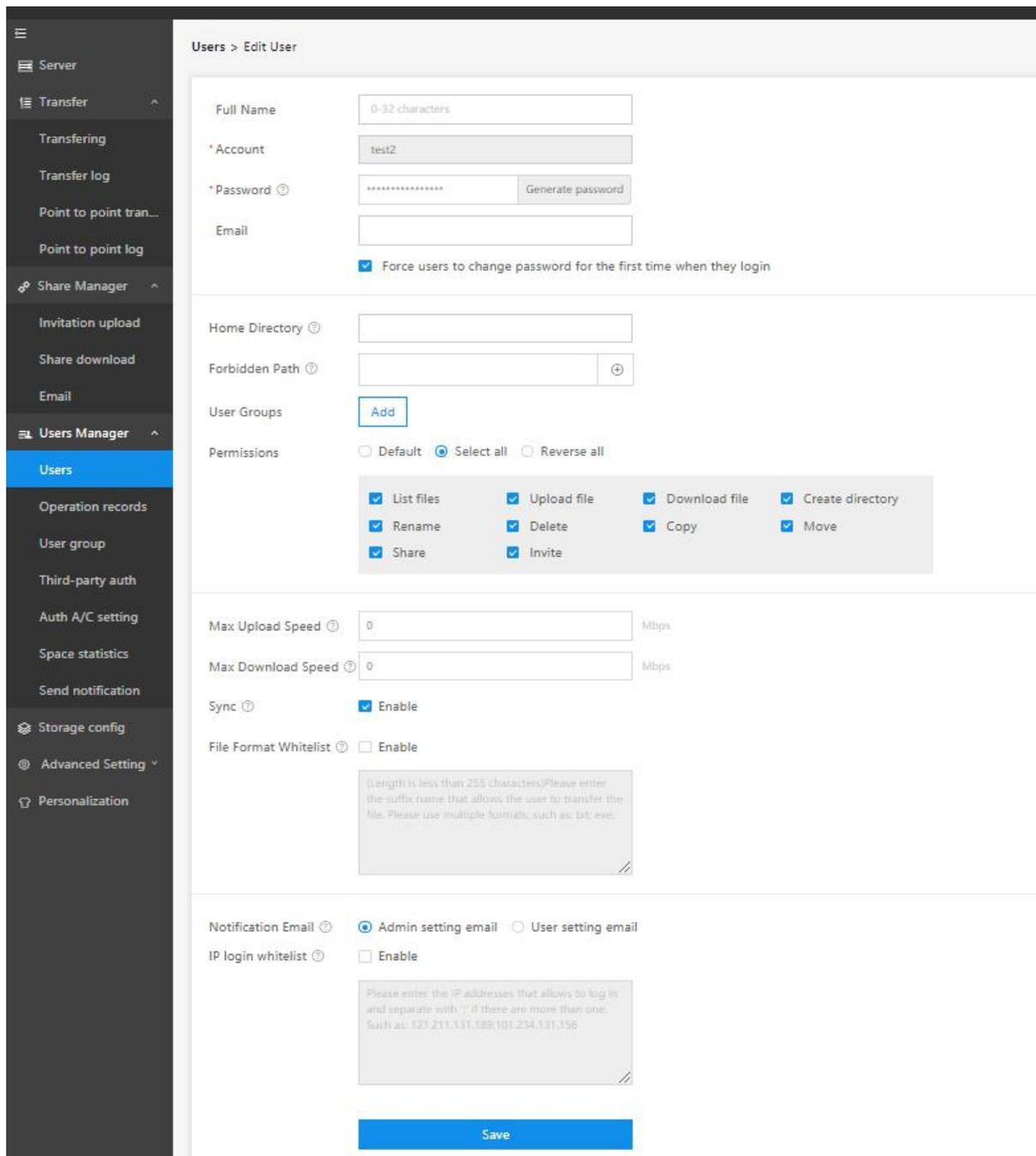
任意のユーザーを選択し、[編集]をクリックします



The screenshot shows the 'Users' management interface in the Raysync Enterprise Admin Console. The interface includes a search bar at the top with fields for Full Name, Account, Email, Status, and Locked. Below the search bar are buttons for 'Add', 'Import LDAP/AD domain account', and 'Delete'. The main area contains a table with the following data:

ID	Full Name	Account	Email	User Groups	Status	Space Occupation	Create time	Actions
3		test2			Offline	0 B	2020-10-16 14:59:22	Edit Locked Delete
2	test	test			Online	0 B	2020-10-15 16:27:11	Edit Locked Delete

The 'test' user (ID 2) is selected, and the 'Edit' button is highlighted in red. The page footer indicates 'Total: 2, page 1/2'.



Users > Edit User

Full Name

* Account

* Password

Email

Force users to change password for the first time when they login

Home Directory

Forbidden Path

User Groups

Permissions Default Select all Reverse all

- List files
- Upload file
- Download file
- Create directory
- Rename
- Delete
- Copy
- Move
- Share
- Invite

Max Upload Speed Mbps

Max Download Speed Mbps

Sync Enable

File Format Whitelist Enable

(length is less than 255 characters,Please enter the suffix name that allows the user to transfer the file. Please use multiple formats, such as: txt, etc.

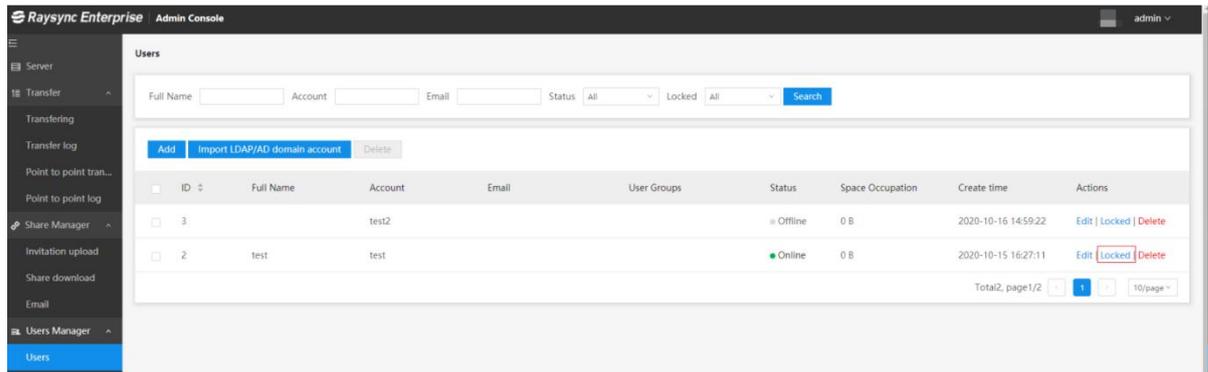
Notification Email Admin setting email User setting email

IP login whitelist Enable

Please enter the IP addresses that allows to log in and separate with ";" if there are more than one. Such as: 121.211.131.189;101.234.131.156

2.8.1.3 ユーザーのロック

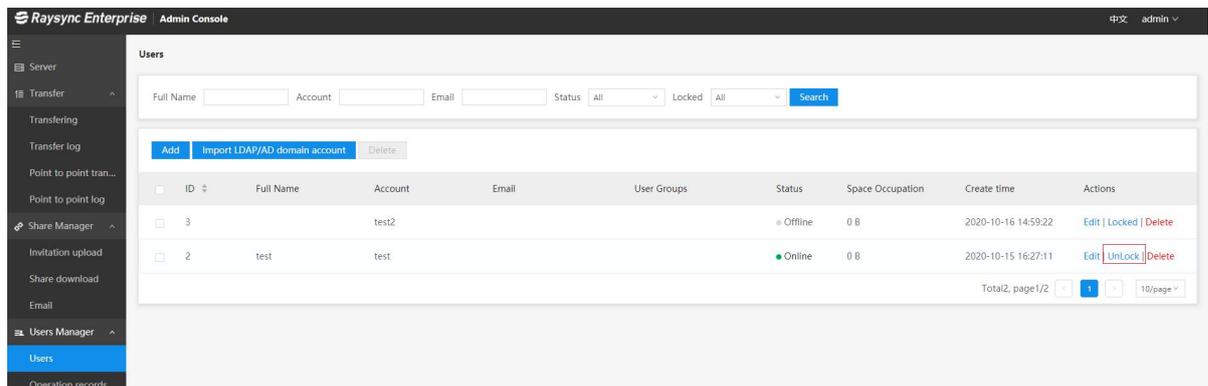
ロックされていないユーザーを選択します。例えば、ユーザーテストを選択して、「ロックされている」をクリックします。



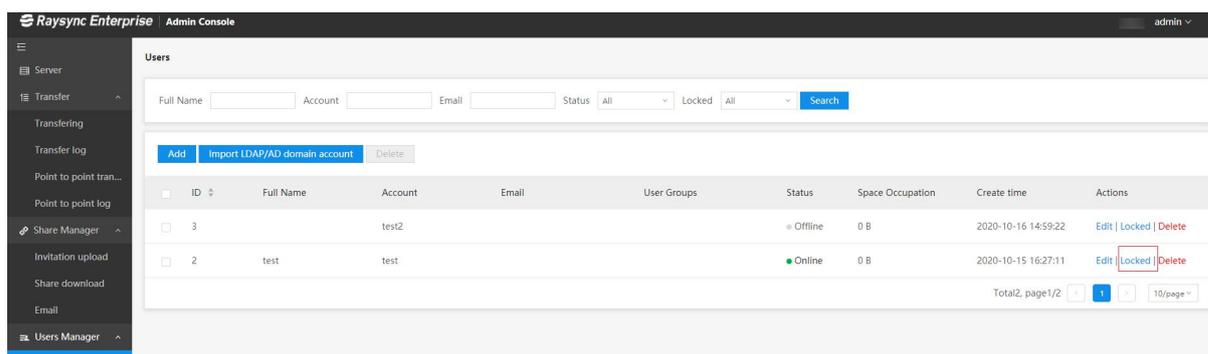
ユーザーはロックされます。

2.8.1.4 ユーザーのロックを解除する

ロックされているユーザーを選択して、例えば、ユーザーテストを選択して、「ロック解除」をクリックします。

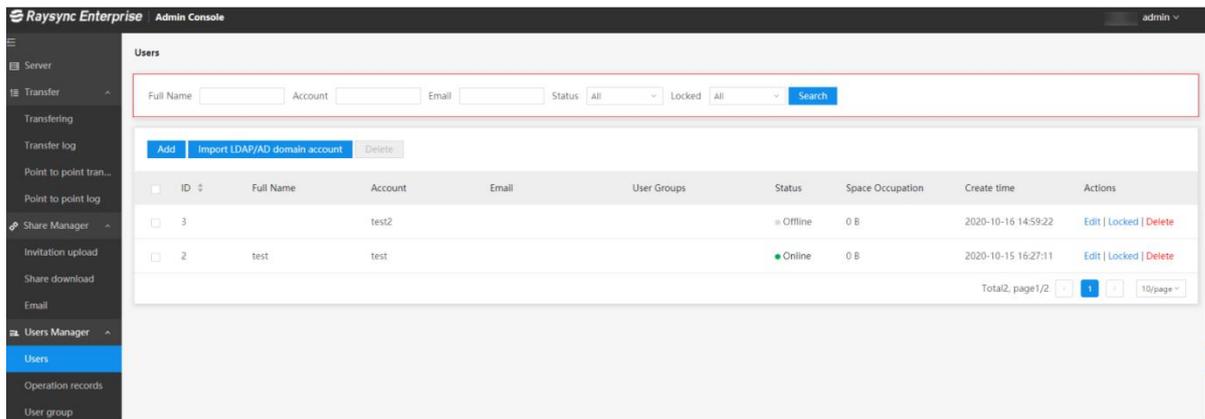


ユーザーのロックが解除されます



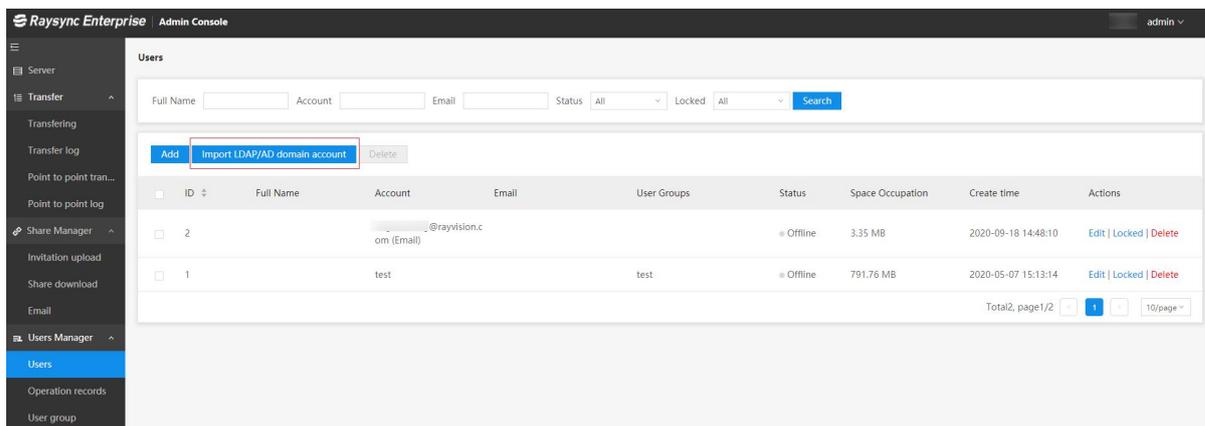
2.8.1.5 検索

ユーザーが多い場合は、右上の検索ボックスを使って、ユーザーの名、アカウント、メールアドレス、ログイン状態、ロック状態からユーザーを検索することができます。



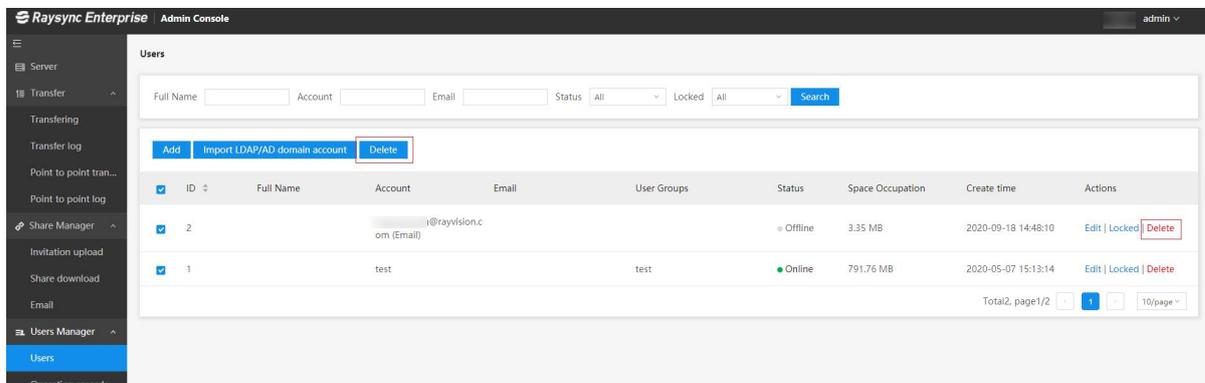
2.8.1.6 LDAP/AD ドメインアカウントのインポート

[LDAP/AD ドメインアカウントのインポート]をクリックすると、[サードパーティ auth]で [LDAP/AD domain]を設定した後に、ドメインサーバーで作成されたすべてのドメインユーザーアカウントが自動的にインポートされます。



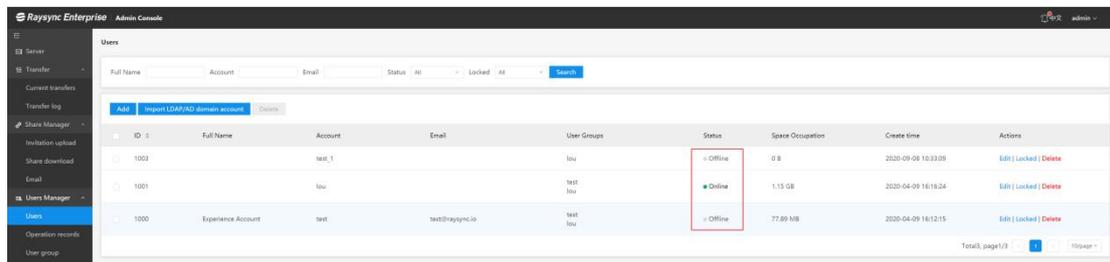
2.8.1.7 ユーザーアカウントの削除

[削除]ボタンをクリックすると、ユーザーのアカウントを削除することができます。

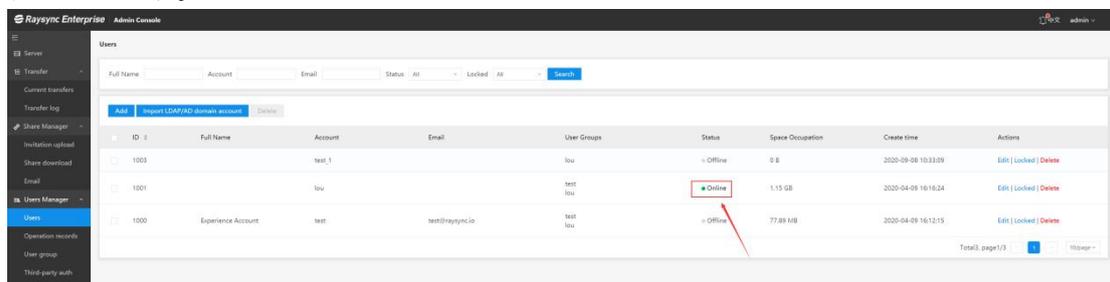


2.8.1.8 ユーザーのオンライン状態の確認

ユーザーのオンライン状態を確認することができます。



ステータスをクリックすると、IPアドレスやクライアントの接続番号などのオンライン統計が表示されます。



2.8.1.9 コンフィグ通知メール

[ユーザー設定メール]を選択し、[保存]をクリックすると、ユーザーが設定したメールアドレスから共有リンクメールの通知が送信されます。

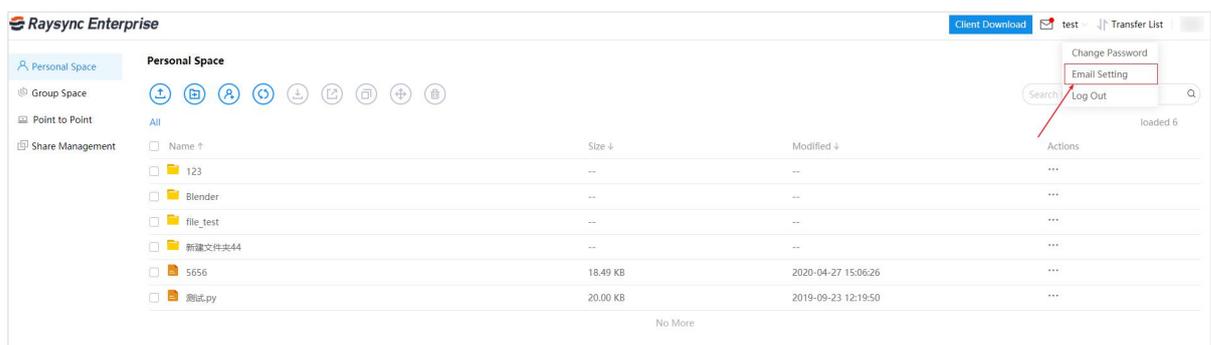
Notification Email ? Admin setting email User setting email

IP login whitelist ? Enable

Please enter the IP addresses that allows to log in and separate with ',' if there are more than one. Such as: 121.211.131.189;101.234.131.156

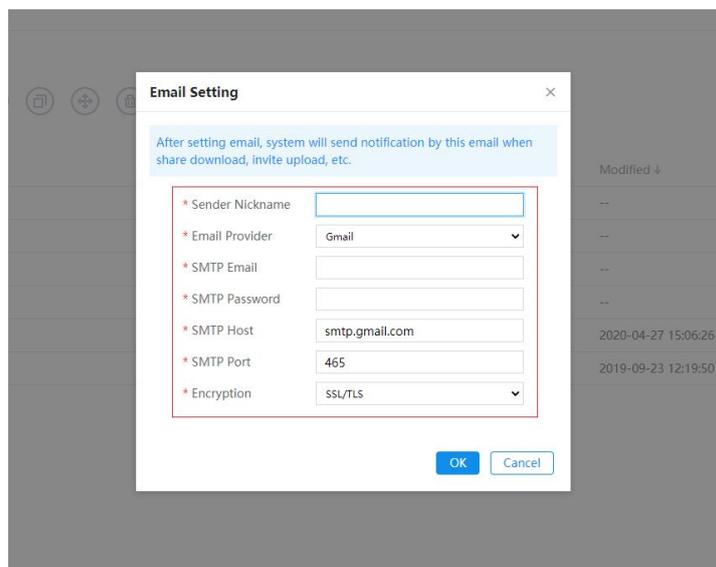
Save

管理コンソールで[ユーザー設定]を選択してから、ユーザー自身のメールアドレスを設定する必要があります。ログイン後、[メール設定]をクリックします。



The screenshot shows the 'Raysync Enterprise' management console. In the top right corner, there is a user profile menu with options: 'Change Password', 'Email Setting', and 'Log Out'. A red box highlights the 'Email Setting' option, and a red arrow points to it from the text below.

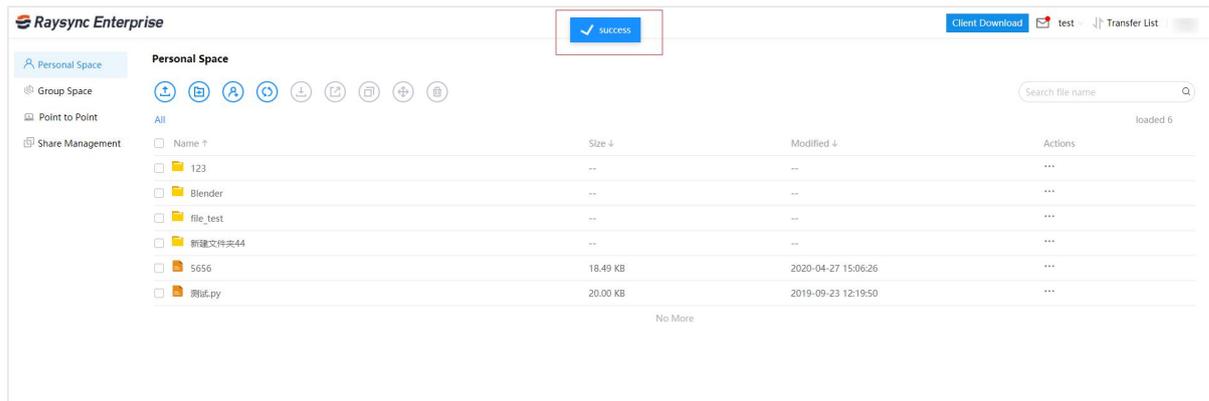
メール情報を入力し、[OK]ボタンをクリックします。



The 'Email Setting' dialog box contains the following fields:

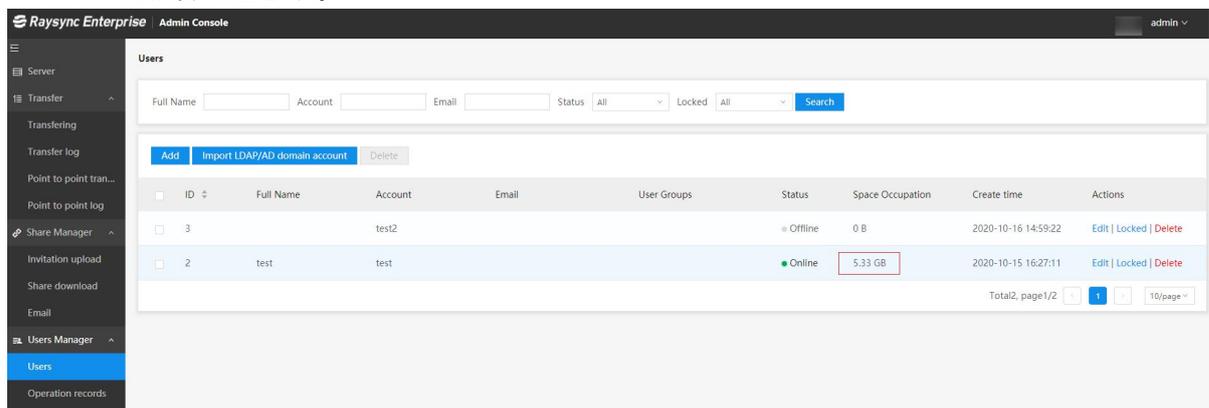
- * Sender Nickname: [Text input field]
- * Email Provider: [Dropdown menu, currently showing 'Gmail']
- * SMTP Email: [Text input field]
- * SMTP Password: [Text input field]
- * SMTP Host: [Text input field, containing 'smtp.gmail.com']
- * SMTP Port: [Text input field, containing '465']
- * Encryption: [Dropdown menu, currently showing 'SSL/TLS']

At the bottom of the dialog are 'OK' and 'Cancel' buttons.

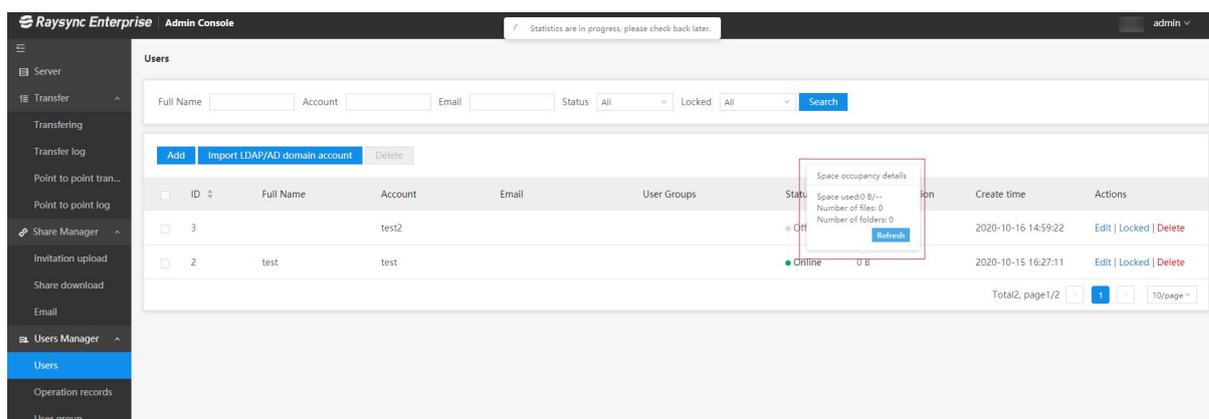


2.8.2 ユーザーの容量占有率統計

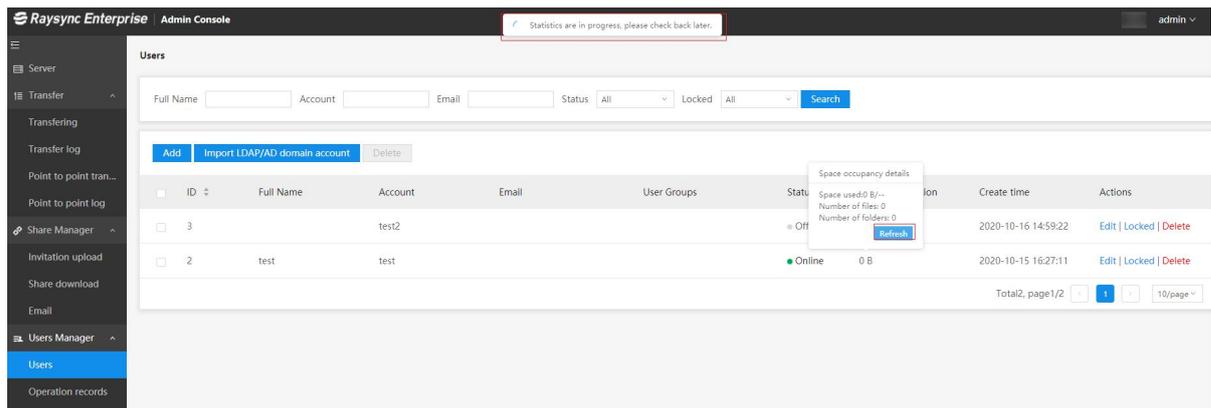
すべてのユーザーの個人用容量の占有率を統計ができます。管理者管理は、ユーザーがファイルのアップロード、コピー、移動、作成、削除などの操作を行うと、ユーザーの容量使用量をリアルタイムで計算できます。



ユーザーの容量サイズをクリックすると、容量使用、ファイル数、フォルダ数などの詳細を表示することができます。

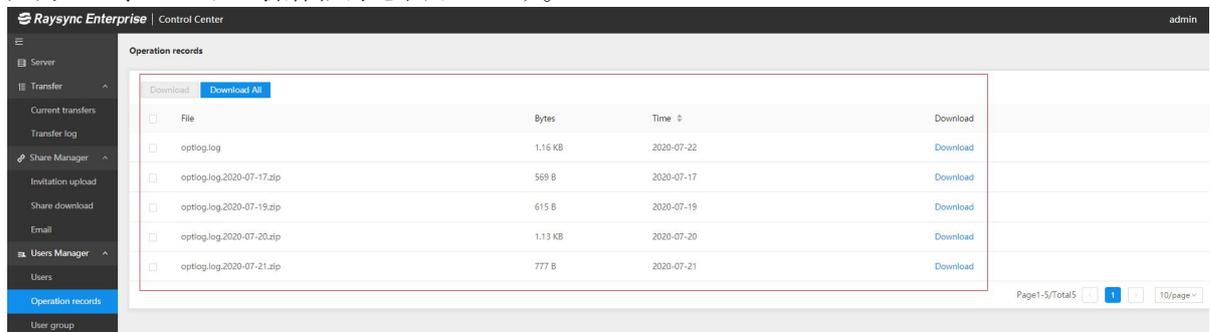


[更新]ボタンをクリックして、ユーザー容量の統計を更新することができます。

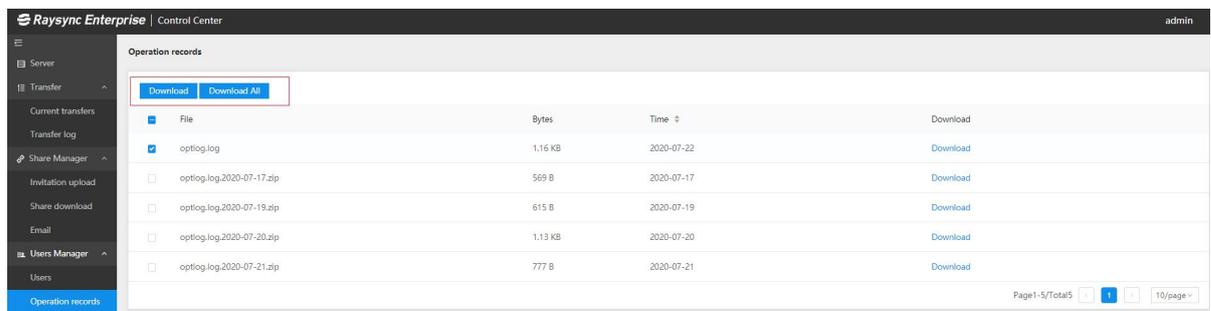


2.8.3 ユーザー操作記録

入力して、ユーザー操作記録を表示します。



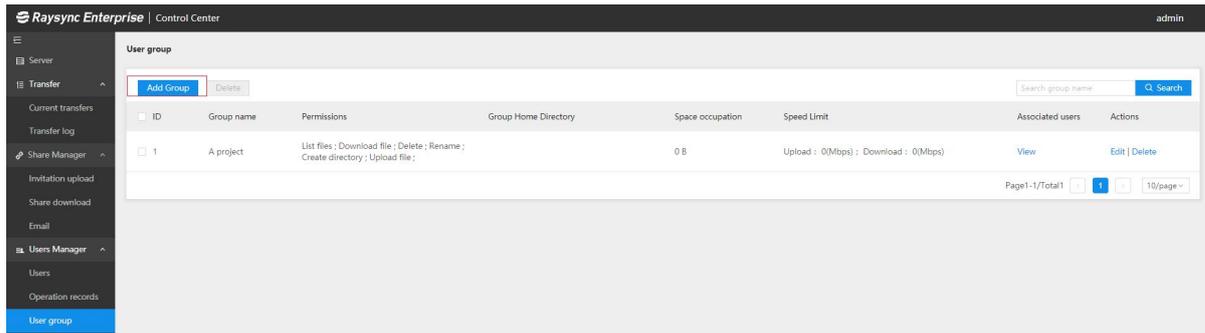
ユーザーのログイン、ログアウト、ファイル操作を表示できます。ユーザーのログをダウンロードしてローカルで表示できます



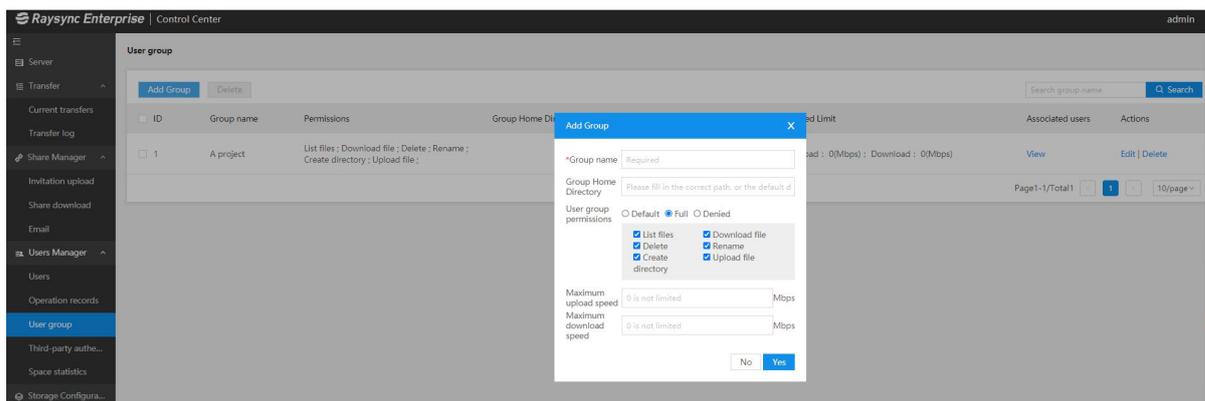
2.8.4 ユーザーグループ

2.8.4.1 ユーザーグループの作成

[グループを追加する] をクリックすると、新しいユーザーグループが追加されます。



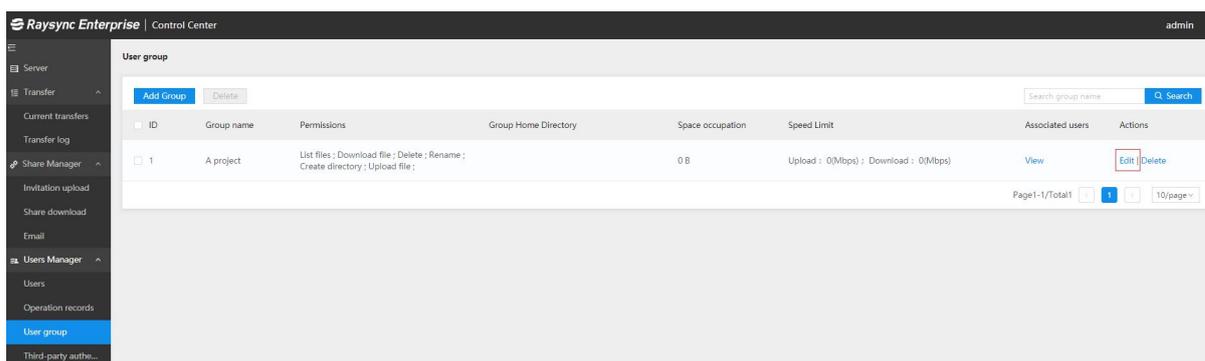
ユーザー情報を入力します



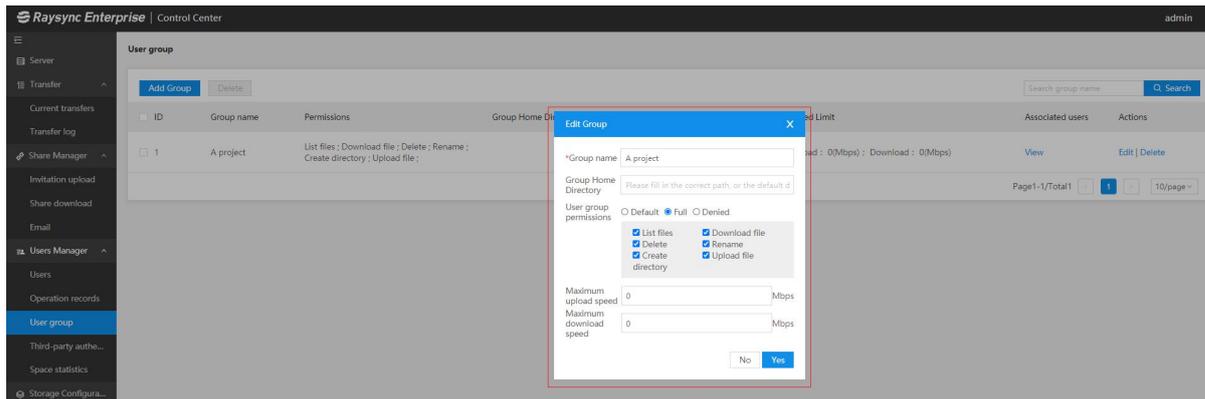
[はい]をクリックして、作成します。

2.8.4.2 ユーザーグループの編集

ユーザー管理 - ユーザーグループ、任意のユーザーグループを選択し、[編集]をクリックします。

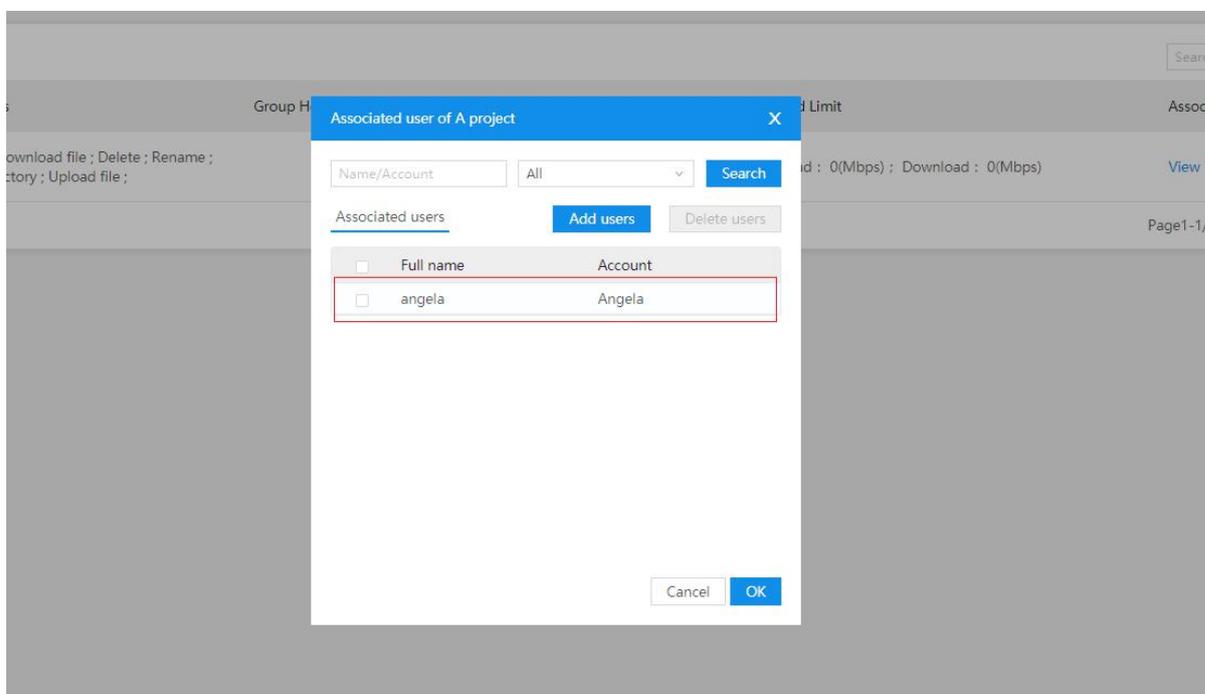
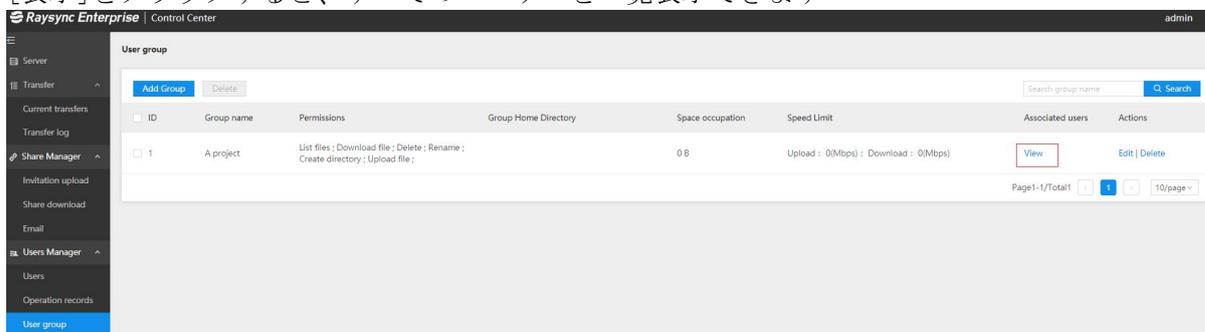


ユーザーグループ情報の編集

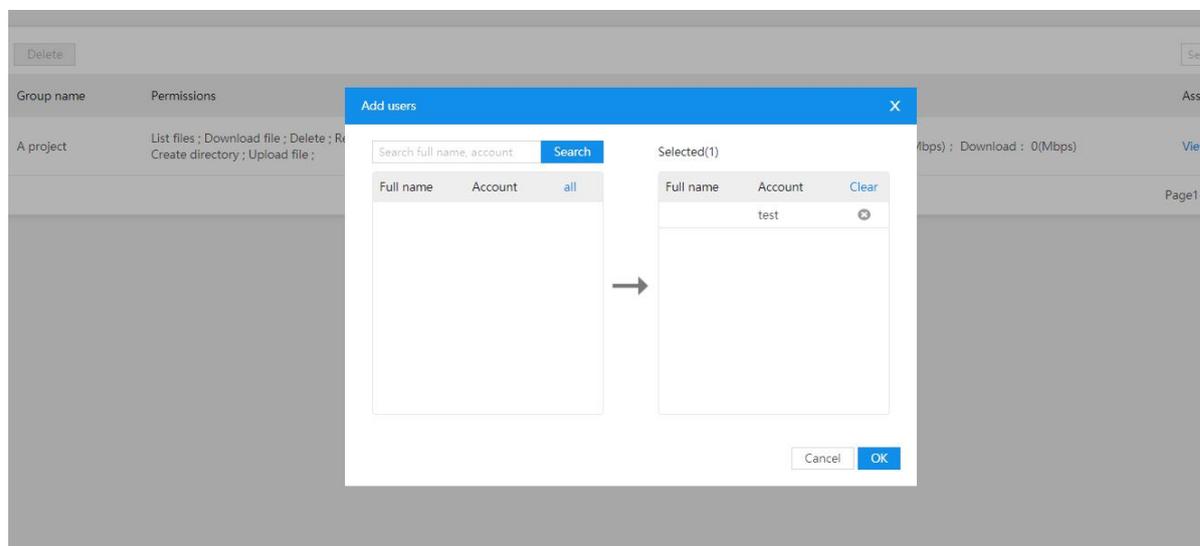
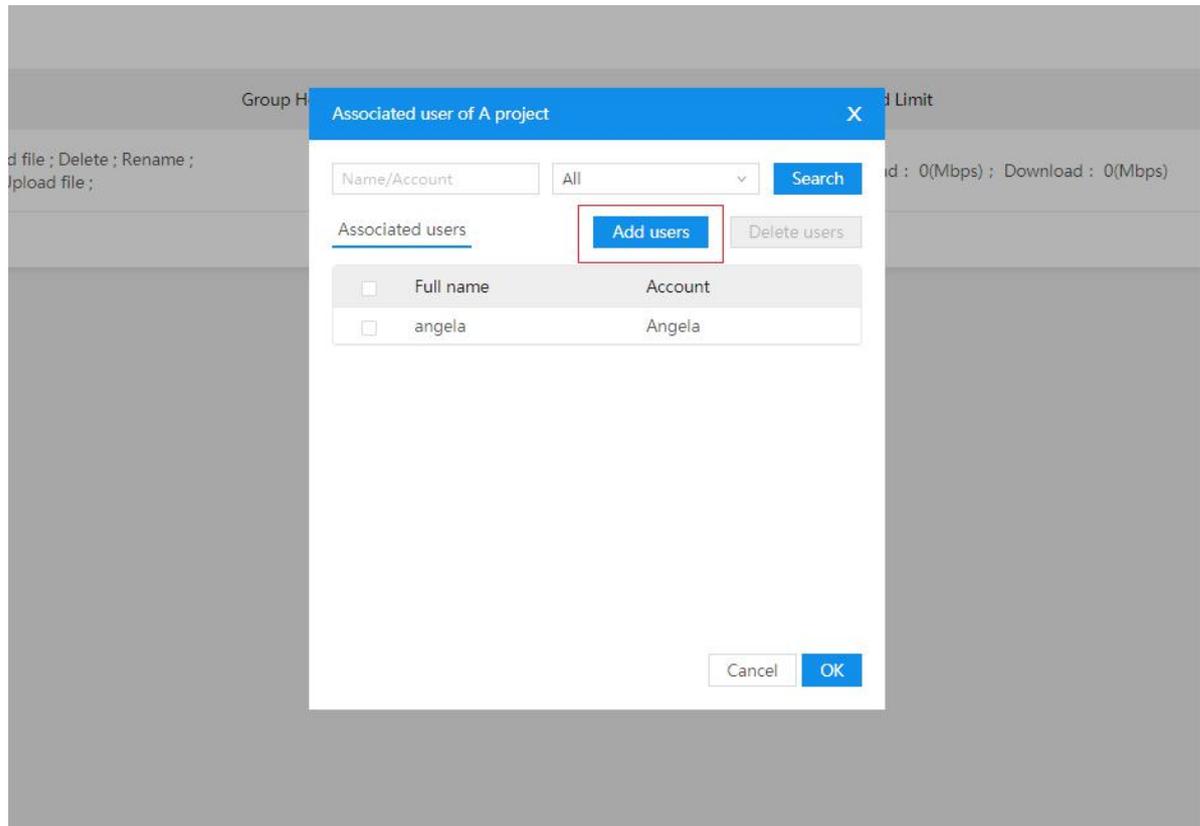


2.8.4.3 ユーザーグループのユーザーを表示する

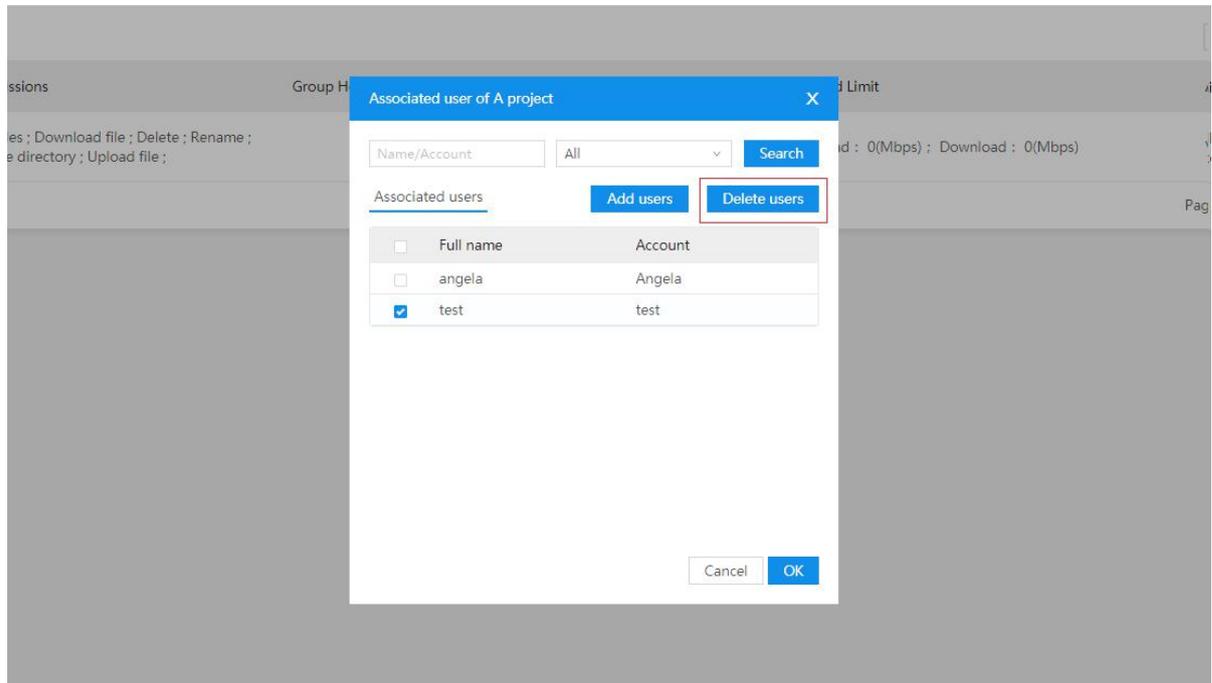
[表示]をクリックすると、すべてのユーザーを一覧表示できます



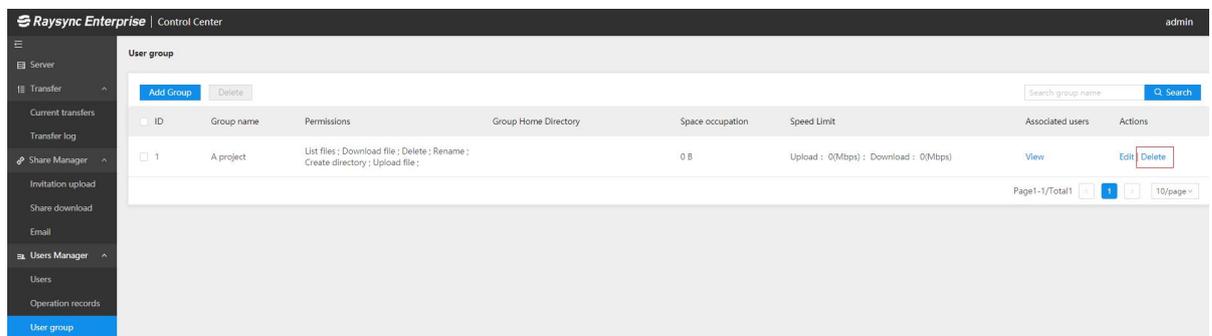
2.8.4.4 ユーザーグループにユーザーを追加する



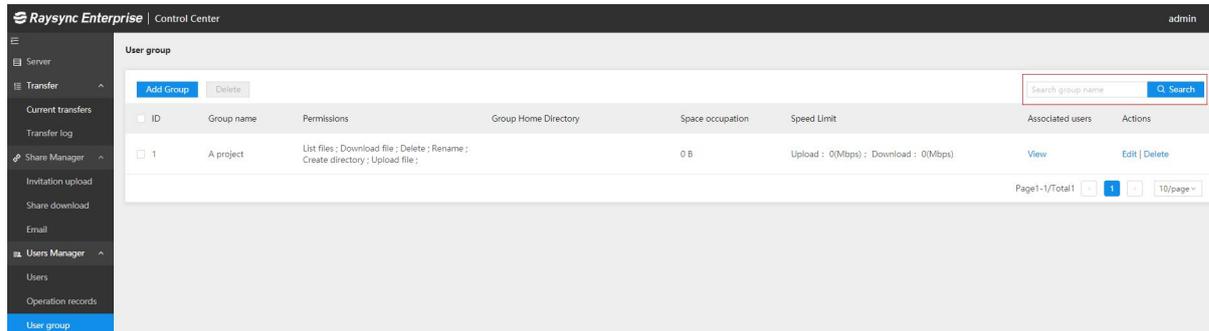
2.8.4.5 ユーザーグループのユーザーを削除する



2.8.4.6 ユーザーグループの削除

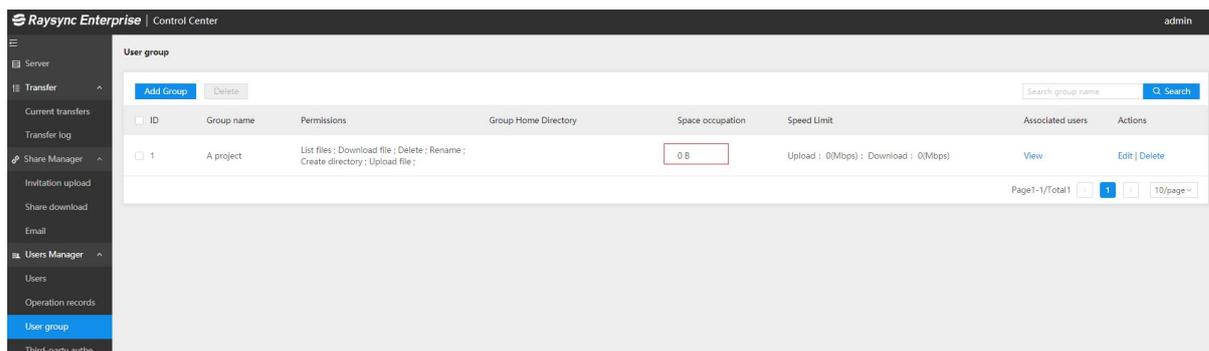


2.8.4.7 検索

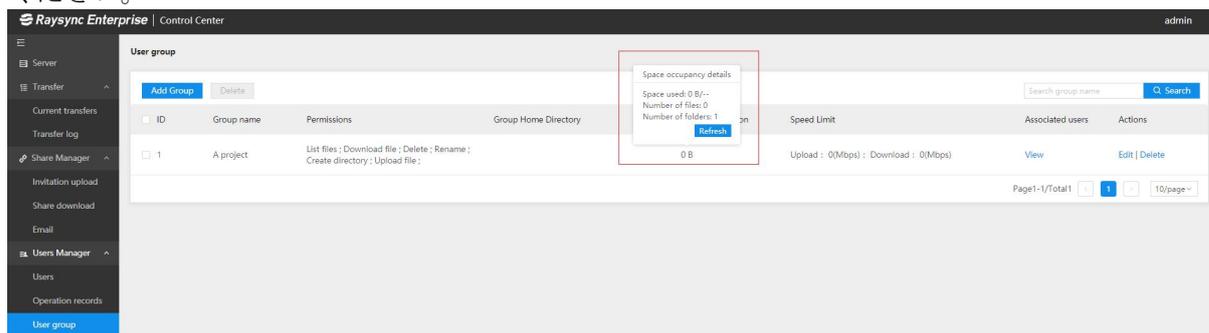


2.8.4.8 ユーザーグループ容量の占有率統計

ユーザーグループ容量の占有率を統計することができます。管理者管理は、ユーザーがグループ内のファイルのアップロード、コピー、移動、作成、削除などの操作を行うと、グループの使用量をリアルタイムでカウントできます。



容量占有率をクリックして、使用容量のサイズ、ファイル数、フォルダ数などの詳細を確認してください。



2.8.5 第三者認証

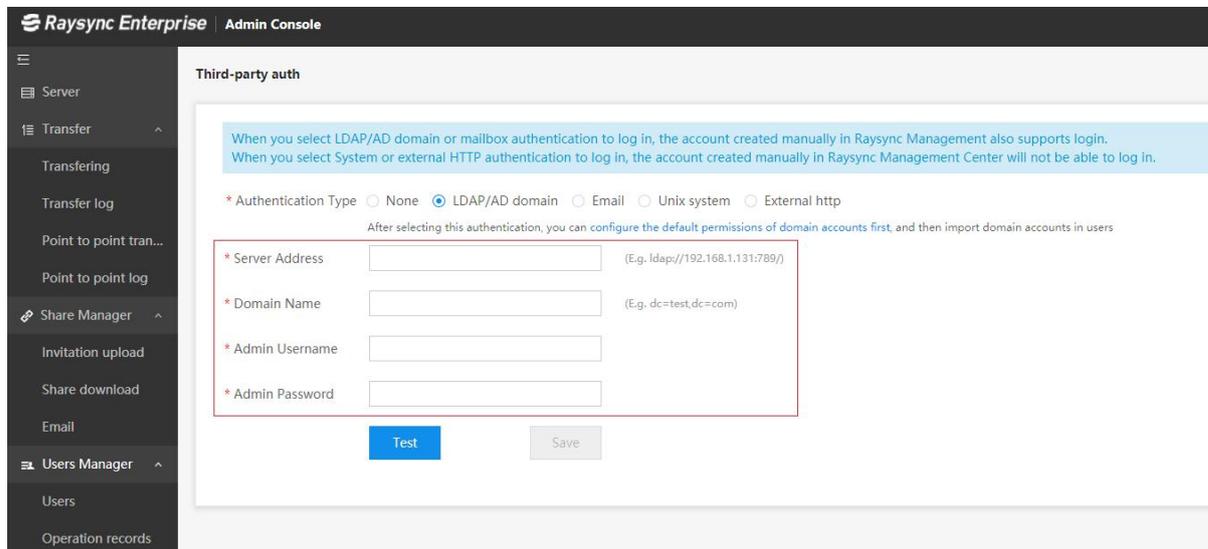
2.8.5.1 LDAP/AD 設定

起業ユーザー向けのインポート操作を向上させるために、AD ドメインの設定がサポートされて

います。

ドメインサーバーアドレス、ドメイン名、ドメイン管理者アカウント、ドメイン管理者パスワードを入力し、[テスト]をクリックします。テストパスは、情報が正しく記入されていることを示しています。

[保存]をクリックして、ドメインキープ認証を行います



Raysync Enterprise Admin Console

Third-party auth

When you select LDAP/AD domain or mailbox authentication to log in, the account created manually in Raysync Management also supports login.
When you select System or external HTTP authentication to log in, the account created manually in Raysync Management Center will not be able to log in.

* Authentication Type None LDAP/AD domain Email Unix system External http

After selecting this authentication, you can configure the default permissions of domain accounts first, and then import domain accounts in users

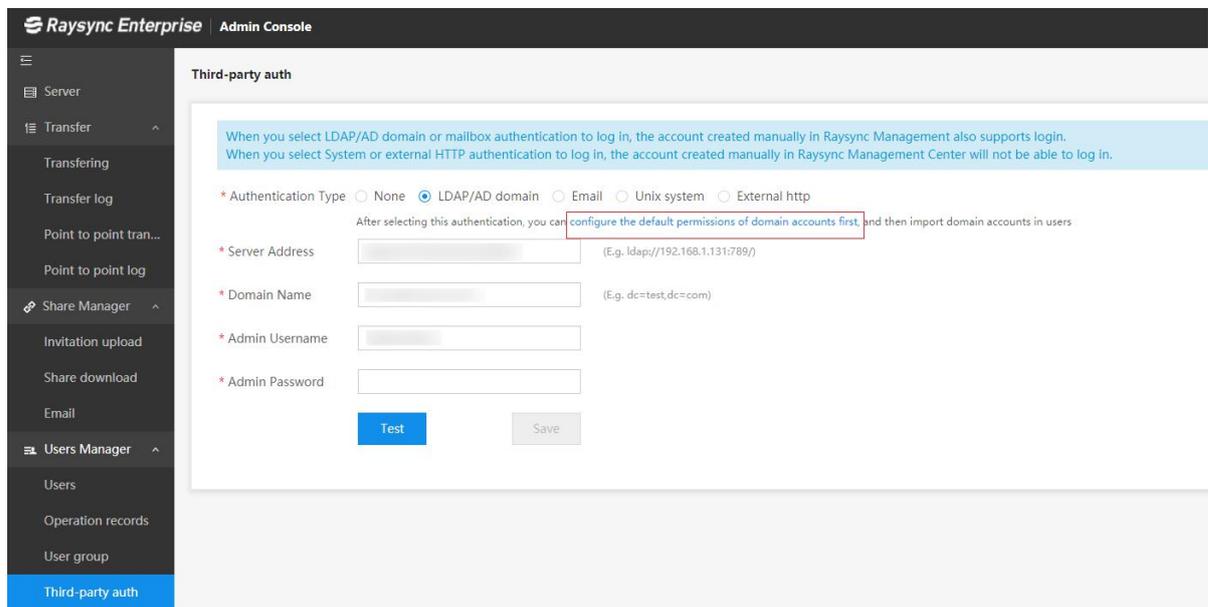
* Server Address (E.g. ldap://192.168.1.131:789/)

* Domain Name (E.g. dc=test,dc=com)

* Admin Username

* Admin Password

[アカウントのデフォルトの権限を設定する]をクリックします



Raysync Enterprise Admin Console

Third-party auth

When you select LDAP/AD domain or mailbox authentication to log in, the account created manually in Raysync Management also supports login.
When you select System or external HTTP authentication to log in, the account created manually in Raysync Management Center will not be able to log in.

* Authentication Type None LDAP/AD domain Email Unix system External http

After selecting this authentication, you can configure the default permissions of domain accounts first, and then import domain accounts in users

* Server Address (E.g. ldap://192.168.1.131:789/)

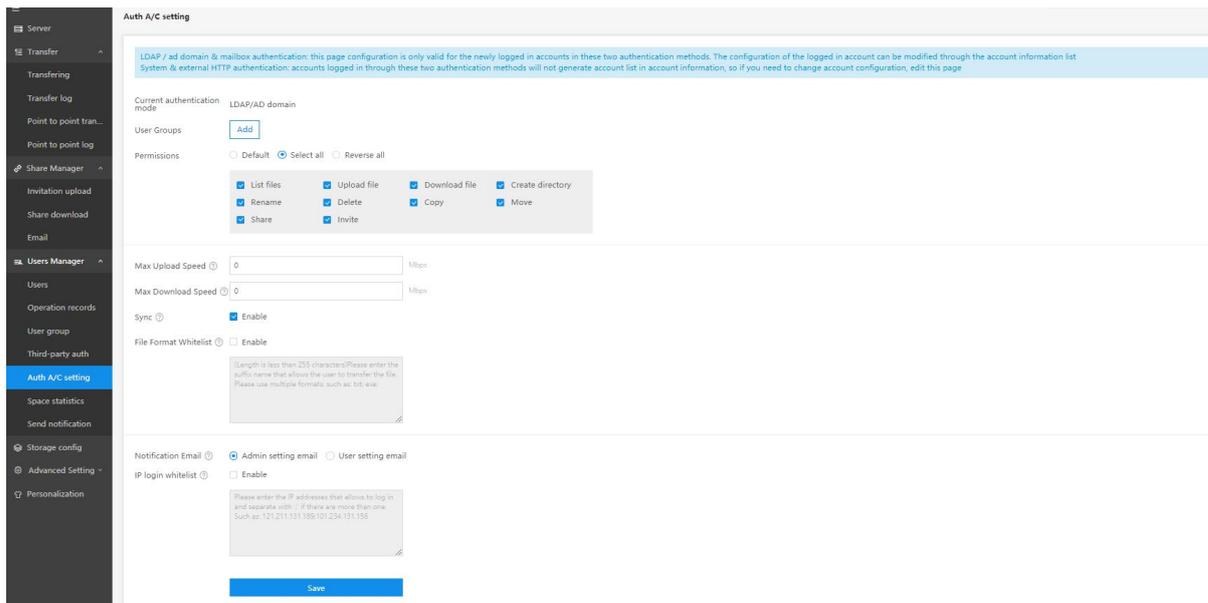
* Domain Name (E.g. dc=test,dc=com)

* Admin Username

* Admin Password

[Auth A/C 設定]インターフェースに入り、LDAP/AD アカウントの権限を設定します。

ヒント：ログインしていないアカウントにのみ有効です。 ログイン中のアカウントは、アカウント情報リストから権限を変更することができます。



Auth A/C setting

LDAP / ad domain & mailbox authentication: this page configuration is only valid for the newly logged in accounts in these two authentication methods. The configuration of the logged in account can be modified through the account information list. System & external HTTP authentication: accounts logged in through these two authentication methods will not generate account list in account information, so if you need to change account configuration, edit this page.

Current authentication mode: LDAP/AD domain

User Groups:

Permissions: Default Select all Reverse all

List files Upload file Download file Create directory
 Rename Delete Copy Move
 Share Invite

Max Upload Speed: Mbps

Max Download Speed: Mbps

Sync: Enable

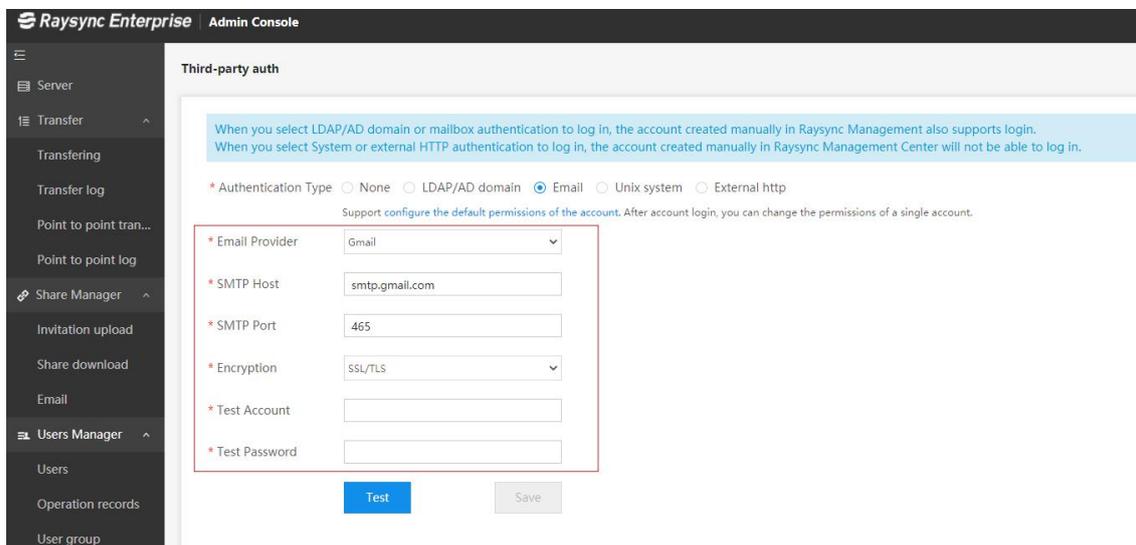
File Format Whitelist: Enable

Notification Email: Admin setting email User setting email

IP login whitelist: Enable

2.8.5.2 メール認証

SMTP ホスト、SMTP ポート、使用した暗号化方式、テストアカウント、パスワードを入力し、[テスト]をクリックします。テストパスは、情報が正しく記入されていることを示しています。保存をクリックすると、有効になります。



Third-party auth

When you select LDAP/AD domain or mailbox authentication to log in, the account created manually in Raysync Management also supports login. When you select System or external HTTP authentication to log in, the account created manually in Raysync Management Center will not be able to log in.

* Authentication Type: None LDAP/AD domain Email Unix system External http

Support configure the default permissions of the account. After account login, you can change the permissions of a single account.

* Email Provider:

* SMTP Host:

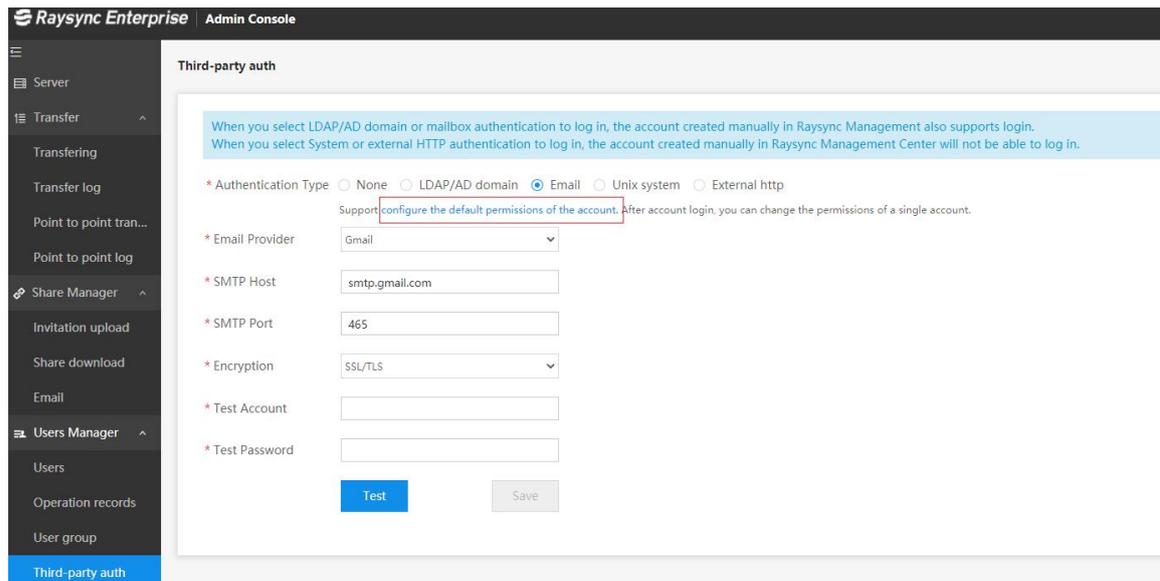
* SMTP Port:

* Encryption:

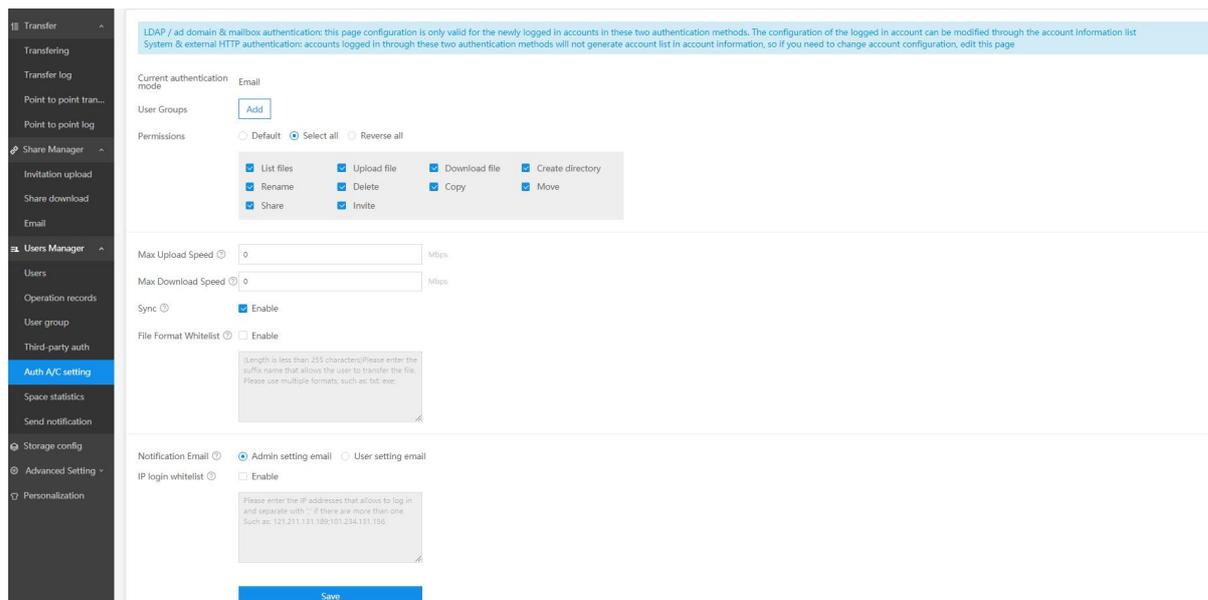
* Test Account:

* Test Password:

[アカウントのデフォルトの権限を設定する]をクリックします



[Auth A/C 設定]インターフェースに入り、メールアドレスアカウントの権限を設定します。
 ヒント：ログインしていないメールアドレスにのみ有効です。 ログイン中のアカウントは、アカウント情報リストから権限を変更することができます。

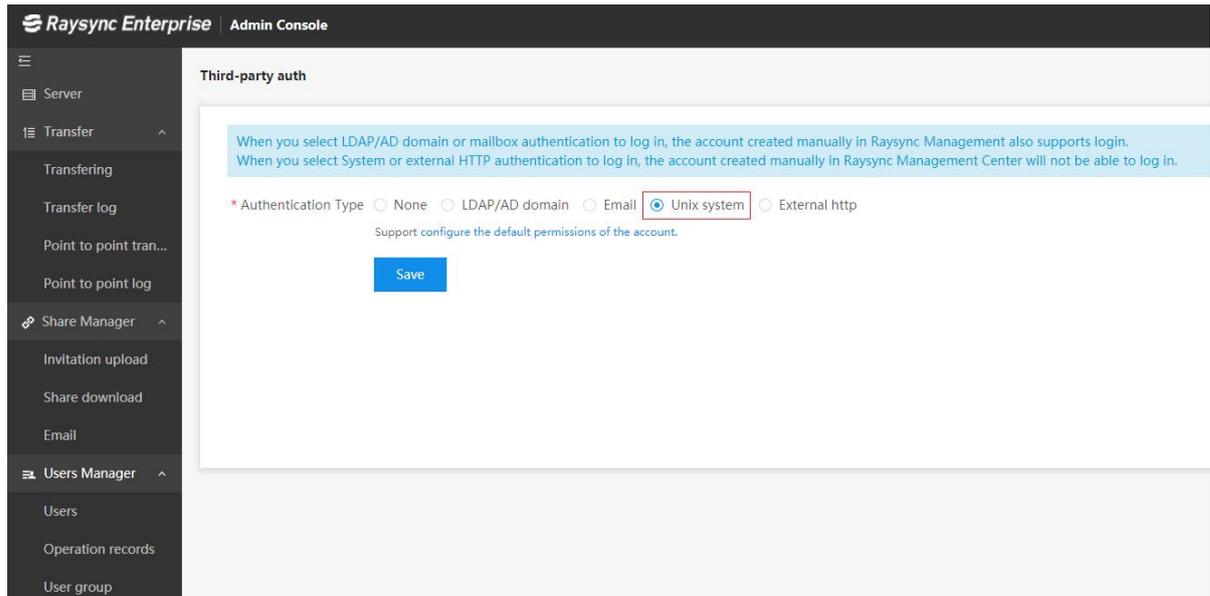


2.8.5.3 Unix システム認証

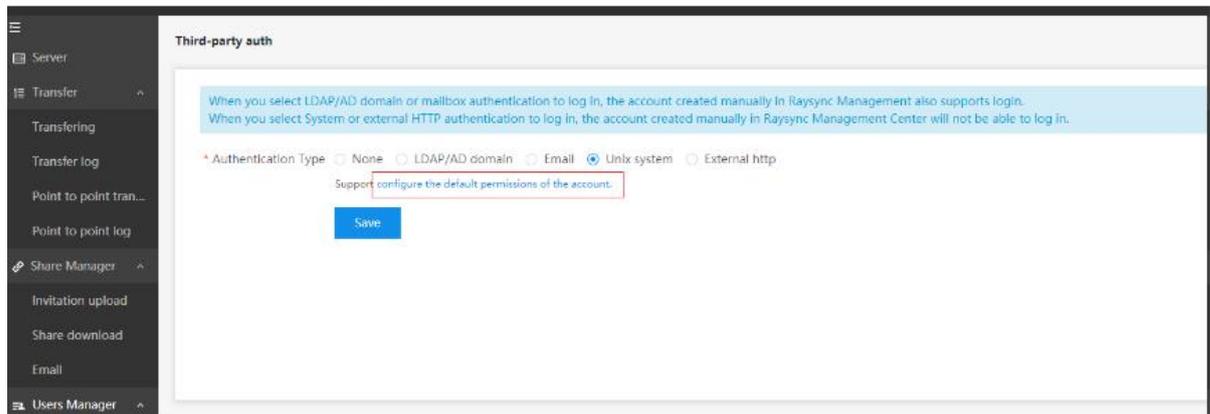
Linux システムの root アクセス許可または sudo アクセス許可で起動した raysync サービスは、Linux システムのユーザー認証の設定に対応しています。

Unix システム認証を選択し、[保存] をクリックします。設定が成功すれば、linux システムのユーザーアカウントとパスワードを使って、直接 raysync スピードサービスにログインすることができます。

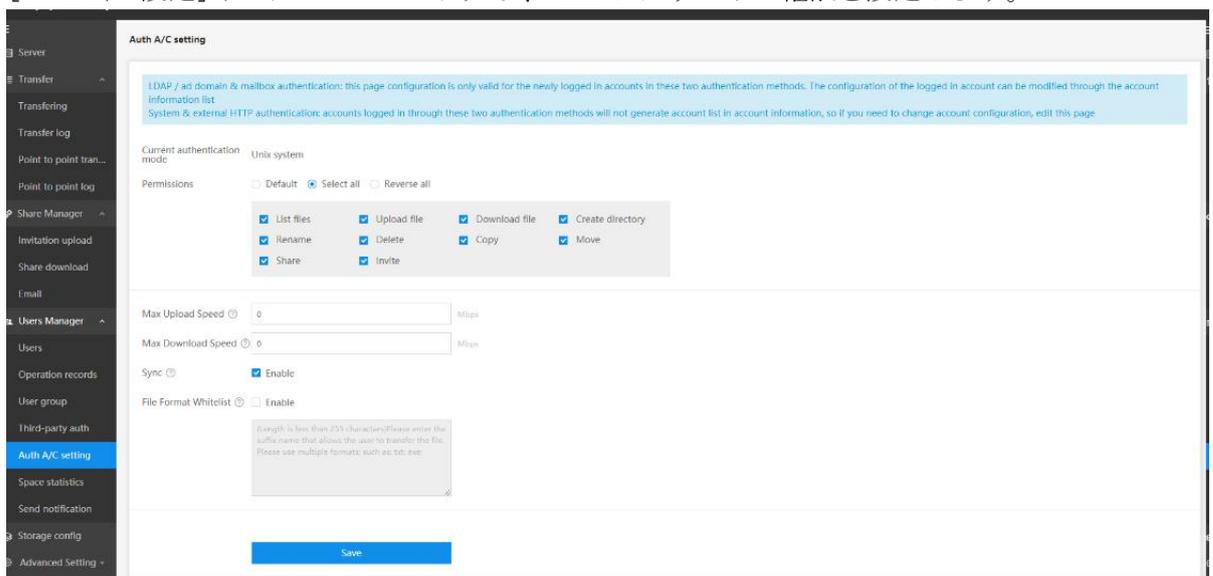
ヒント：通常の linux システムユーザーが起動した raysync サービスであれば、この設定を実行する権限はありません。



[アカウントのデフォルトの権限を設定する]をクリックします



[Auth A/C 設定]インターフェースに入り、Unix アカウントの権限を設定します。

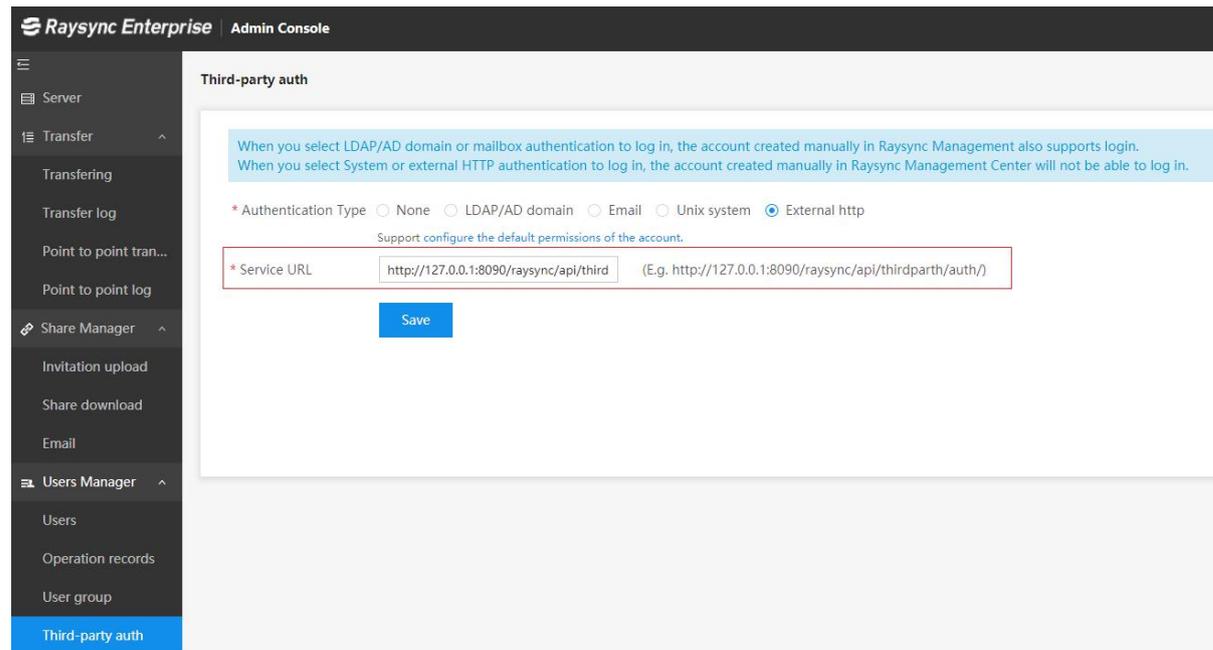


2.8.5.4 外部 http 認証

認証するため、外部 http サービスを利用できます。

[ユーザー管理-第三者認証] をクリックし、[外部 http] を選択します。そして、サービス URL を入力して、[保存] をクリックします。

設定が成功すれば、設定した外部 http サービスシステムのユーザーアカウントとパスワードから直接ログインすることができます。



Raysync Enterprise Admin Console

Third-party auth

When you select LDAP/AD domain or mailbox authentication to log in, the account created manually in Raysync Management also supports login.
When you select System or external HTTP authentication to log in, the account created manually in Raysync Management Center will not be able to log in.

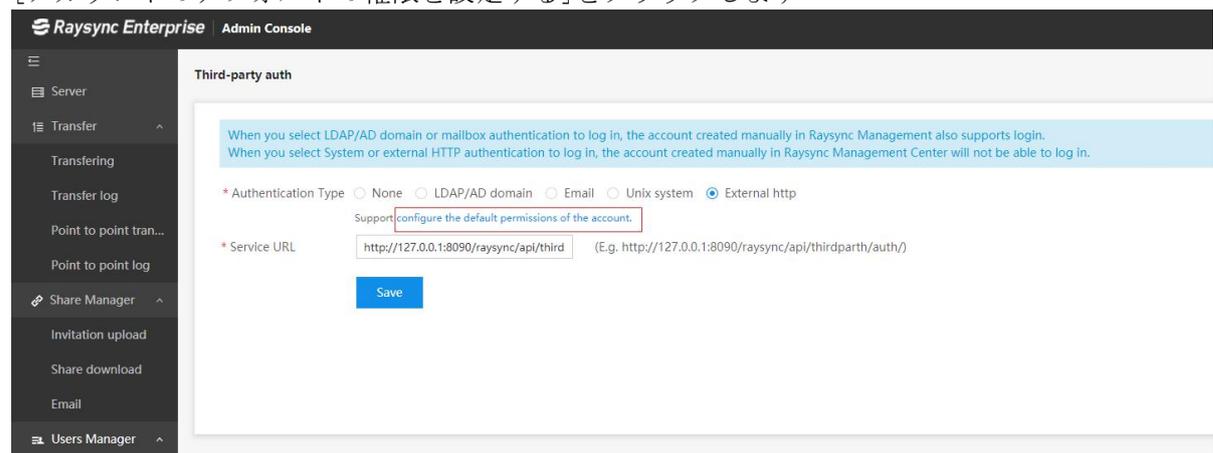
* Authentication Type None LDAP/AD domain Email Unix system External http

Support configure the default permissions of the account.

* Service URL (E.g. http://127.0.0.1:8090/raysync/api/thirdparth/auth/)

Save

[アカウントのデフォルトの権限を設定する] をクリックします



Raysync Enterprise Admin Console

Third-party auth

When you select LDAP/AD domain or mailbox authentication to log in, the account created manually in Raysync Management also supports login.
When you select System or external HTTP authentication to log in, the account created manually in Raysync Management Center will not be able to log in.

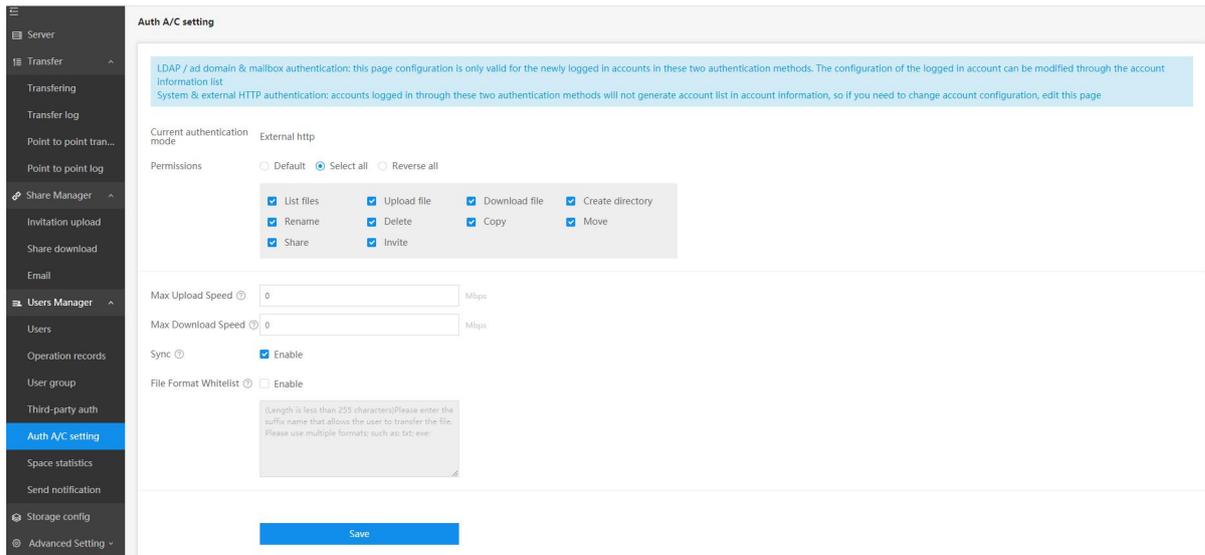
* Authentication Type None LDAP/AD domain Email Unix system External http

Support .

* Service URL (E.g. http://127.0.0.1:8090/raysync/api/thirdparth/auth/)

Save

[Auth A/C 設定] インターフェースに入り、外部 http アカウントの権限を設定します。



Auth A/C setting

LDAP / ad domain & mailbox authentication: this page configuration is only valid for the newly logged in accounts in these two authentication methods. The configuration of the logged in account can be modified through the account information list
 System & external HTTP authentication: accounts logged in through these two authentication methods will not generate account list in account information, so if you need to change account configuration, edit this page

Current authentication mode: External http

Permissions: Default Select all Reverse all

List files Upload file Download file Create directory
 Rename Delete Copy Move
 Share Invite

Max Upload Speed Mbps

Max Download Speed Mbps

Sync Enable

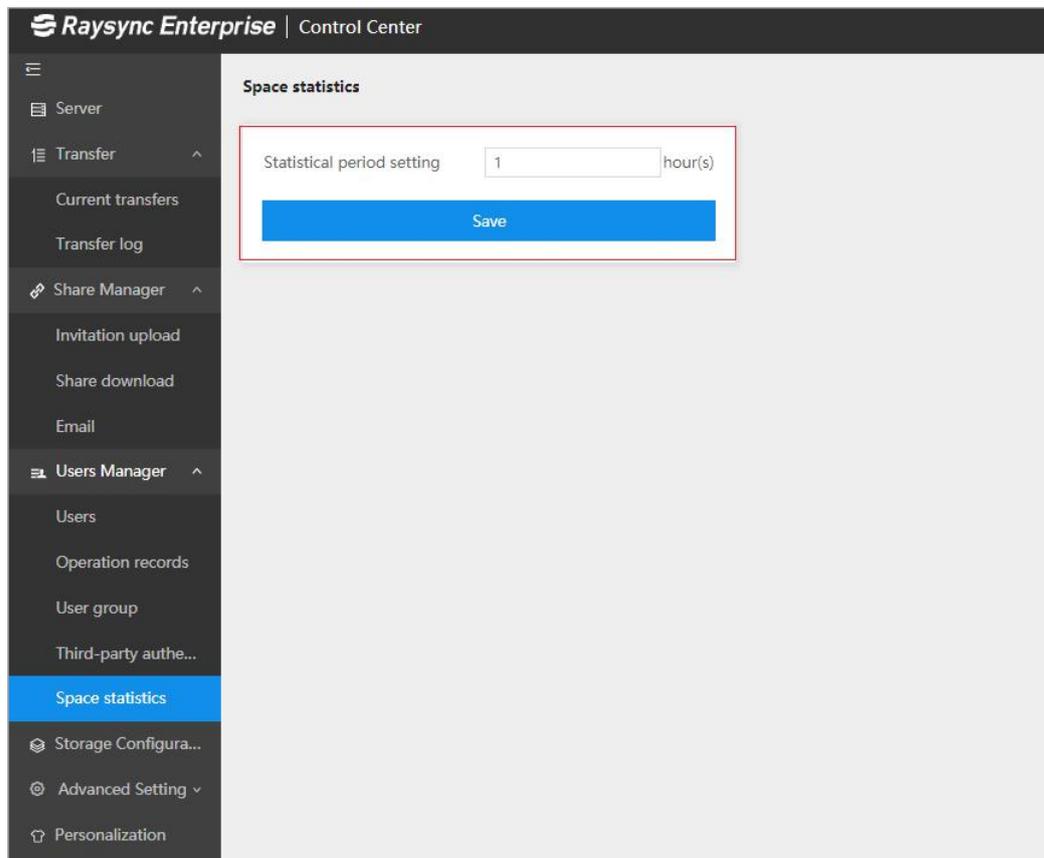
File Format Whitelist Enable

(Length is less than 255 characters>Please enter the suffix name that allows the user to transfer the file. Please use multiple formats; such as txt; exe)

2.8.6 容量統計

更生容量の統計期間に対応しています。

1 時間に設定した場合、システムは 1 時間ごとに、ユーザーとユーザーグループが占有する容量を自動的に計算します。



Raysync Enterprise | Control Center

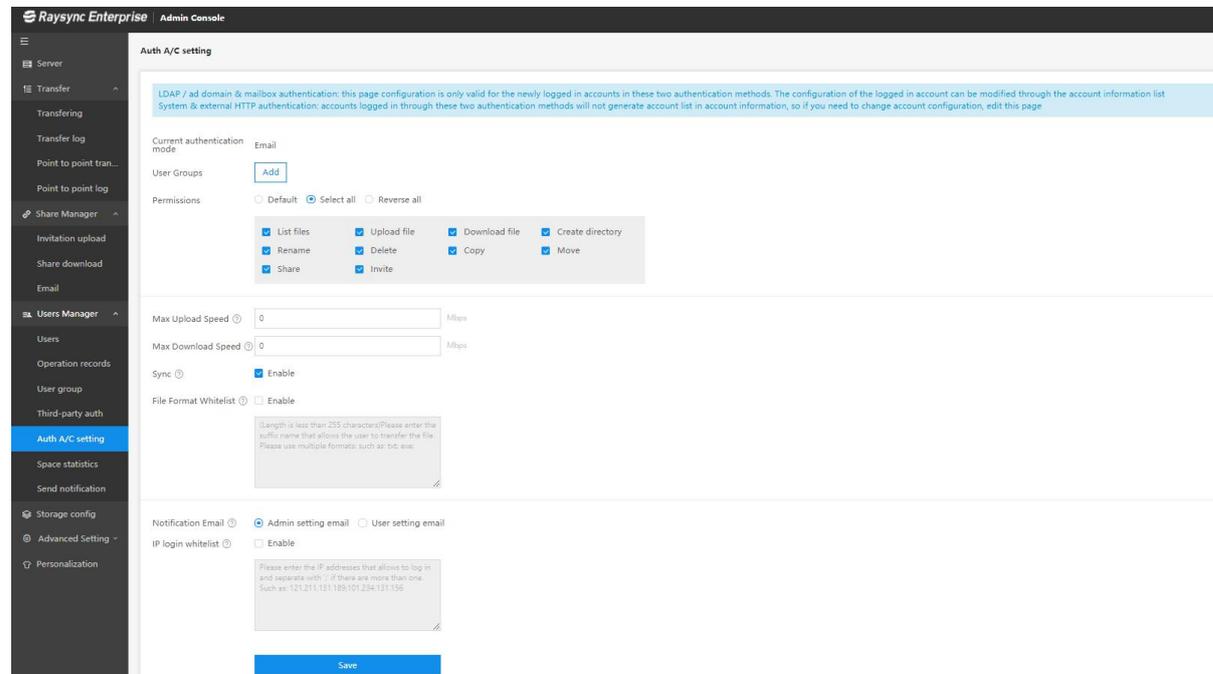
Space statistics

Statistical period setting hour(s)

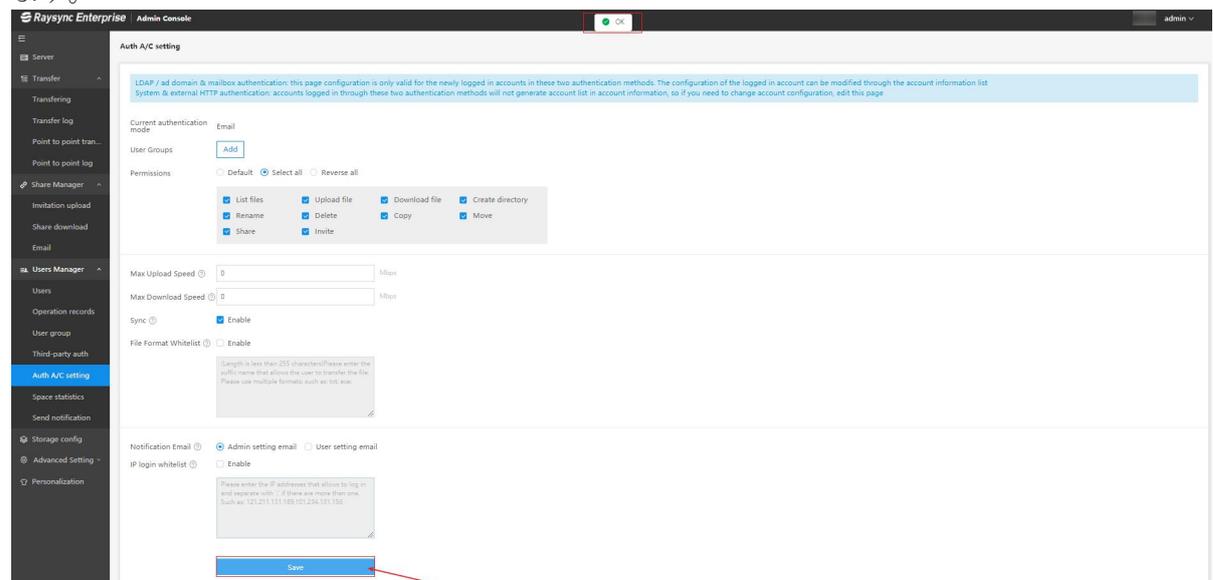
2.8.7 Auth A/C 設定

LDAP/AD ドメイン&メール認証は、新規にログインしたアカウントのデフォルト権限を設定することができます。ログインしたアカウントは、アカウント情報を編集することができます。

システム&外部 http 認証では、全アカウント権限を設定できます。



認証を変更した後に[保存]をクリックすると、設定が保存され、認証ユーザー権限が有効になります。

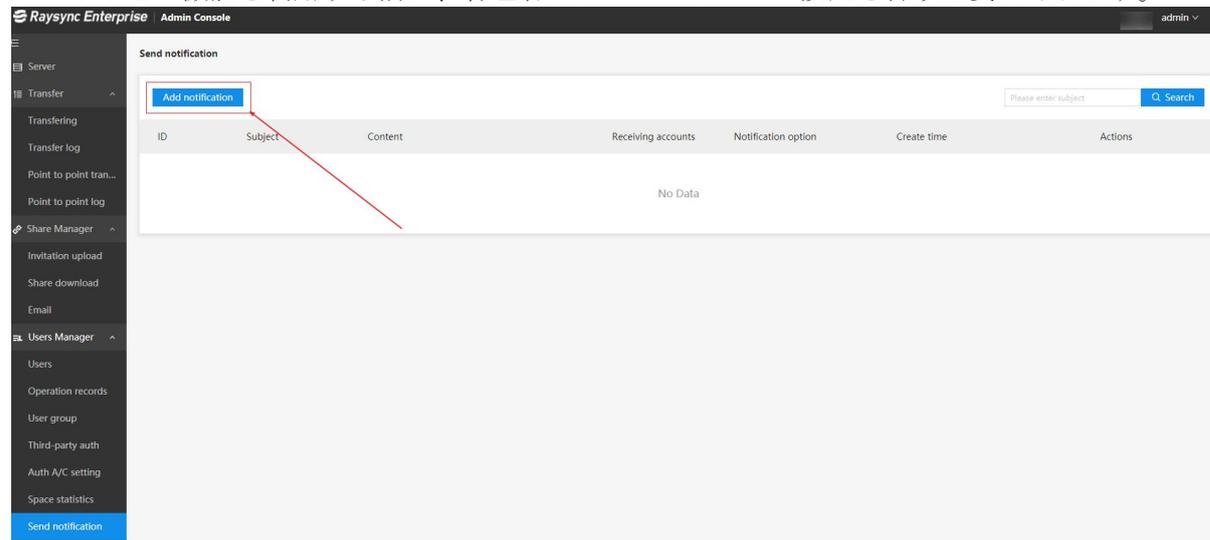


2.8.8 通知を送信

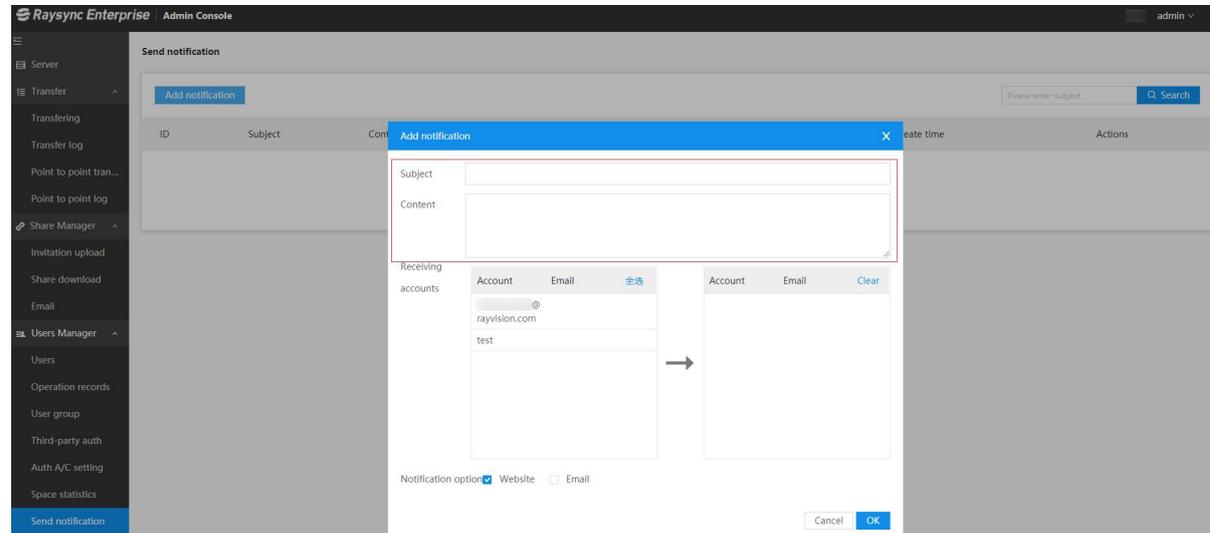
2.8.8.1 通知の追加

[知を追加する]をクリックします。

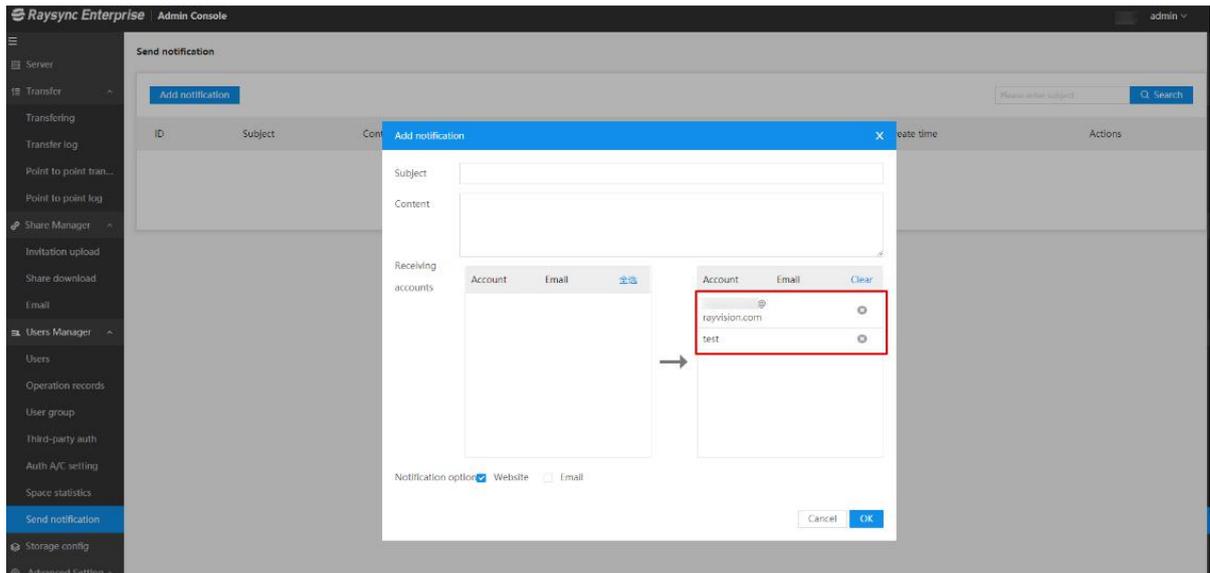
ヒント：この機能を利用する前に、管理者がメールアドレスの設定を行う必要があります。



サブジェクトと内容を入力します。

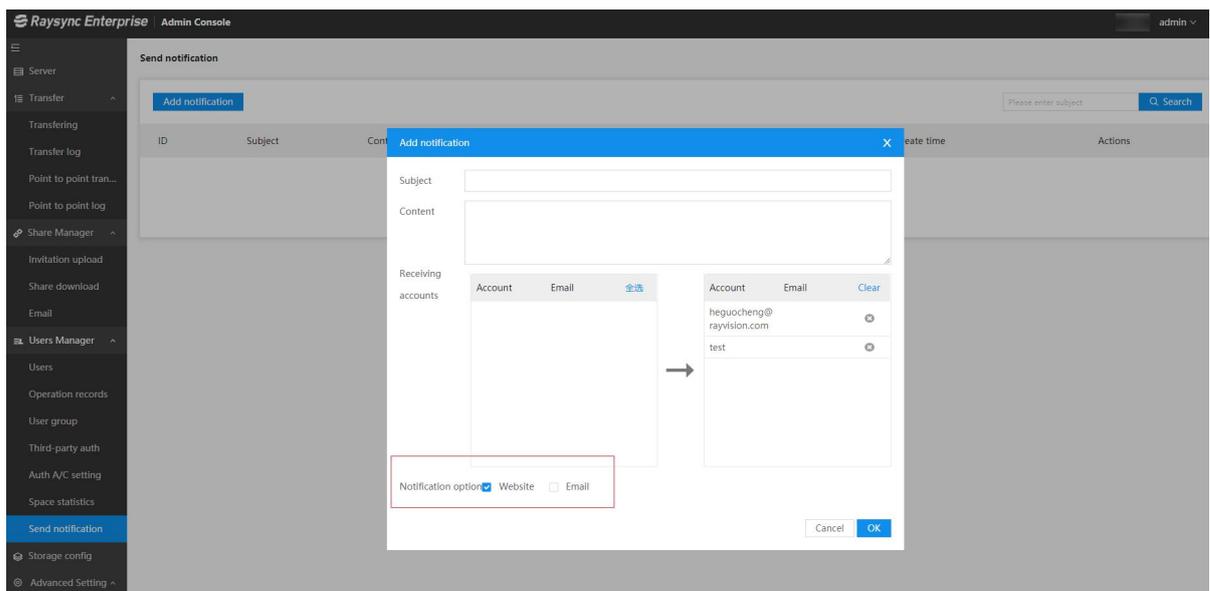


通知を受信するユーザーアカウントを選択します。複数のユーザーアカウントを同時に選択することもできます。

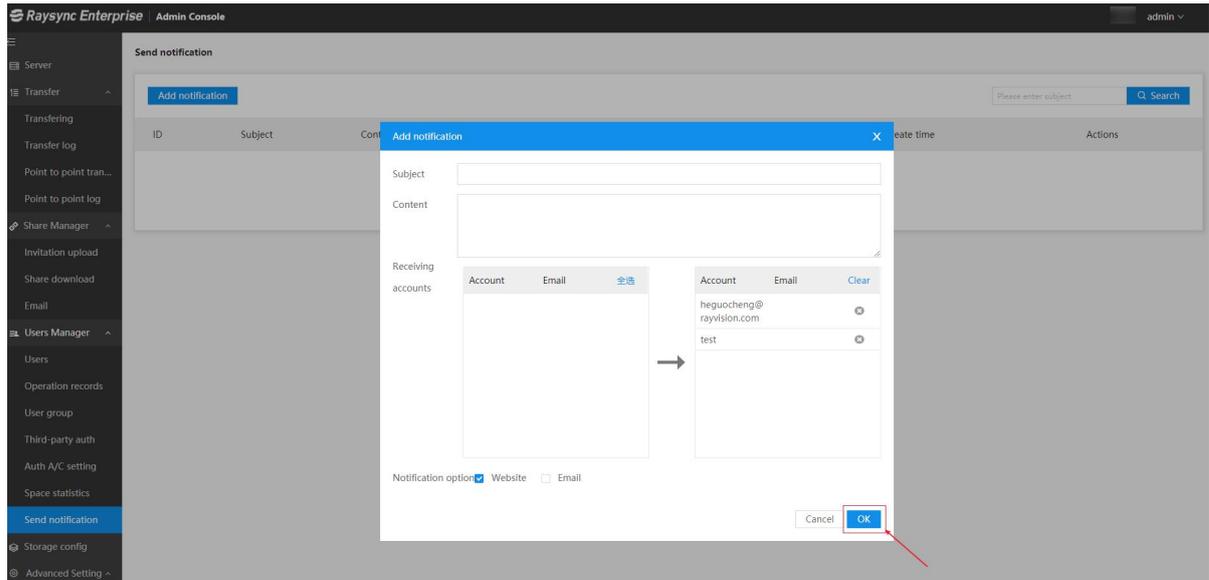


通知の方法を選択します：ウェブページ、メールなど。

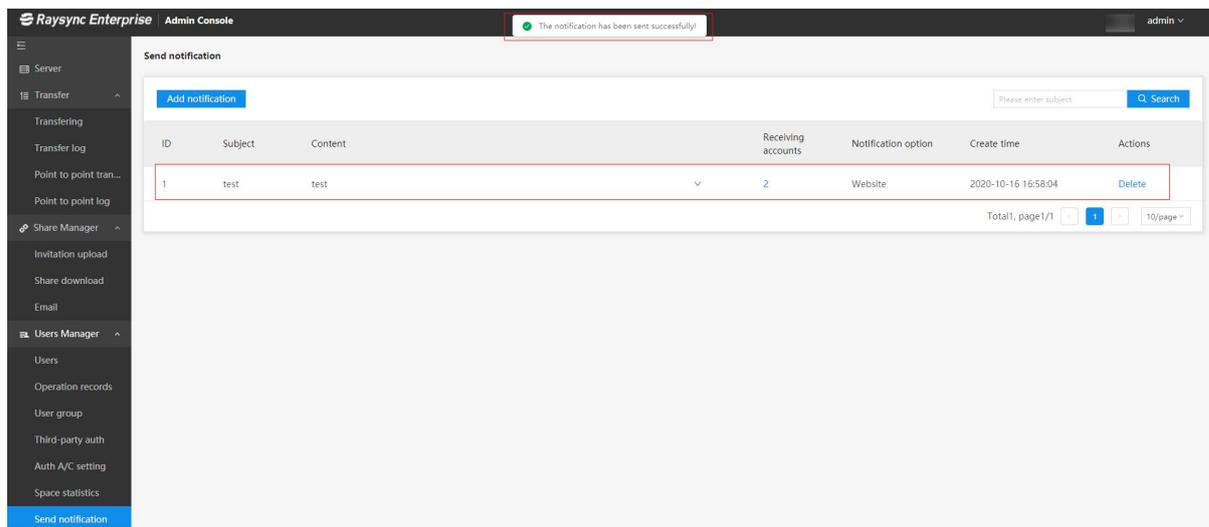
ヒント：メッセージの通知方法をメールにする場合、通知メールを受信するためのユーザーアカウント情報を入力する必要があります。



[OK]をクリックします。

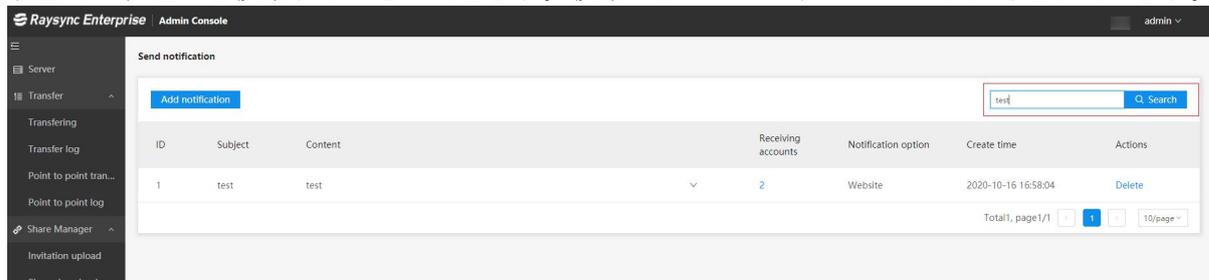


システムは送信成功と表示します。



2.8.8.2 検索通知

右上では、通知を検索することができます。検索ボックスはファジークエリに対応しています。

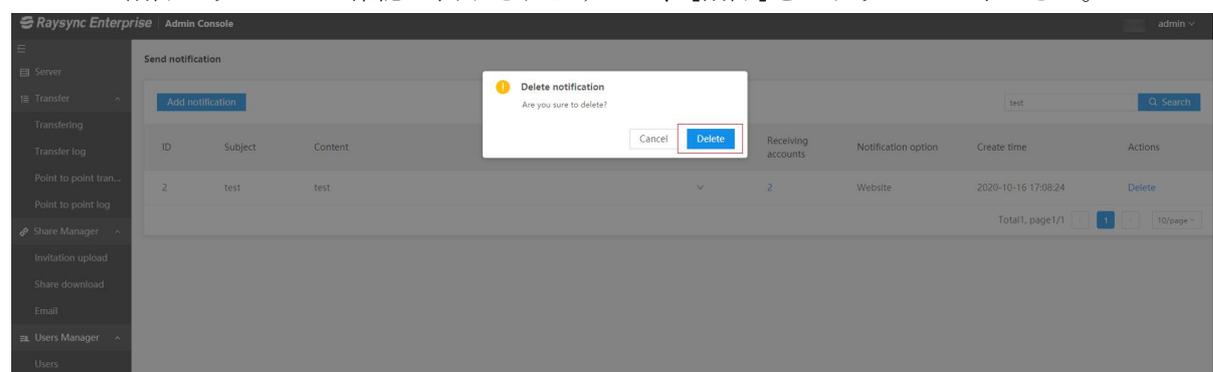


2.8.8.3 通知の削除

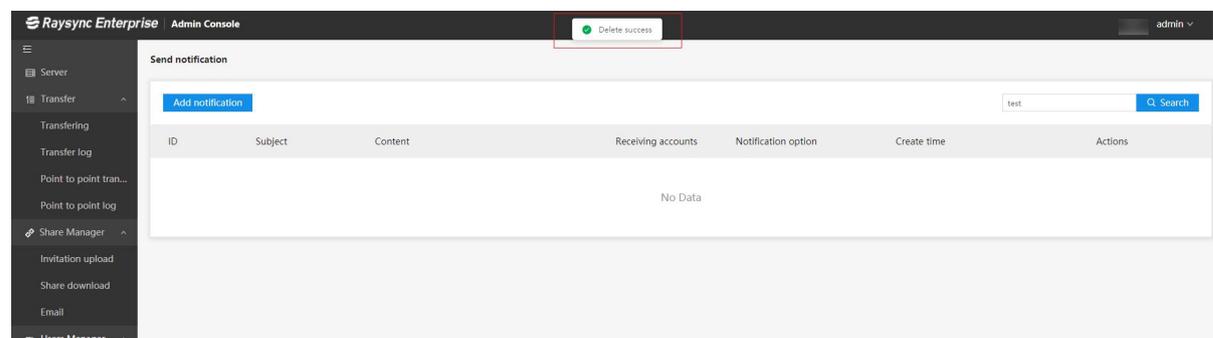
通知を選択し、[削除]をクリックします



ページに削除ボックスがの確認が表示されますので、[削除]をクリックしてください。

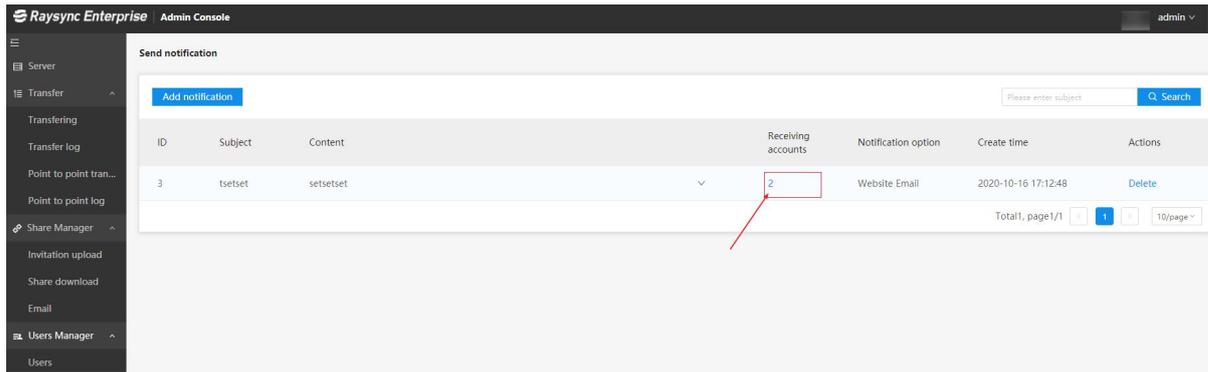


削除しました。

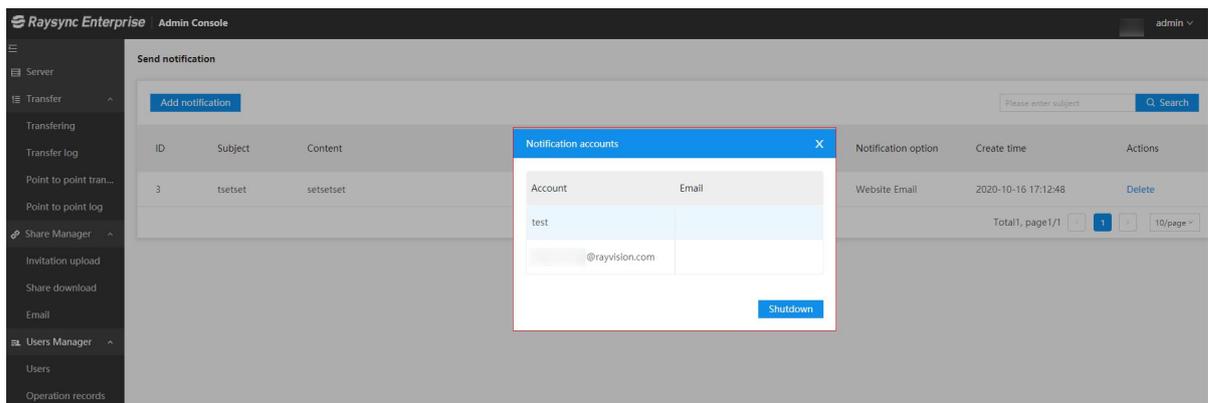


2.8.8.4 通知の受信するアカウントを表示

数字をクリックします。



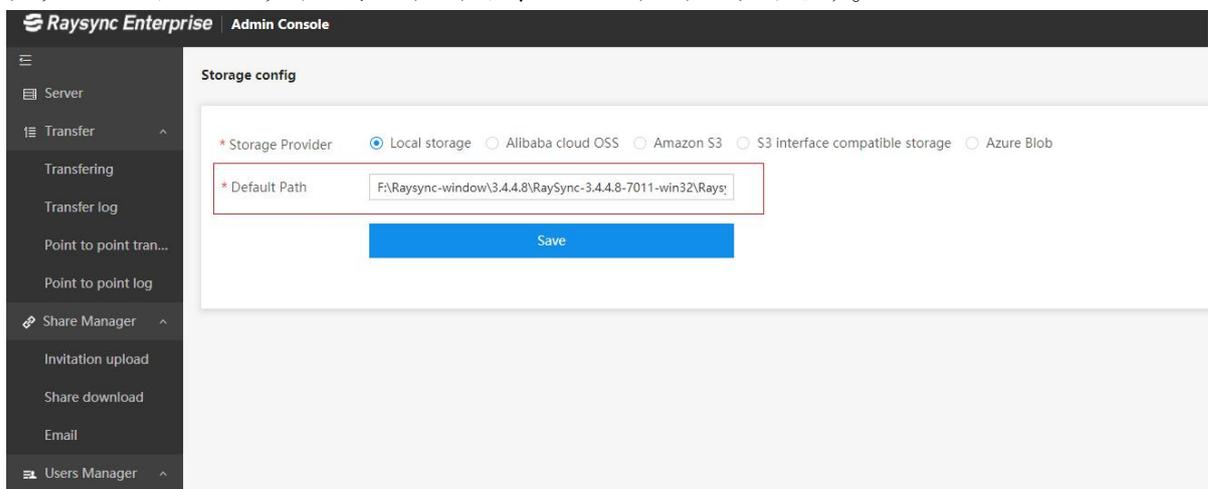
通知を受けたユーザーのアカウント情報とメール情報が表示されます。



2.9 ストレージ設定

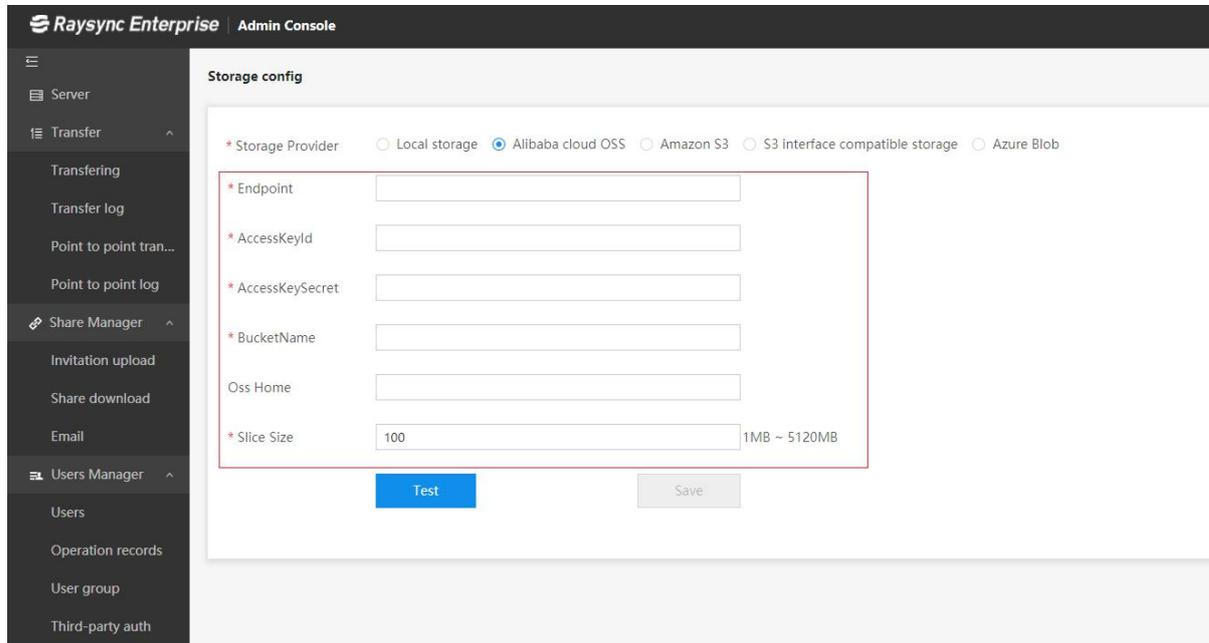
2.9.1 ローカルストレージ

ローカルストレージのパスは、ユーザーのホームディレクトリのパスを指定に使用されます。例えば、「test1」という名前のユーザーを作成すると、raysync サーバーは指定されたストレージパスに「test1」という名前のフォルダを自動的に作成します。ユーザーがアップロードやダウンロードしたファイルやフォルダは、このフォルダに入ります。



2.9.2 Alibaba クラウド OSS

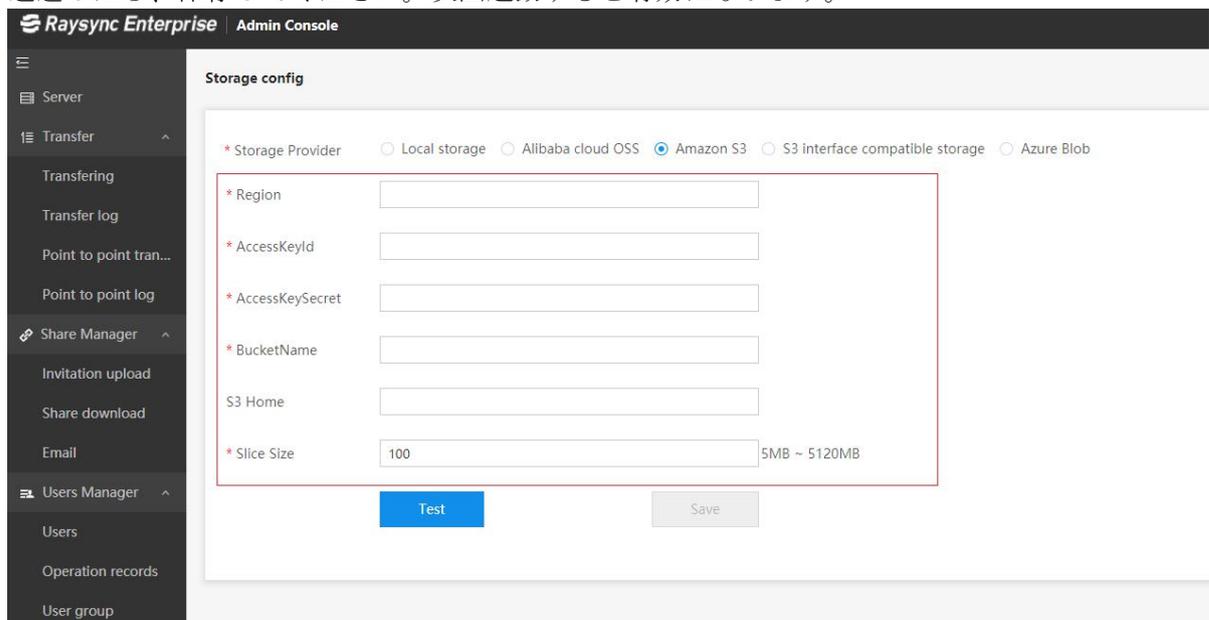
OSS ストレージの設定を入力し、[テスト]をクリックします。
通過したら、保存してください。次回起動すると有効になります。



The screenshot shows the 'Storage config' page in the Raysync Enterprise Admin Console. The 'Storage Provider' is set to 'Alibaba cloud OSS'. The form includes the following fields: Endpoint, AccessKeyId, AccessKeySecret, BucketName, Oss Home, and Slice Size (set to 100, with a range of 1MB ~ 5120MB). There are 'Test' and 'Save' buttons at the bottom.

2.9.3 Amazon S3

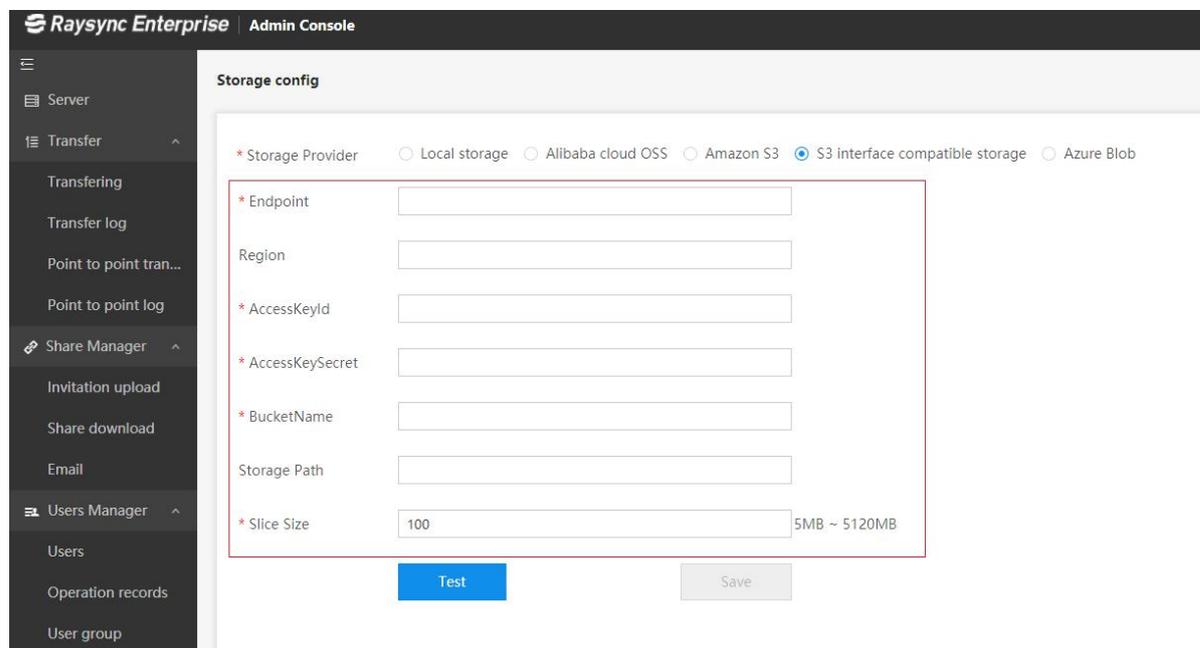
S3 ストレージの設定を入力し、[テスト]をクリックします。
通過したら、保存してください。次回起動すると有効になります。



The screenshot shows the 'Storage config' page in the Raysync Enterprise Admin Console. The 'Storage Provider' is set to 'Amazon S3'. The form includes the following fields: Region, AccessKeyId, AccessKeySecret, BucketName, S3 Home, and Slice Size (set to 100, with a range of 5MB ~ 5120MB). There are 'Test' and 'Save' buttons at the bottom.

2.9.4 S3 インターフェース対応ストレージ

S3 インターフェース情報を入力し、[テスト]をクリックします。
通過したら、保存してください。次回起動すると有効になります。



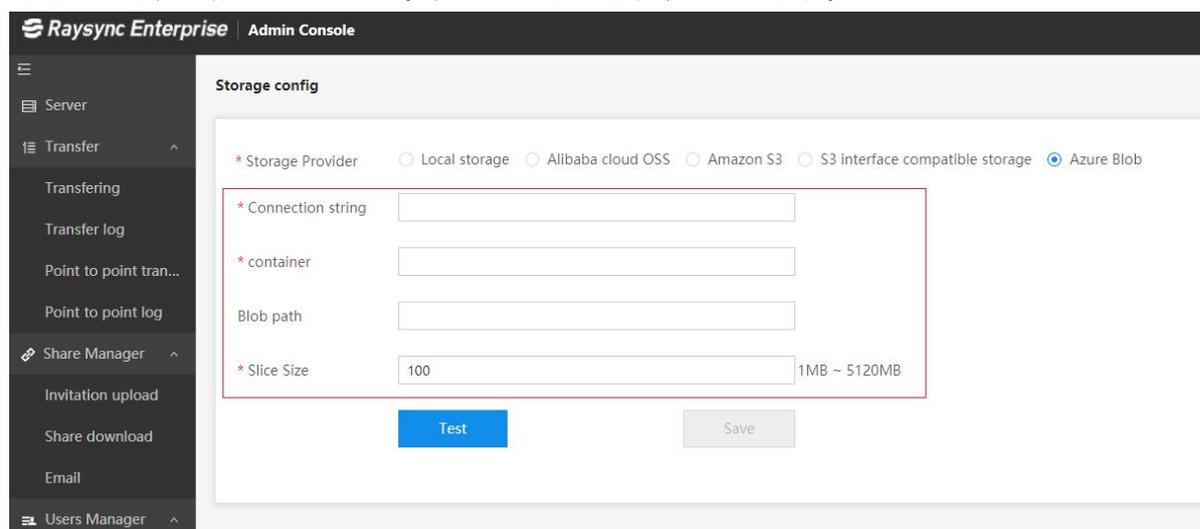
The screenshot shows the 'Storage config' page in the Raysync Enterprise Admin Console. The 'Storage Provider' is set to 'S3 interface compatible storage'. The form includes the following fields:

- * Storage Provider: Local storage Alibaba cloud OSS Amazon S3 S3 interface compatible storage Azure Blob
- * Endpoint:
- Region:
- * AccessKeyId:
- * AccessKeySecret:
- * BucketName:
- Storage Path:
- * Slice Size: 5MB ~ 5120MB

Buttons:

2.9.5 Azure Blob

azure blob インターフェース情報を入力し、[テスト]をクリックします。
通過したら、保存してください。次回起動すると有効になります。



The screenshot shows the 'Storage config' page in the Raysync Enterprise Admin Console. The 'Storage Provider' is set to 'Azure Blob'. The form includes the following fields:

- * Storage Provider: Local storage Alibaba cloud OSS Amazon S3 S3 interface compatible storage Azure Blob
- * Connection string:
- * container:
- Blob path:
- * Slice Size: 1MB ~ 5120MB

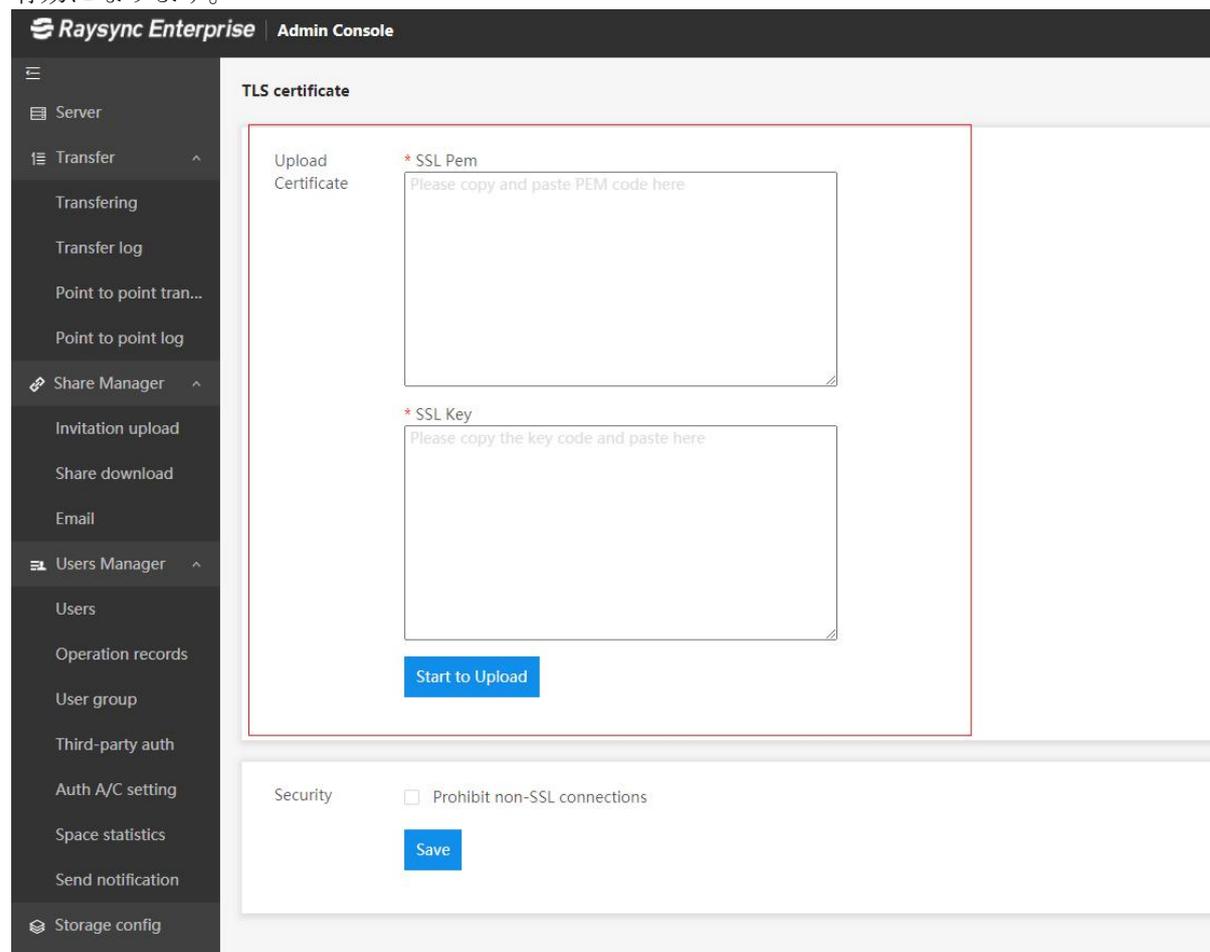
Buttons:

2.10 詳細設定

2.10.1.1 TLS 証明書

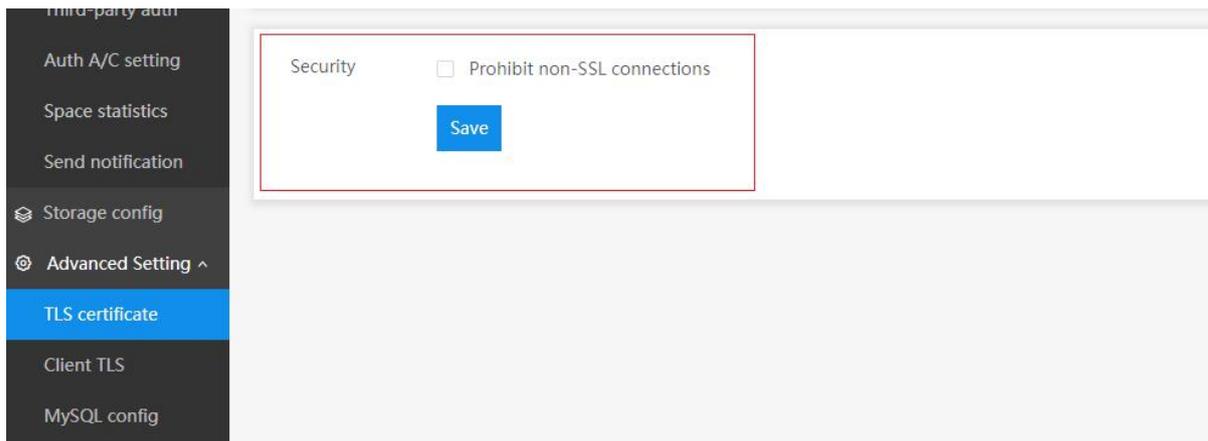
Raysync は、ウェブ上の http 暗号化とファイル転送の暗号化の両方に使用可能な暗号化証明書サービスを提供しています。デフォルトでは Raysync に付属の暗号化証明書を使用しています。また、ユーザー自身の証明書を使って暗号化することもできます。

証明書ファイルと証明書キーを入力して、[OK]をクリックすると、サーバーの再起動後に設定が有効になります。



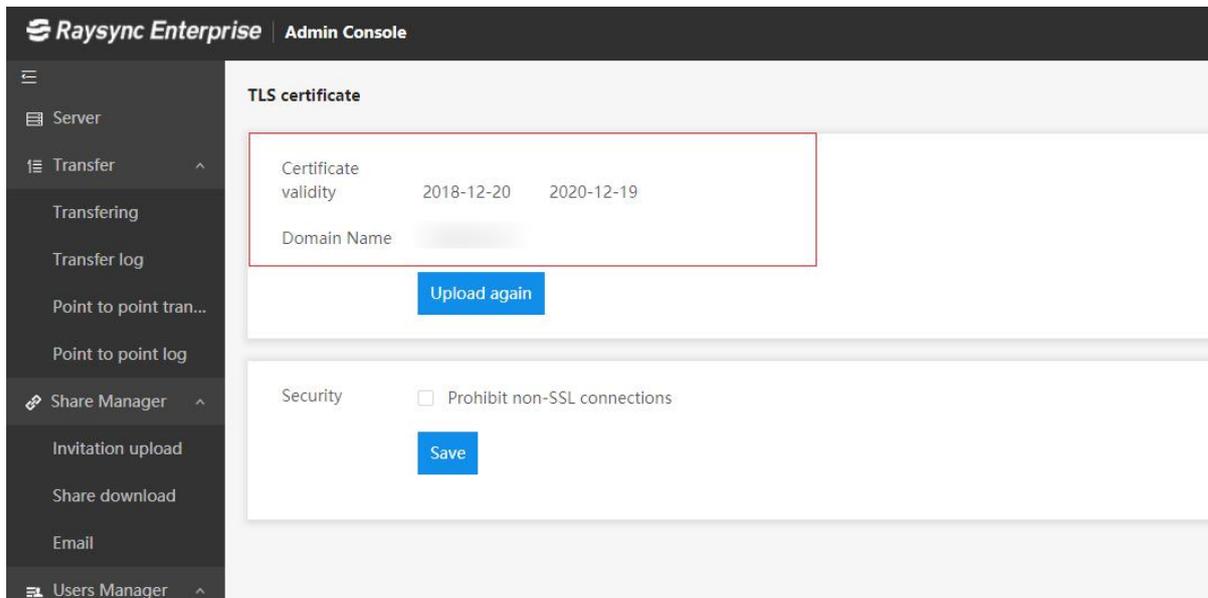
2.10.1.2 TLS 証明書

非 SSL 接続の禁止を有効にすると、https://certificate ドメイン名 : 8091 を使用して、フロントユーザーページにアクセスすることはできません。



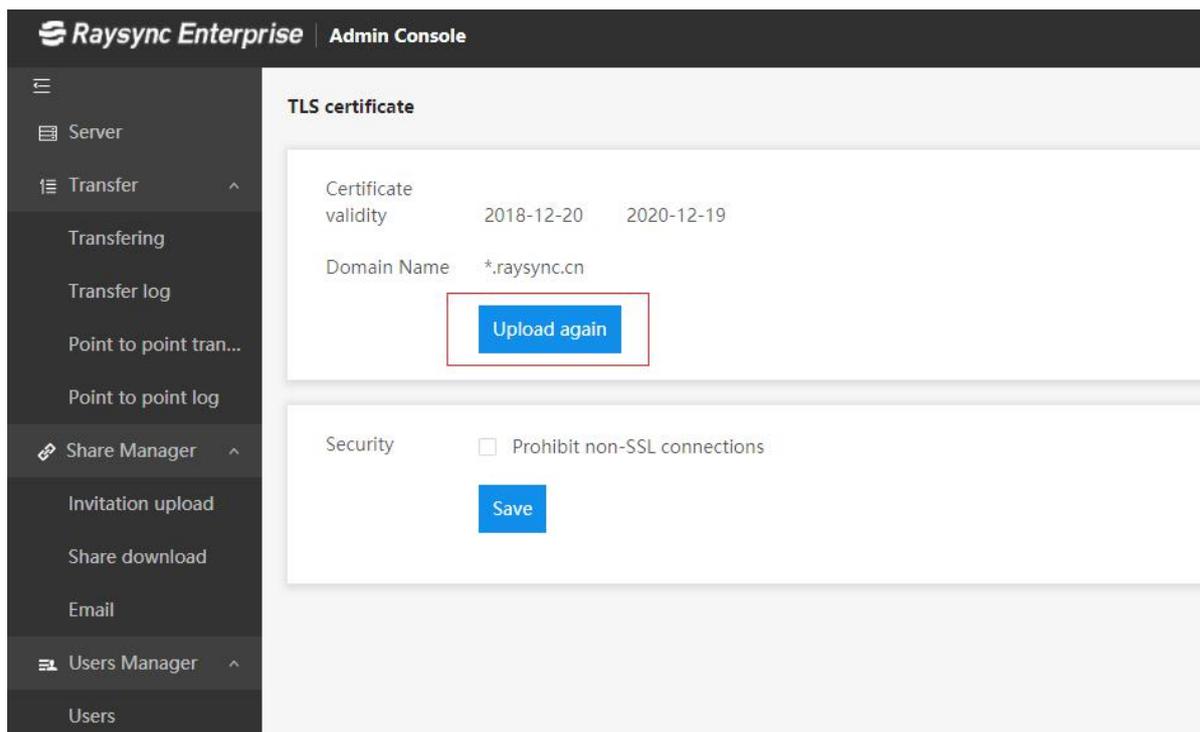
2.10.1.3 TLS 証明書情報の表示

TLS 証明書をアップロードした後、アップロードされた証明書の有効期間とドメイン名の情報を確認できます。

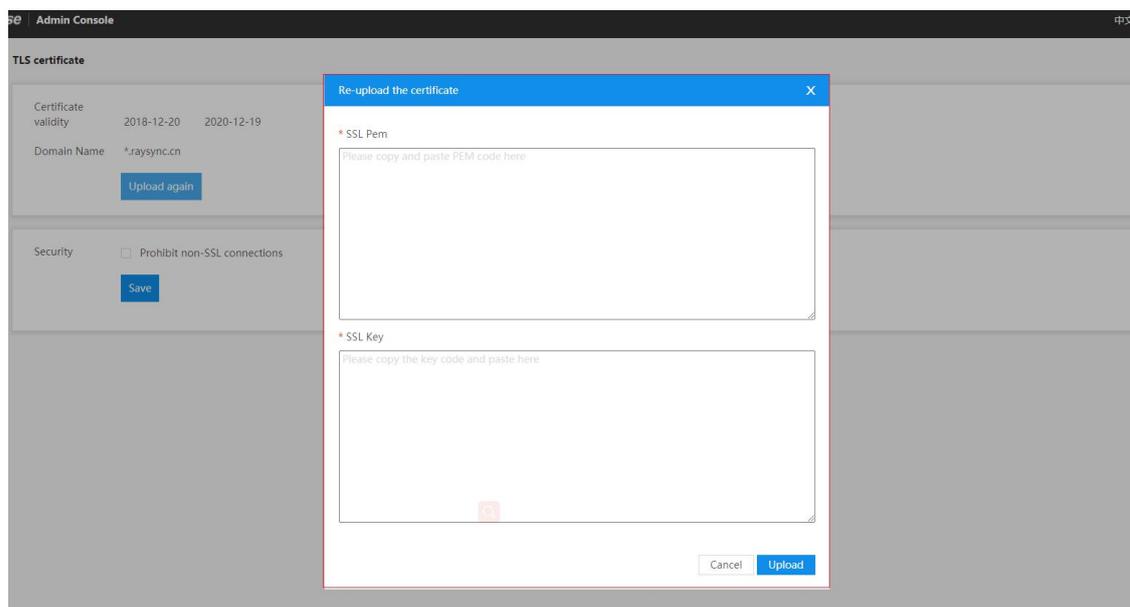


2.10.1.4 TLS 証明書の再アップロード

[再度アップロード]をクリックします。

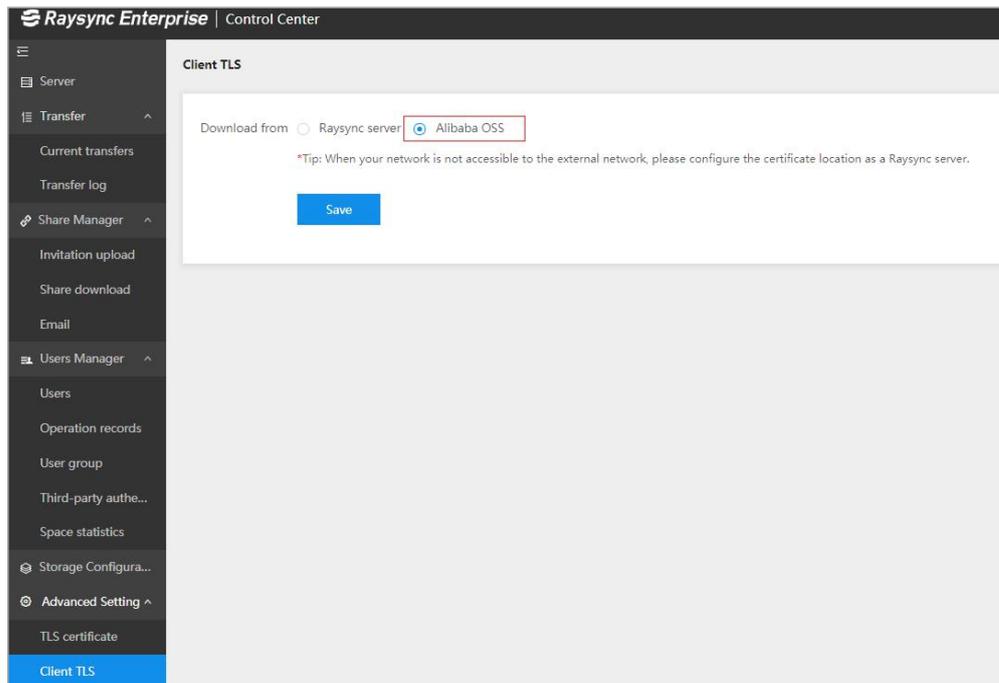


新しい SSLPem とキーをもう一度入力し、[アップロード]をクリックします。サーバーを再起動すると有効になります。



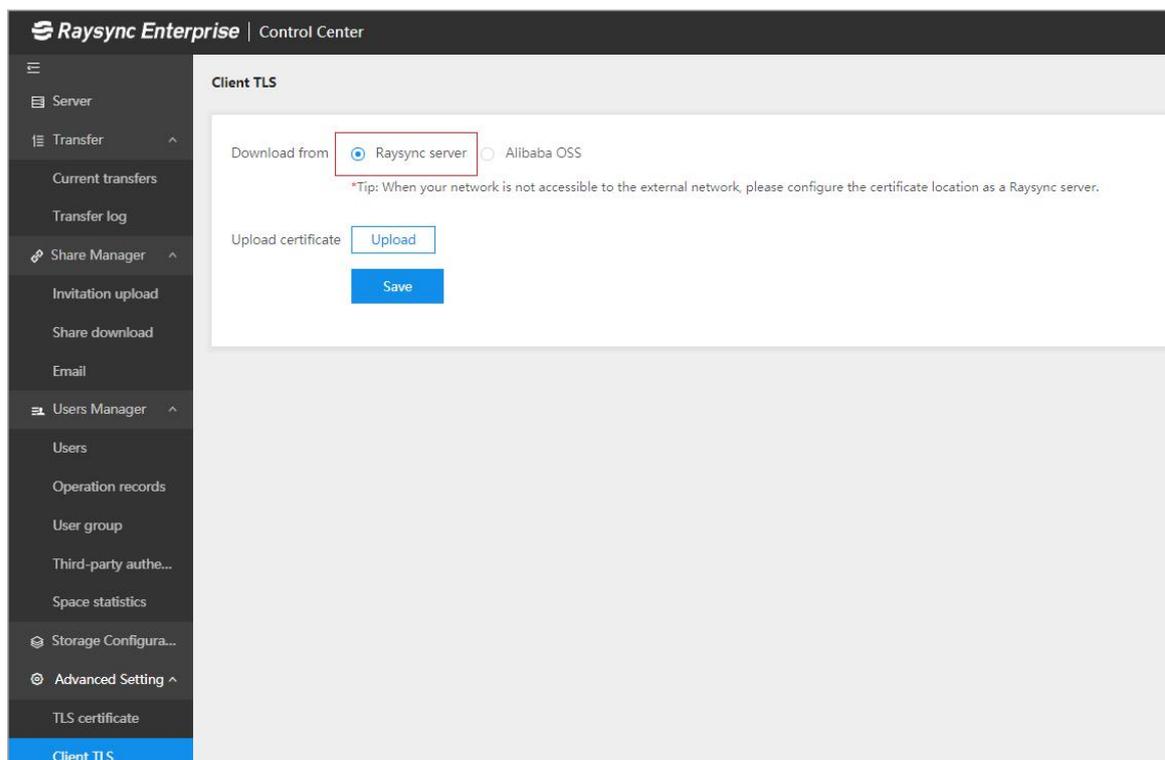
2.10.2 クライアント TLS

Rasync クライアント証明書は、2つの方法を通じて取得できます。
 1つは、Alibaba クラウド oss から最新の証明書を取得することです。
 デフォルトでは、Alibaba クラウドストレージ OSS から最新の証明書を取得することを選択しています oss 証明書が更新されると、Raysync は自動的に最新のクライアント証明書を OSS ストレージからダウンロードします。



2つ目は、Raysync サーバーからダウンロードすることです。
外部ネットワークにアクセスできない場合は、証明書の場所を Raysync サーバーに設定してください。

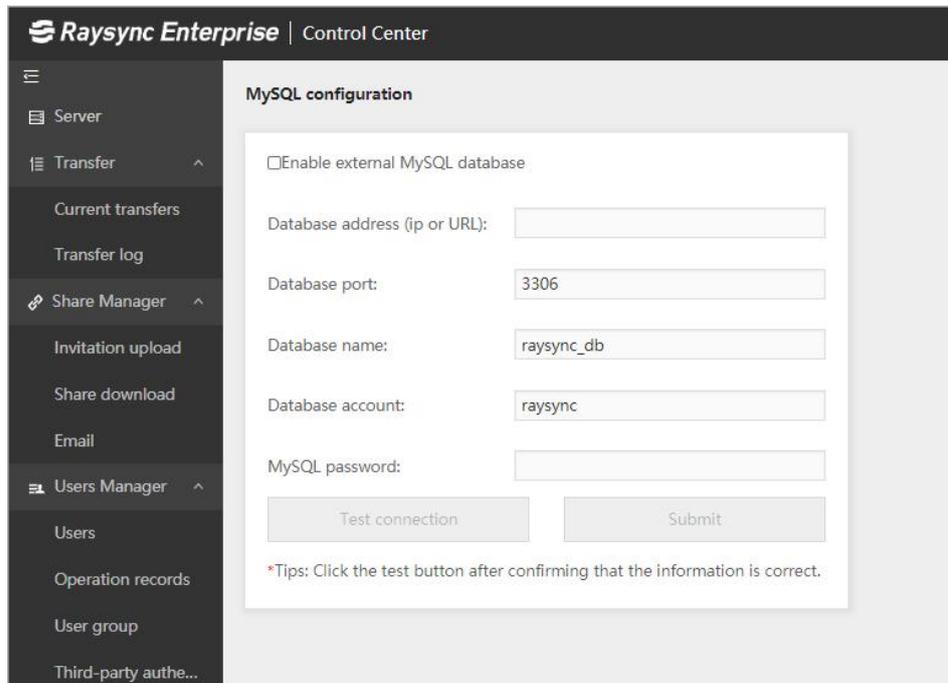
最新の証明書パッケージをアップロードする場合は、クリックしてください。証明書をアップロードしたら、「保存」をクリックします。ウェブ上で再度クライアントにログインすることで、クライアント証明書をダウンロードすることができます。



2.10.3 MySQL 設定

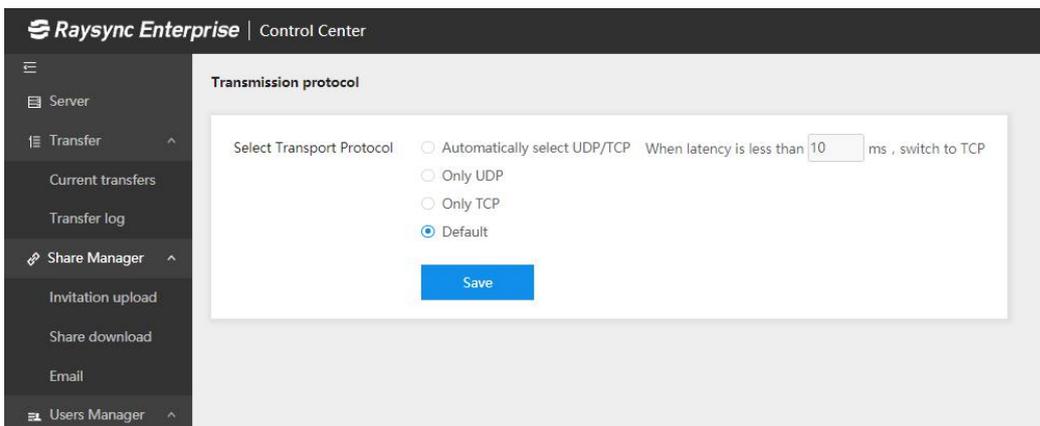
Raysync は外部の MySQL データベースに対応しています。管理者がより柔軟なデータベース設定方法を提供します。

アドレス、ポート、データアカウントとパスワードなど、外部データベースの設定を入力します。テスト接続に成功すれば、[テスト]をクリックします。[OK]をクリックして外部データベースを有効化し、バックグラウンドの設定情報がデータベースに保存されます。

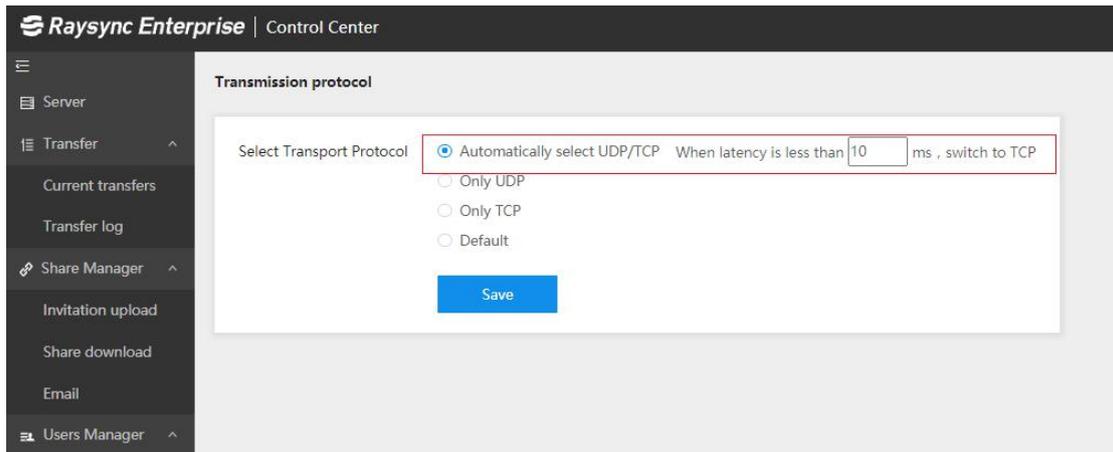


2.10.4 転送プロトコル

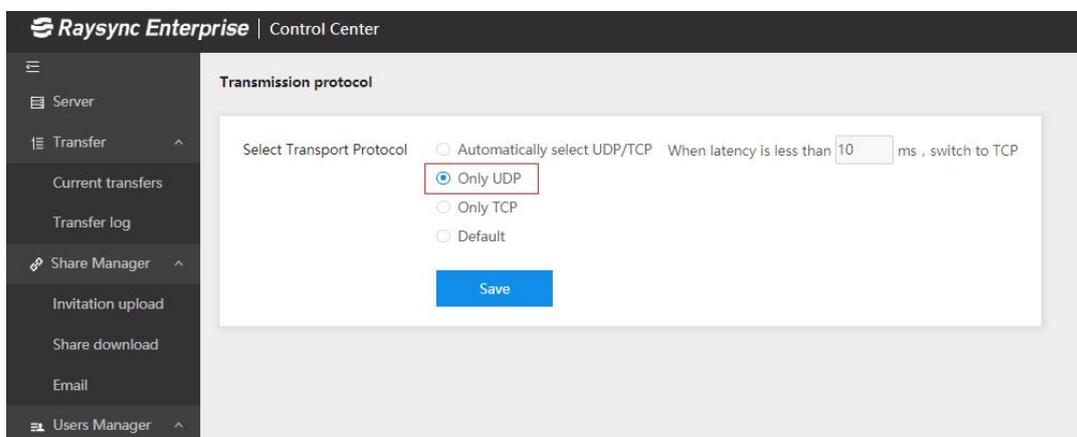
Raysync は 4 種類の転送プロトコル設定を提供します。



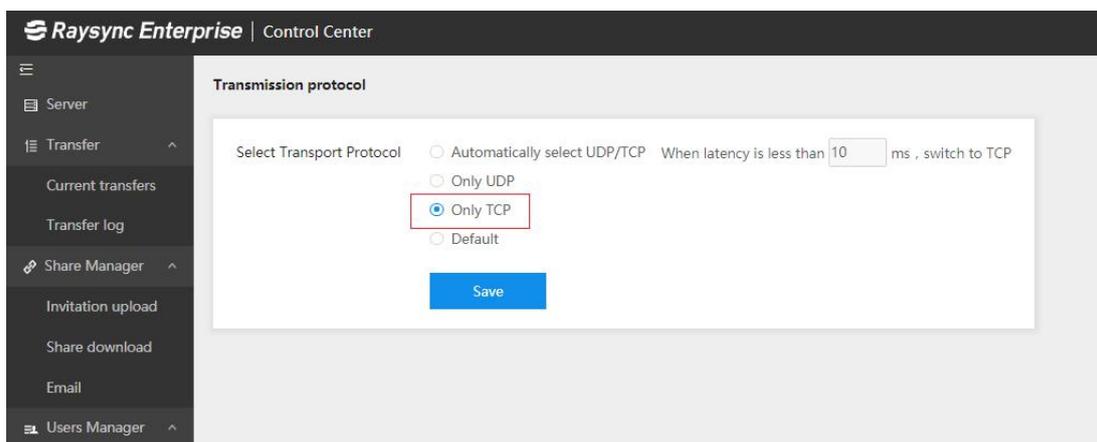
1. UDP/TCP を自動的に選択：送信遅延が 10ms 未満の場合、TCP 送信に自動的に切り替えるように設定します。



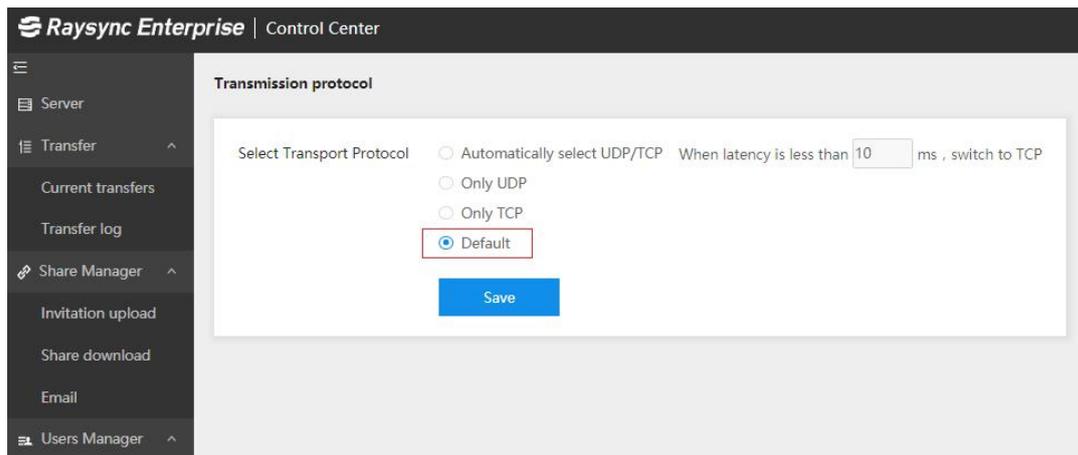
2. UDPのみ：送信タスクにはUDPモードのみを使用します



3. TCPのみ：送信タスクにはTCPモードのみを使用します



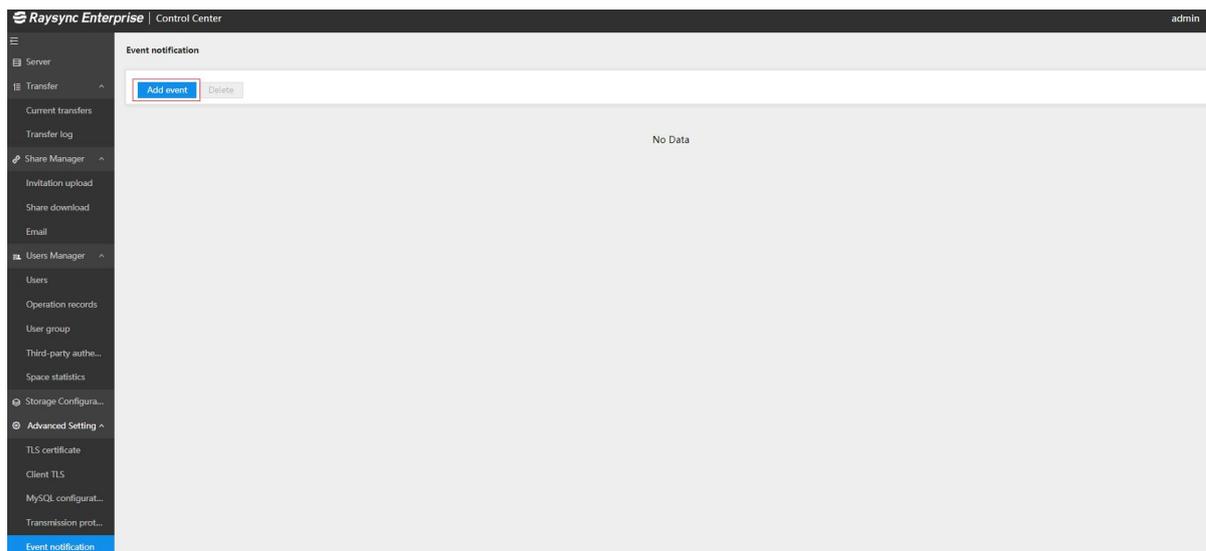
4. デフォルト：デフォルトではUDP転送が優先され、UDP転送が中断されると自動的にTCP転送に切り替わります。



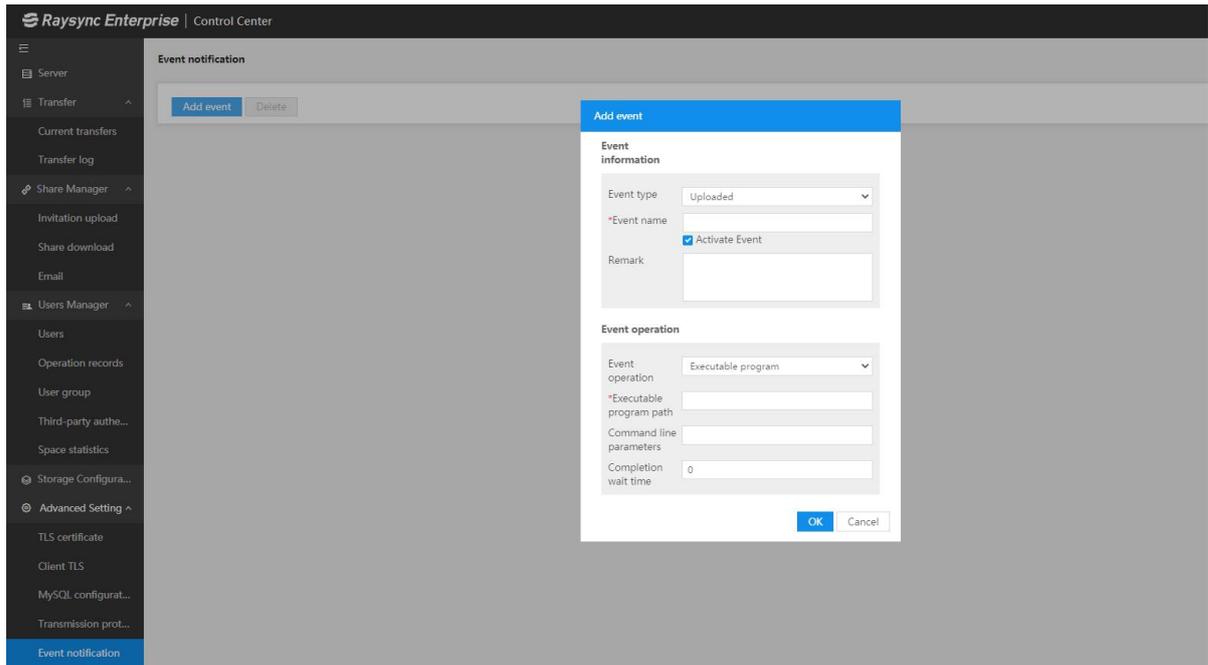
2.10.5 イベント通知

イベント通知を設定すると、設定したプログラムはイベント終了時に実行されます。

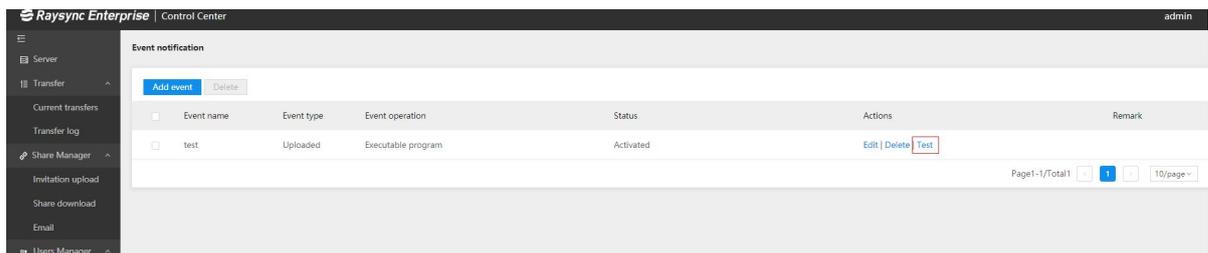
イベントの追加：[イベントの追加]をクリックします。



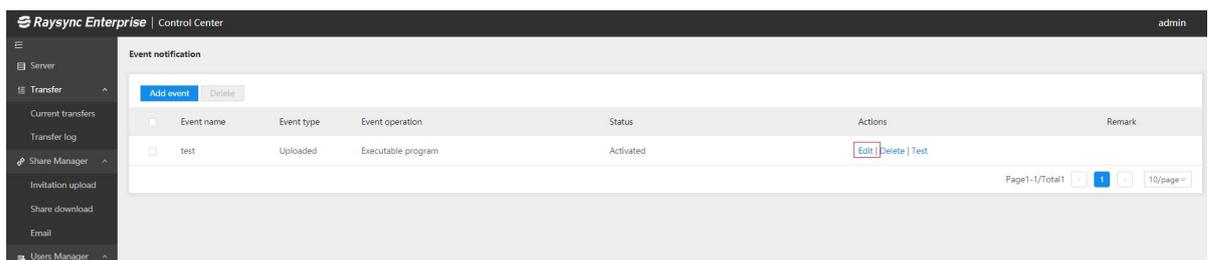
イベント情報を記入してください。



イベントの追加が成功した場合、操作の中の[テスト]をクリックすると、イベントが正しく設定されていることをテストできます。



イベントを編集するには、操作で[編集]をクリックします



イベントを削除するには、操作の[削除]をクリックします



2.10.6 その他の設定

2.10.6.1 速度制限

Other settings

Speed Limit User Maximum upload speed (Mbps): [0: unlimited]:

 User Maximum download speed (Mbps): [0: unlimited]:

2.10.6.2 ログファイルの保存場所

ログファイルの保存場所として、設定したいパスを入力します。例えば、負荷分散を行う場合は、ログアドレスを共有パスとして設定することができます。マスターサーバーとバックアップサーバーは、同じアドレスでログファイルを読み込むことができます。サーバーの再起動後に設定が有効になります。

Log file Storage location (Note: This modification needs to restart the server to take effect.)

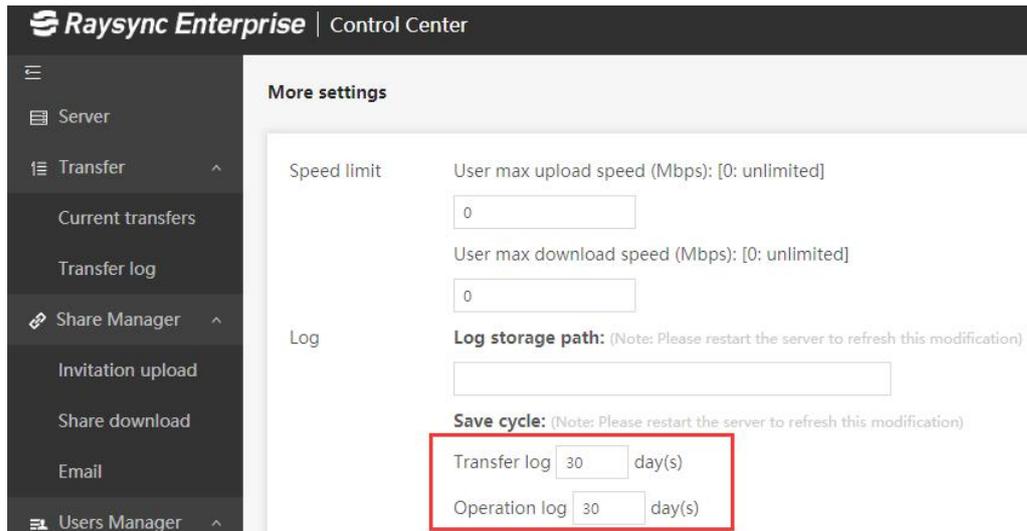
 Save cycle (Note: This modification needs to restart the server to take effect.)

Transfer log day(s)

Operation log day(s)

2.10.6.3 ログファイル保存期間

転送ログとユーザー操作ログの期間を設定することができ、デフォルトは30日です。設定後、[保存] ボタンをクリックします。サーバー情報ページの[再起動]をクリックすると、有効になります。



Raysync Enterprise | Control Center

More settings

Speed limit: User max upload speed (Mbps): [0: unlimited]

User max download speed (Mbps): [0: unlimited]

Log: **Log storage path:** (Note: Please restart the server to refresh this modification)

Save cycle: (Note: Please restart the server to refresh this modification)

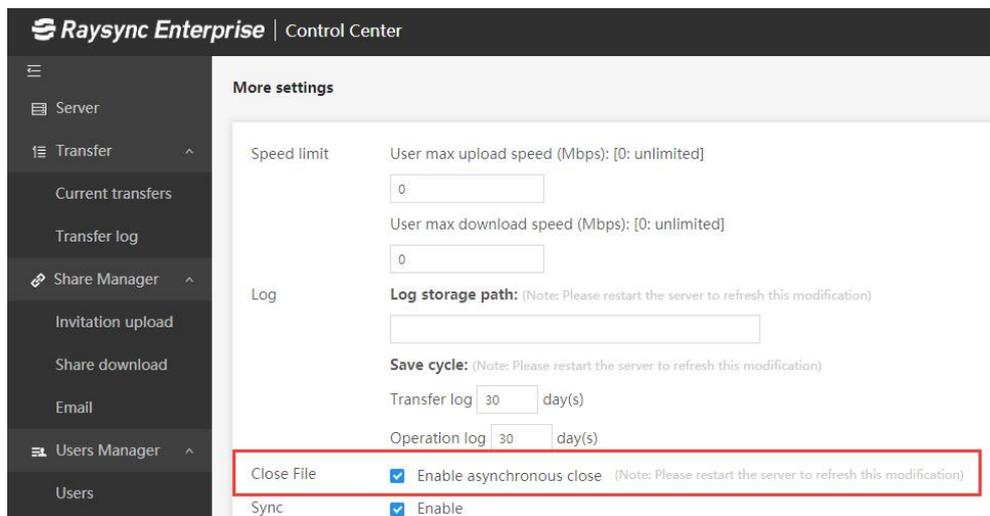
Transfer log day(s)

Operation log day(s)

2.10.6.4 ファイルを閉じる

この機能を有効化すると、ファイルのアップロードが完了後に、バックエンドでファイルを閉じる操作が実行されます。

[非同期クローズを有効にする]ボタンにチェックを入れ、サーバーを再起動すると有効になります。



Raysync Enterprise | Control Center

More settings

Speed limit: User max upload speed (Mbps): [0: unlimited]

User max download speed (Mbps): [0: unlimited]

Log: **Log storage path:** (Note: Please restart the server to refresh this modification)

Save cycle: (Note: Please restart the server to refresh this modification)

Transfer log day(s)

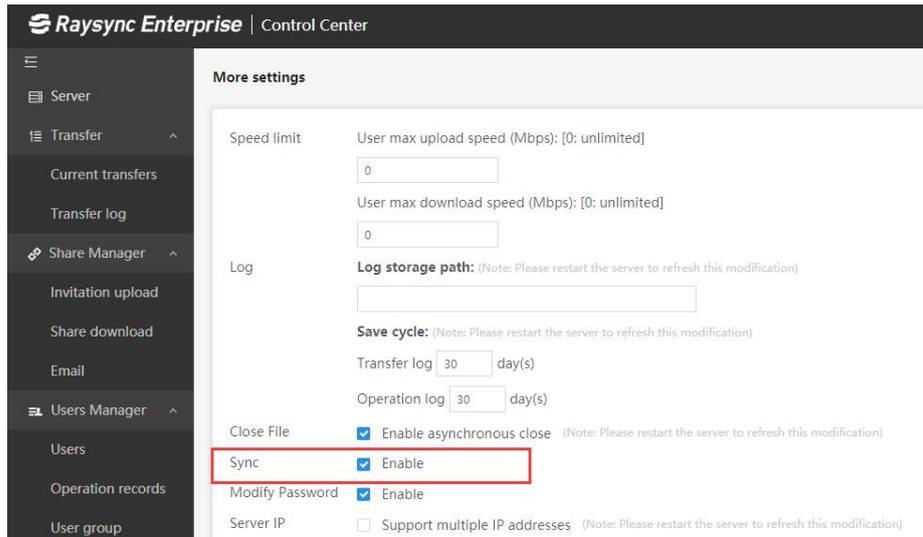
Operation log day(s)

Close File Enable asynchronous close (Note: Please restart the server to refresh this modification)

Sync Enable

2.10.6.5 ファイルの同期

この機能を有効化すると、ログイン後に同期タスクディレクトリを新規作成する機能が表示されます。



Raysync Enterprise | Control Center

More settings

Speed limit
 User max upload speed (Mbps): [0: unlimited]

 User max download speed (Mbps): [0: unlimited]

Log
Log storage path: (Note: Please restart the server to refresh this modification)

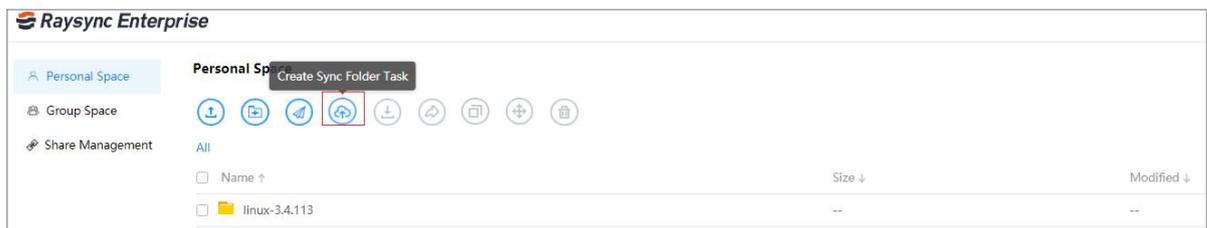
Save cycle: (Note: Please restart the server to refresh this modification)
 Transfer log day(s)
 Operation log day(s)

Close File Enable asynchronous close (Note: Please restart the server to refresh this modification)

Sync Enable

Modify Password Enable

Server IP Support multiple IP addresses (Note: Please restart the server to refresh this modification)



Raysync Enterprise

Personal Space **Create Sync Folder Task**

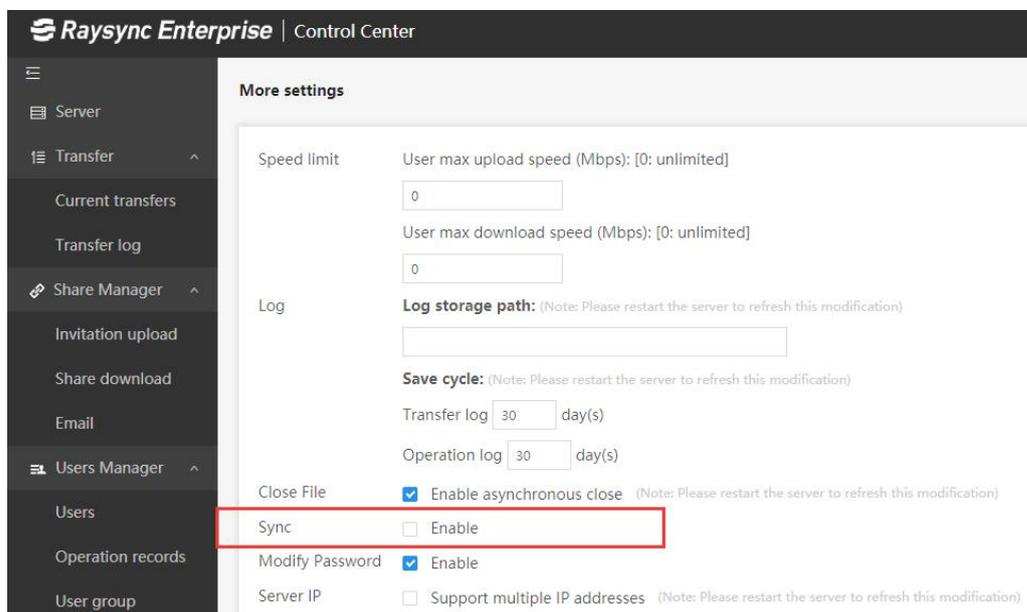
Group Space

Share Management

All

Name ↑	Size ↓	Modified ↓
linux-3.4.113	--	--

この機能を無効にした後、ユーザーは新規同期タスクディレクトリ機能を非表示にします。



Raysync Enterprise | Control Center

More settings

Speed limit
 User max upload speed (Mbps): [0: unlimited]

 User max download speed (Mbps): [0: unlimited]

Log
Log storage path: (Note: Please restart the server to refresh this modification)

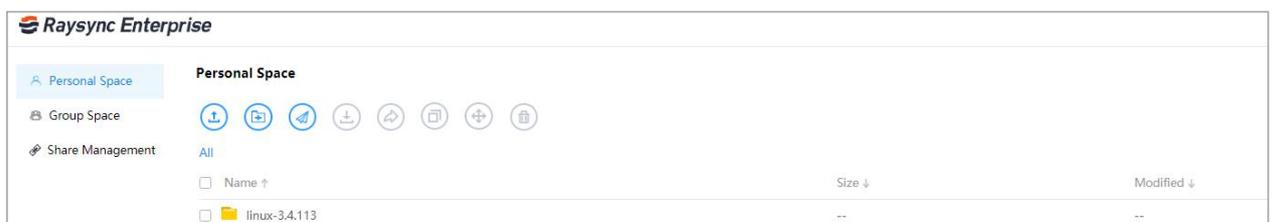
Save cycle: (Note: Please restart the server to refresh this modification)
 Transfer log day(s)
 Operation log day(s)

Close File Enable asynchronous close (Note: Please restart the server to refresh this modification)

Sync Enable

Modify Password Enable

Server IP Support multiple IP addresses (Note: Please restart the server to refresh this modification)



Raysync Enterprise

Personal Space

Group Space

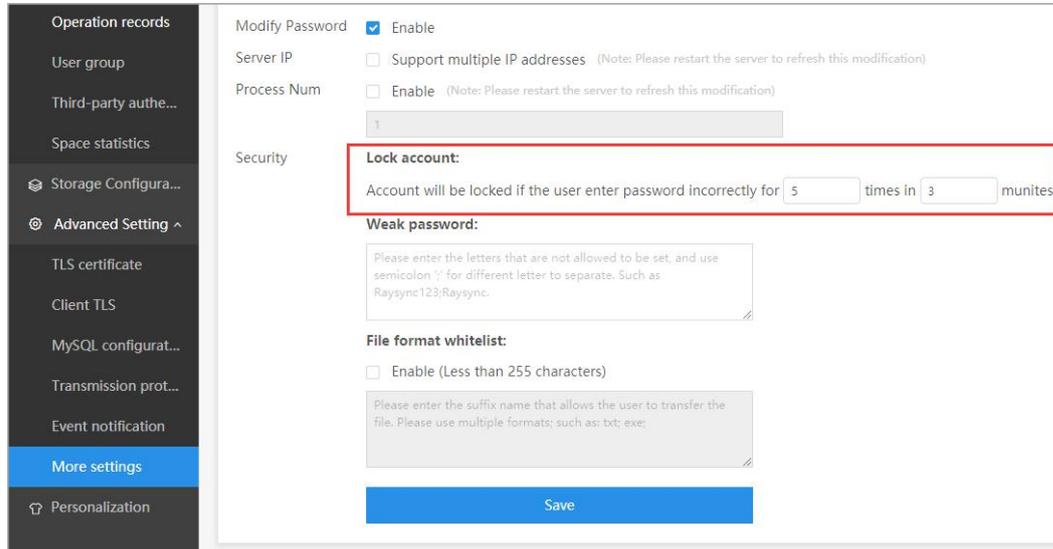
Share Management

All

Name ↑	Size ↓	Modified ↓
linux-3.4.113	--	--

2.10.6.6 アカウムのロック

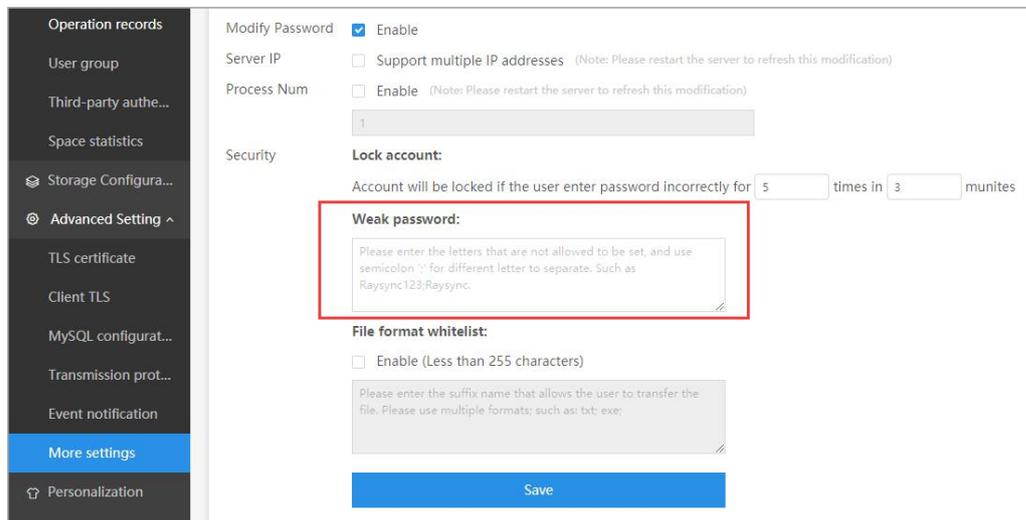
ユーザーパスワードは、X分以内にX回間違えると、アカウントをロックするように設定することができます。設定後に保存して、有効にします。



The screenshot shows the 'Advanced Setting' page in the Raysync interface. The 'Security' section is expanded, and the 'Lock account' option is highlighted with a red box. The configuration shows that the account will be locked if the user enters the password incorrectly 5 times within 3 minutes. Other options like 'Modify Password', 'Server IP', and 'Process Num' are also visible but not highlighted.

2.10.6.7 弱いパスワード設定

ユーザーが設定できないパスワードを事前設定できます Raysync; raysync のように、複数のパスワードを「;」で区切って使用します。設定後に保存して、有効にします。



The screenshot shows the 'Advanced Setting' page in the Raysync interface. The 'Weak password' section is highlighted with a red box. The input field contains the example 'Raysync123;Raysync;'. The 'Lock account' section is also visible, showing the same configuration as in the previous screenshot.

2.10.6.8 システム転送ホワイトリスト

システムがアップロードを許可する、ファイル形式の設定に使用します。
[転送ホワイトリストのファイル形式を開く]にチェックを入れ、下の入力欄にユーザーがアップロード可能なファイル形式を入力します。「txt; iso; mp4」のように、複数のフォーマットを「;」で区切ってから、[OK]をクリックして保存します。

Operation records

User group

Third-party auth...

Space statistics

Storage Configura...

Advanced Setting ^

TLS certificate

Client TLS

MySQL configurat...

Transmission prot...

Event notification

More settings

Personalization

Modify Password Enable

Server IP Support multiple IP addresses (Note: Please restart the server to refresh this modification)

Process Num Enable (Note: Please restart the server to refresh this modification)

1

Security

Lock account:

Account will be locked if the user enter password incorrectly for times in munites

Weak password:

Please enter the letters that are not allowed to be set, and use semicolon ';' for different letter to separate. Such as Raysync123;Raysync.

File format whitelist:

Enable (Less than 255 characters)

Please enter the suffix name that allows the user to transfer the file. Please use multiple formats; such as: txt; exe;

Save

2. 10. 6. 9 複数の IP アドレスに対応

Close File Enable asynchronous close (Note: Please restart the server to refresh this modification)

Sync Enable

Modify Password Enable

Server IP Support multiple IP addresses (Note: Please restart the server to refresh this modification)

Process Num Enable (Note: Please restart the server to refresh this modification)

1

2. 10. 6. 10 許可されたプロセス数

Close File Enable asynchronous close (Note: Please restart the server to refresh this modification)

Sync Enable

Modify Password Enable

Server IP Support multiple IP addresses (Note: Please restart the server to refresh this modification)

Process Num Enable (Note: Please restart the server to refresh this modification)

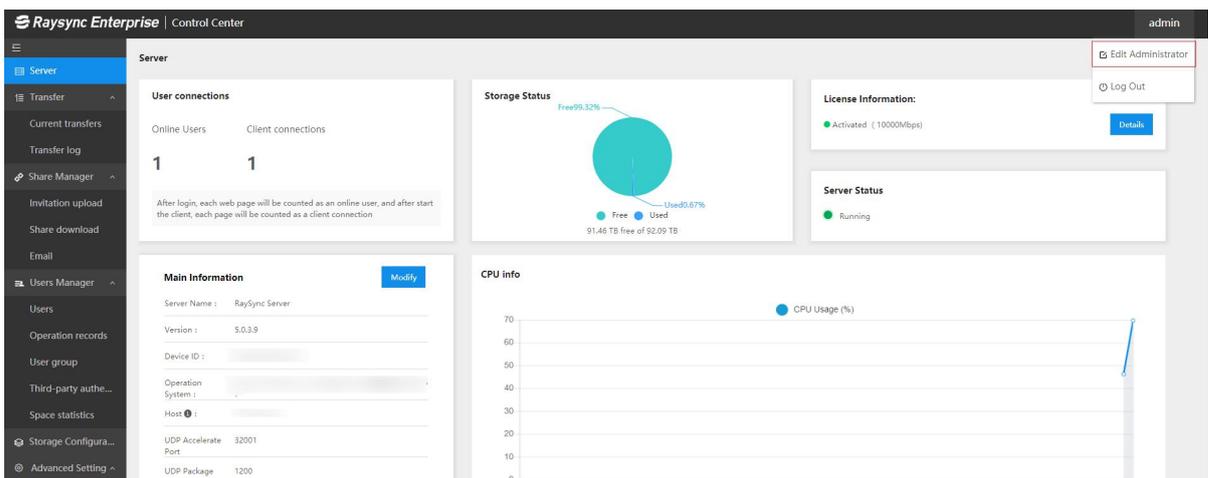
1

2.10.6.11 ユーザーによるパスワードの変更を許可する

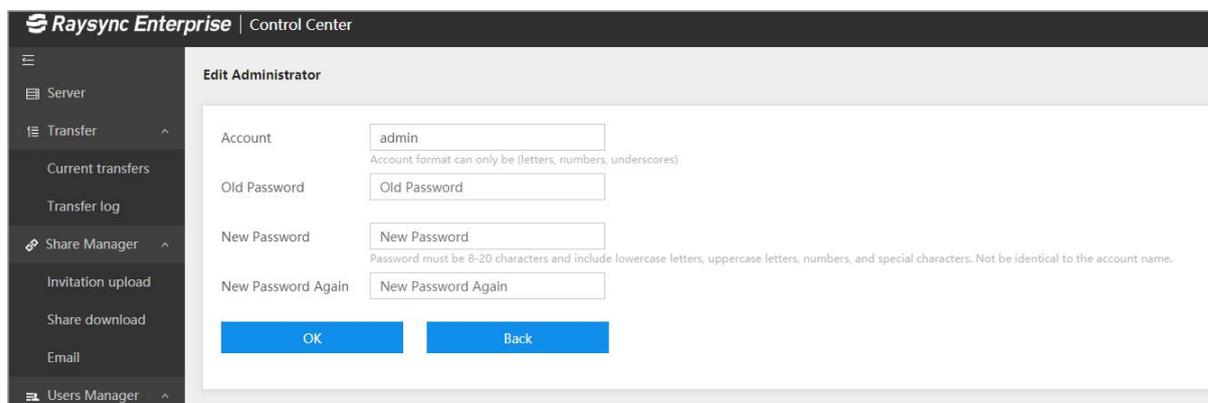
Close File	<input checked="" type="checkbox"/> Enable asynchronous close	(Note: Please restart the server to refresh this modification)
Sync	<input checked="" type="checkbox"/> Enable	
Modify Password	<input checked="" type="checkbox"/> Enable	
Server IP	<input type="checkbox"/> Support multiple IP addresses	(Note: Please restart the server to refresh this modification)
Process Num	<input type="checkbox"/> Enable	(Note: Please restart the server to refresh this modification)
	<input type="text" value="1"/>	

2.11 管理者情報を変更する

管理者アカウントとパスワードの変更に対応しています。
[管理者編集]をクリックします



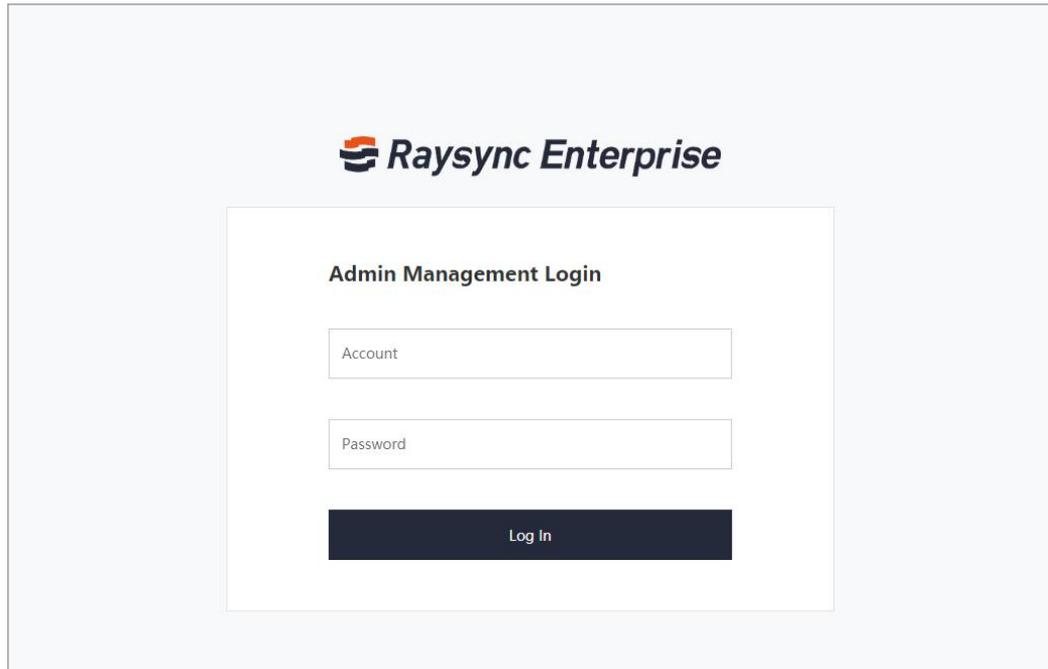
The screenshot shows the 'Server' page in the Raysync Enterprise Control Center. The 'Edit Administrator' button is located in the top right corner of the main content area, next to the 'Log Out' button. The page displays various server metrics such as User connections, Storage Status, License Information, Main Information, and CPU info.



The screenshot shows the 'Edit Administrator' form. It contains the following fields and buttons:

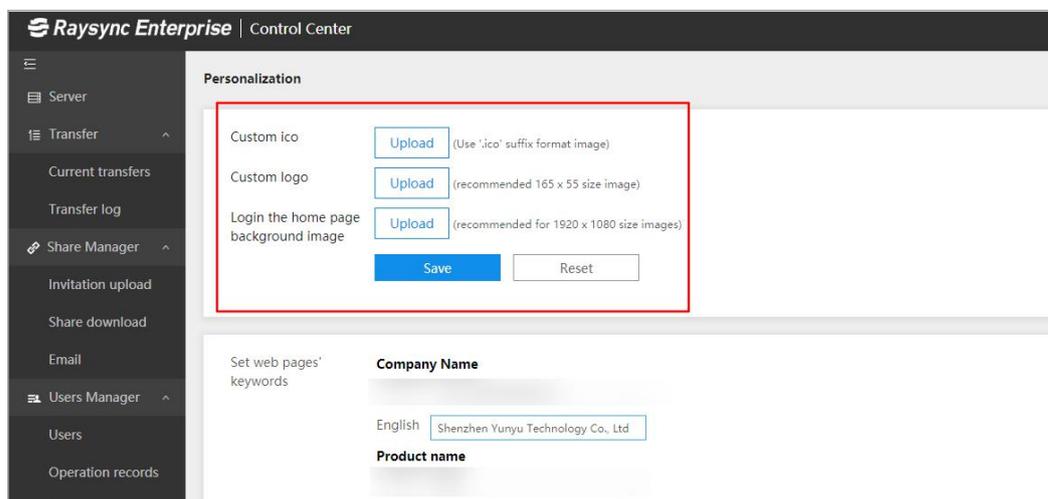
- Account: (Account format can only be (letters, numbers, underscores))
- Old Password:
- New Password: (Password must be 8-20 characters and include lowercase letters, uppercase letters, numbers, and special characters. Not be identical to the account name.)
- New Password Again:
- Buttons: OK, Back

[パスワードが変更されました]と表示されから、ログインページに切り替えます。

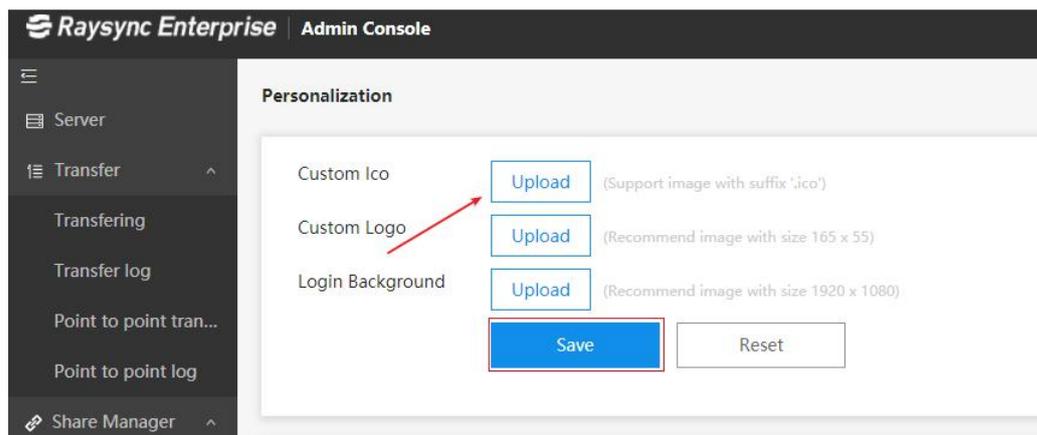


2.12 個性的設定

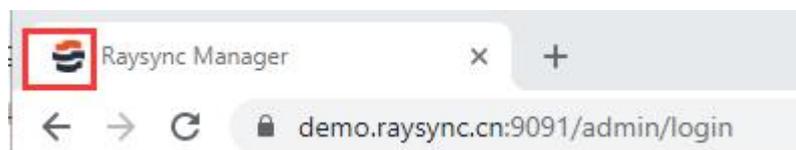
2.12.1 アイコン、ロゴ、背景画像など



(1) アイコン画像をアップロードします。

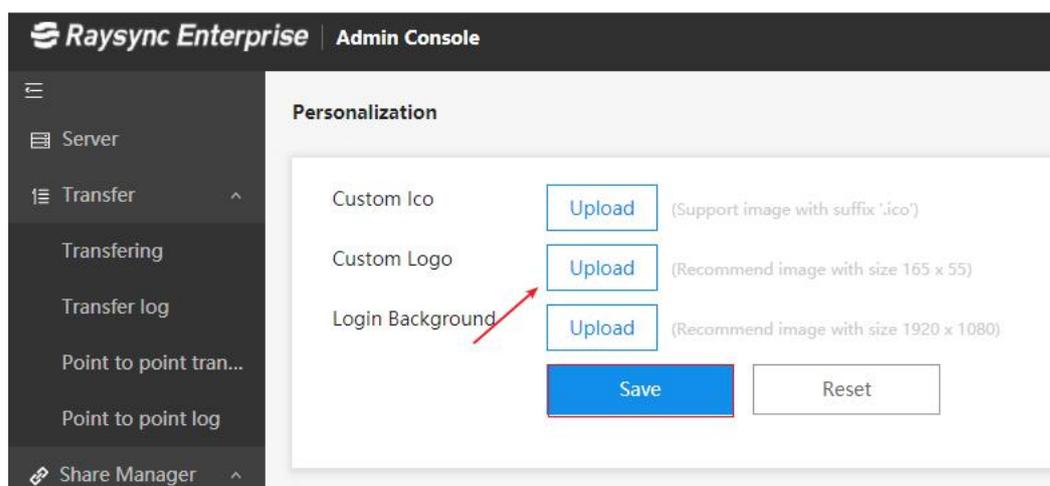


実際の効果：



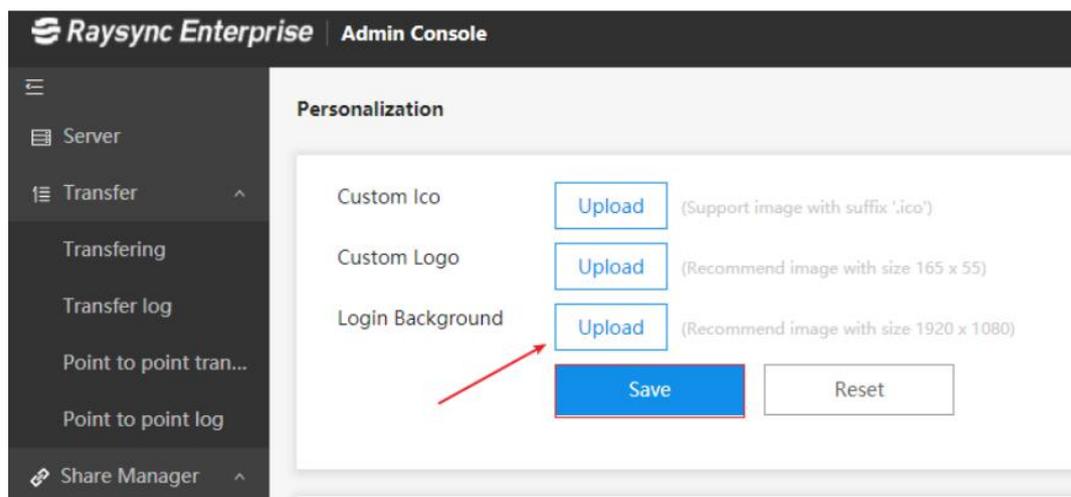
(2) ログ画像のアップロードします

ヒント：また、アップロードされたカスタムロゴに従って、メールやユーザーページのロゴも変更されます。

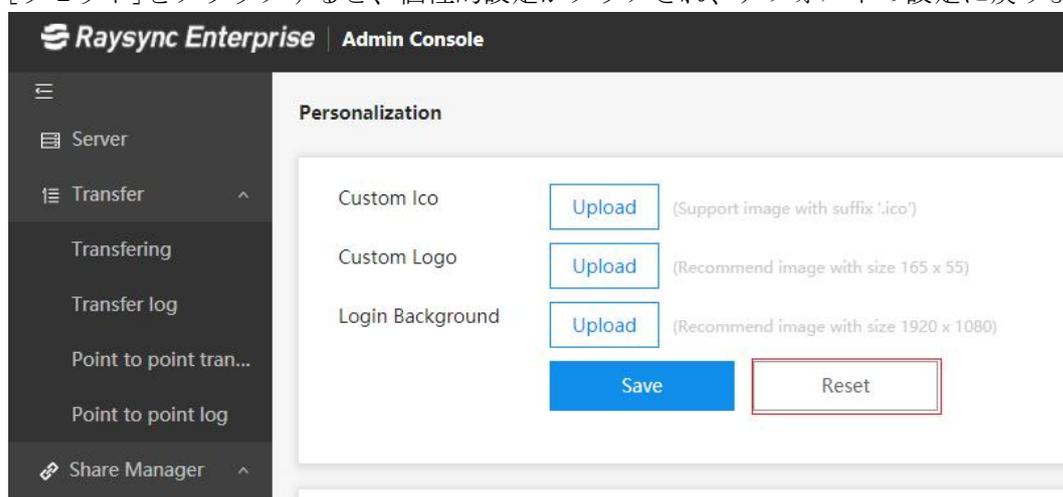


(3) 背景画像をアップロードします。

ヒント：アップロードされたカスタム背景に従って、ログインページも変更されます。

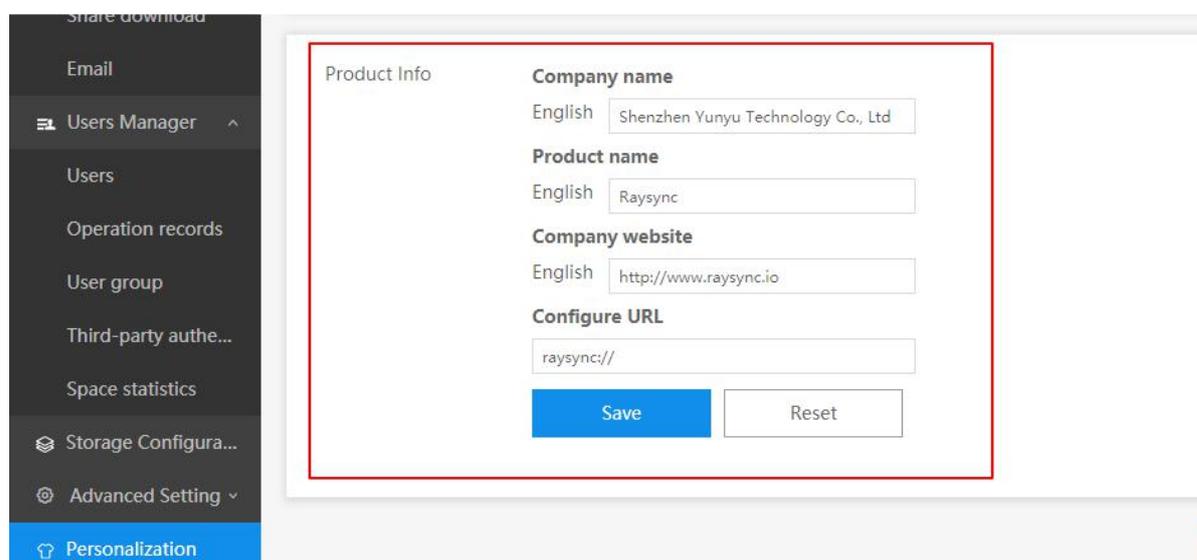


[リセット]をクリックすると、個性的設定がクリアされ、デフォルトの設定に戻ります。



2.12.2 ウェブページのキーワードをカスタマイズ

会社名、商品名、会社のホームページ、URL をカスタマイズできます。



ヒント：

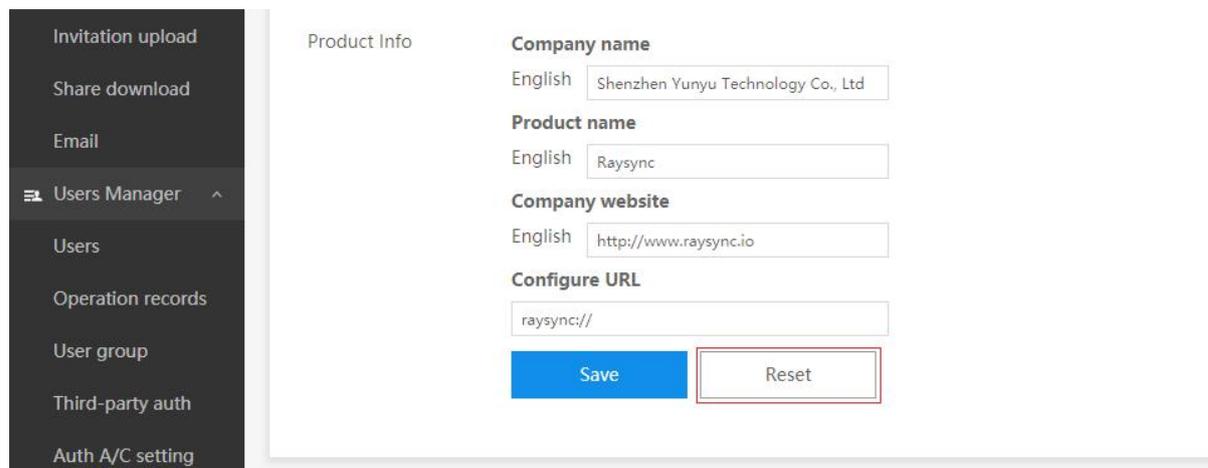
会社名：管理コンソールページとメール通知（ダウンロード共有、アップロード招待と他のメール）の下隅に表示されます。

商品名：ユーザーのログインページとメール通知（ダウンロード共有、アップロード招待と他のメール）に表示されます。

会社のウェブサイト：管理画面の下隅にある会社名をクリックするか、共有ページにアクセスするとウェブサイトへジャンプします。

会社 URL：フロントエンドユーザーページが Raysync ソフトウェアのクライアントを起動するために使用されます（URL はクライアントをカスタマイズする場合にのみ変更します）。通常では、URL を変更しないでください。変更すると、通常の使用に影響する可能性があります。クライアントをカスタマイズしたい場合は、ご相談ください）。

[リセット]をクリックすると、個性的設定がクリアされ、デフォルトの設定に戻ります。



The screenshot shows a configuration page for Raysync. On the left is a dark sidebar menu with options: Invitation upload, Share download, Email, Users Manager (expanded), Users, Operation records, User group, Third-party auth, and Auth A/C setting. The main content area is titled 'Product Info' and contains several input fields: 'Company name' (English) with 'Shenzhen Yunyu Technology Co., Ltd', 'Product name' (English) with 'Raysync', 'Company website' (English) with 'http://www.raysync.io', and 'Configure URL' with 'raysync://'. At the bottom of the form are two buttons: a blue 'Save' button and a white 'Reset' button with a red border.

3. よくある質問

3.1 ウェブサイトが Raysync に接続できません。

1. Raysync が起動し、右下のアイコンが表示されていることを確認してください。ウェブページの [開始] をクリックします。
2. 360、Kingsoft AntiVirus ソフトなどの保護下で Raysync を起動しない場合、ユーザーレジストリが通常通りに書き込めず、Web ページから起動できない可能性があります。一方、RaySync は手動で操作する必要があります。

3. Raysync アイコンを右クリックしてエラー検出を選択し、ローカルドメイン名解析、システム時刻、システムエージェントと証明書の状態が「正常」であることを確認してください。また、Raysync が起動されているかどうか、「クライアントが起動されていません」の表示が出ているかどうかを確認してください。システムエージェントが異常を表示したときは、エージェントがオンになっている可能性があります。起動する前に Raysync クライアントをシャットダウンしてください。証明書が異常の場合は、Raysync クライアントのバージョンが最新かどうか、証明書の有効期限が切れていないことを確認してください。

3.2 ウェブページ プロンプトサーバー 接続タイムアウト

クライアントチェック：

Raysync アイコンを右クリックして[エラー検出]を選択し、[サーバードメイン名]と[サーバードレス]が正しいかどうかを確認してください。cmd コマンドライン ping することで、解析アドレスの接続を確認することができます。

サーバーチェック：

サーバーはユーザーの許可、ホームディレクトリなどの情報変更、クライアントを再起動する必要性を確認します。

3.3 クライアントログインタイムアウト

クライアントを右クリックして、Raysync 設定の UDP メッセージサイズをより小さい値に変更してください。

3.4 アップロードとダウンロード速度に差がある。期待していた速度が違う。

クライアントチェック：

外部ネットワークの帯域幅をテストしてください。速度テストでは、ローカルアップロードとダウンロードの帯域幅を検出し、制限速度に達しているかどうかを確認します。

クライアントの通信事業者とサーバーの通信事業者が一致しているか確認してください。

サーバーチェック：

1. 関連サーバーのバックグラウンドを入力して、ライセンスの有効化を確認してください。ライセンス情報に記載されている帯域幅は想定される帯域幅であることを確認してください。
2. 現サーバーのネットワークトラフィックを開き、他のユーザーがサーバーの帯域を占有していないかを確認してください。
3. サーバードиск読み取り/書き込み値がピークに達しているかどうかを確認してください。他のユーザーがファイルの読み取り/書き込みを行っている場合、読み取り/書き込みが影響される可能性があります。

3.5 ダウンロードパス。ネットワークパスを選択したけど、ダウンロードしたファイルが見つからない

ネットワークディスクへのパスをマップし、古いタスクを削除してください。再度ダウンロードし、保存したネットワークディスクパスを選択します。

3.6 ファイルのアップロード、ダウンロードは良く[ファイルを読み込んでいます]と表示される

クライアントチェック：

1. 転送先のディレクトリに、ファイルが大量に入っていないことを確認してください。ファイル数と関係なく、クライアントがファイルを読み込むのを待つ必要があります。
2. 右クリックして RaySync のタイムアウト時間を 60 秒以上に設定し、古いタスクを削除して送信タスクを再度選択してください；

サーバーチェック :

サーバー下のディレクトリの読み込み性能を確認します。例 :サーバーのディレクトリを入力して `ls` を実行し、高速に応答します。`du-a | wc-l` を実行して、ディレクトリ下のファイル数をカウントします。